

Spectrum™ Technology Platform

バージョン 12.0

Addressing ガイド



著作権に関する通知

© 2017 Pitney Bowes Software Inc. All rights reserved. MapInfo および Group 1 Software は Pitney Bowes Software Inc. の商標です。その他のマークおよび商標はすべて、それぞれの所有者の資産です。

USPS® 情報

Pitney Bowes Inc. は、ZIP + 4® データベースを光学および磁気媒体に発行および販売する非独占的ライセンスを所有しています。CASS、CASS 認定、DPV、eLOT、FASTforward、First-Class Mail、Intelligent Mail、LACS^{Link}、NCOA^{Link}、PAVE、PLANET Code、Postal Service、POSTNET、Post Office、RDI、Suite^{Link}、United States Postal Service、Standard Mail、United States Post Office、USPS、ZIP Code、および ZIP + 4 の各商標は United States Postal Service が所有します。United States Postal Service に帰属する商標はこれに限りません。

Pitney Bowes Inc. は、NCOA^{Link}® 処理に対する USPS® の非独占的ライセンスを所有しています。

Pitney Bowes Software の製品、オプション、およびサービスの価格は、USPS® または米国政府によって規定、制御、または承認されるものではありません。RDI™ データを利用して郵便送料を判定する場合に、使用する郵便配送業者の選定に関するビジネス上の意思決定が USPS® または米国政府によって行われることはありません。

データ プロバイダおよび関連情報

このメディアに含まれて、Pitney Bowes Software アプリケーション内で使用されるデータ製品は、各種商標によって、および次の 1 つ以上の著作権によって保護されています。

© Copyright United States Postal Service. All rights reserved.

© 2014 TomTom. All rights reserved. TomTom および TomTom ロゴは TomTom N.V. の登録商標です。

© 2016 HERE

Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

電子データに基づいています。© National Land Survey Sweden.

© Copyright United States Census Bureau

© Copyright Nova Marketing Group, Inc.

このプログラムの一部は著作権で保護されています。© Copyright 1993-2007 by Nova Marketing Group Inc. All Rights Reserved

© Copyright Second Decimal, LLC

© Copyright Canada Post Corporation

この CD-ROM には、Canada Post Corporation が著作権を所有している編集物からのデータが収録されています。

© 2007 Claritas, Inc.

Geocode Address World データ セットには、
<http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> に存在するクリエイティブ コモンズ アトリビューション ライセンス (「アトリビューション ライセンス」) の下に提供されている GeoNames Project (www.geonames.org) からライセンス供与されたデータが含まれています。お客様による GeoNames データ (Spectrum™ Technology Platform ユーザ マニュアルに記載) の使用は、アトリビューション ライセンスの条件に従う必要があります。お客様と Pitney Bowes Software, Inc. との契約と、アトリビューション ライセンスの間に矛盾が生じる場合は、アトリビューション ライセンスのみに基づいてそれを解決する必要があります。お客様による GeoNames データの使用に関しては、アトリビューション ライセンスが適用されるためです。

目次

1 - はじめに

住所の品質の概要	7
----------	---

2 - 住所の概念

米国住所の概念	9
カナダ住所の概念	15
オーストラリア住所	18
国際住所	18

3 - 住所の検証

米国の住所の検証	20
カナダの住所の検証	20

4 - ステージリファレンス

Address Now モジュール	22
Global Addressing モジュール	65
Universal Addressing モジュール	92

第章 : 付録

付録 A :	
ISO 国コードとモジュール サポート	297

1 - はじめに

このセクションの構成

住所の品質の概要

7

住所の品質の概要

Addressing Solution には住所処理の品質を維持するためのツールが用意されており、220 カ国以上の国々について住所の確認と正規化が行われます。Spectrum™ Technology Platform は住所に関する品質イニシアチブに対応すべく、郵便のガイドラインを忠実に守ります。その結果、料金割引の適用下で郵便物を適時に配達することができます。

2 - 住所の概念

このセクションの構成

米国住所の概念	9
カナダ住所の概念	15
オーストラリア住所	18
国際住所	18

米国住所の概念

USPS では、いわゆる品質処理に関してガイドラインを確立しています。品質処理では、USPS が郵便物を適宜配達できるように住所の正規化を徹底します。差出人は、ZIP Code、ZIP + 4 Code、およびその他に基づいて郵便料金値引きの特典を受けようとするため、この目標はよりいっそう重要となります。正規化住所とは、米国郵便データベースとの照合で一致し、USPS 住所規則に基づいて書式設定された住所のことです。

米国住所には、ストリートの住所、地方配送路の住所、幹線請負契約の住所、(郵便局に設置された) 私書箱の住所、および私設私書箱の住所があります。

ストリートの住所には、以下の要素が含まれます。

4235	N	MAIN	ST	NW	APT	100
家番号	接頭方向指示	ストリート 名	接尾語	接尾方向指示	アパート ラベル	アパート番号

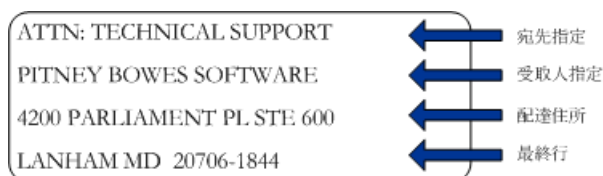
地方配送路、幹線請負契約、または P.O. Box の住所には、以下の要素があります。

RR	123	BOX	19
地方配送路または幹線請負契約の 種別	地方配送路または幹線請負契 約の番号		地方配送路、幹線請負契 約、または PO Box 番号

私設私書箱の住所には、以下の要素が含まれます。

PMB	345
私設私書箱の種別	私設私書箱の番号

住所行は、住所要素と都市/州/ZIP Code 情報の組み合わせによって構成されます。住所行は、以下の図に示すように定義されます。



米国住所規格の詳細については、米国郵政公社® (USPS®) から発行される *Postal Addressing Standards, USPS Publication 28* (USPS の Web サイトから入手可能) を参照してください。

Coding Accuracy Support System (CASS)

Coding Accuracy Support System (CASS™) は、住所検証ソフトウェアの精度を認定する United States Postal Service® (USPS®) プログラムです。一部の郵便料金割引を受けるには、ZIP Code™、ZIP + 4™ コード、および配達ポイント バーコードを郵便物に割り当てるための CASS 認定®ソフトウェアを使用する必要があります。

住所検証ソフトウェアが CASS 認定™を受けるには、USPS が実施するテストに合格する必要があります。CASS 認定™ソフトウェアは、次の項目において精度テストに合格する必要があります。

- 5 桁のコーディング
- ZIP + 4®/配達ポイント (DP) コーディング
- 配達ルート コーディング
- Delivery Point Validation (DPV®)
- Locatable Address Conversion System (LACS^{Link}®)
- Enhanced Line of Travel (eLOT®)
- Residential Delivery Indicator (RDI™)

CASS 認定™製品を使用する場合には、最小レベルとして以下に示す精度が保証されます。

表 1 : CASS 認定レベル

認定レベル	求められる精度レベル
ZIP	98.5%
配達ルート	98.5%

認定レベル	求められる精度レベル
-------	------------

ZIP+4	98.5%
-------	-------

配達ポイント バーコード	100%
--------------	------

eLOT	100%
------	------

完全な住所	100%
-------	------

Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱)

Commercial Mail Receiving Agency (CMRA) は、私書箱の貸し出しを行う民間企業です。mail drop (郵便受け) としても知られる CMRA は通常、私設私書箱業者が運営しています。そのため、CMRA の住所は、"POB" (郵便局の私書箱) ではなく、"PMB" (私設私書箱) と表記されます。

CMRA の顧客は、自分の住所ではなく、CMRA の住所で郵便物などの配達物を受け取ることができます。顧客と CMRA との間の契約に基づき、CMRA は、郵便物の顧客への転送や、引き取りまでの保管を行います。

CMRA のサービスを利用する理由としては、プライバシーの保護が挙げられます。例えば、自宅を拠点として事業を営む人は、自宅住所を公開したくないと考える場合があります。あるいは、ある地域の顧客が、より知名度の高い住所や高級住宅地に存在する CMRA と契約する場合があります。

Delivery Point Validation (DPV)

Delivery Point Validation (DPV[®]) は、住所情報の正確さを個々の郵便住所まで照合する米国郵政公社[®] (USPS[®]) のテクノロジーです。この DPV[®] を使用して住所の照合をすることによって、住所不完全のため不達 (UAA) という事態を減少させ、郵便コストや不正な住所情報に関連する他のビジネス コストを削減することができます。

注：DPV[®] は U.S. アドレスに対してのみ有効です。

DPV[®] なしでの個々の住所検証では、そのストリート上にある複数の有効な住所までしか照合できません。例えば、USPS データは Maple Lane 上の住所が 500 から 1000 までであることを示しています。住所 610 Maple Ln の検証を試みます。DPV[®] なしで検証すると、この住所は 500 ~ 1000 の範囲にあるため有効と見なされます。ただし、実際には 610 Maple Ln という住所は存在しません。このストリートの区画にある家の番号は、608、609、613、および 616 です。DPV[®] 処理を使うと、610 Maple Ln が存在しないことが警告され、住所を訂正する措置をとることができます。

DPV[®] は、ターゲットを絞り込んだ郵便リストの作成に役立つ独特の住所属性も備えています。例えば、DPV[®] は郵送先が空き家かどうかを確認したり、それが郵便受取代行業 (CMRA) や私設私書箱の住所であることを識別できます。

DPV[®] は既存の住所の正確性を検証できますが、DPV[®] を使って住所録を作成することはできません。例えば、123 Elm Street Apartment 6 という住所が存在することは確認できますが、同じストリートに Apartment 7 があるかどうかを調べることはできません。住所録の生成を阻止するために、DPV[®] データベースには誤検出レコードが含まれています。誤検出レコードは、誤検出テーブルに存在する人為的に作られた住所です。DPV[®] クエリでマッチしなかった場合は、誤検出テーブルに対してクエリが実行されます。このテーブルにマッチする場合、DPV[®] の処理は停止します。

Early Warning System (EWS)

Early Warning System (EWS) は、月に 1 回更新される USPS データベースにまだ反映されていない、新規の住所や最近変更された住所に関する最新住所情報を提供します。EWS は USPS[®] データベースの郵便データの更新遅れによる、住所レコードの誤った情報提供を防ぐことができます。

米国郵便データベースが古いほど、住所が誤って変換される可能性は高くなります。米国郵便データベースにあるマッチングする住所が不正確な場合、有効な住所が誤った住所に変換され、壊れた住所が生成されます。

EWS データは、ZIP Code[™]、ストリート名、前置/後置方位記号、および接尾語に限定される、部分住所情報から構成されます。住所が米国郵便データベースの最新版には存在しない場合に限り、住所レコードに EWS を適用できます。

USPS[®] は、EWS ファイルを週に 1 回更新します。USPS[®] の Web サイト https://ribbs.usps.gov/cassmass/documents/tech_guides/ から EWS ファイルをダウンロードできます。

Enhanced Line of Travel (eLot)

eLOT は、Enhanced Carrier Route の郵送が実際の配達順序にできる限り近くなることを保証します。eLOT 順は、正確な順序ではありませんが、配達者によって提供されたルートに従って整えられた ZIP + 4[®] 番号の順になっています。まず、ZIP + 4[®] グループが順序付けられます。次に、各グループ内の住所が昇順になっているか降順になっているかが識別されます。

eLOT は、配達ルートを使用する大量/125 通または不特定郵便以外の郵便物を準備する差出人が使用できます。eLOT 順は、自動化に適合したレターサイズの郵便物以外の Basic Enhanced Carrier Route Standard Mail に必須です。

注：同一月の米国郵便データベースと eLOT データベースをインストールする必要があります (つまり、9 月の eLOT データは、9 月の米国郵便データベースで処理しなければなりません)。米国郵便データベースと eLOT データベースが同一月のものでない場合、eLOT 番号を割り当てられない ZIP + 4[®] Code が存在する恐れがあります。eLOT コードを割り当てるには、住所の ZIP Code[™]、ZIP + 4[®] Code、配達ルートコード、および配達ポイントが提供される必要があります。

Locatable Address Conversion System (LACS)

USPS[®] Locatable Address Conversion System (LACS) は、地方配送路の住所をストリート名に沿った住所に変換した場合、PO Box 番号の再割り当てがあった場合、またはストリート名に沿った住所が変更した場合に、それに伴って変更した住所を修正します。LACS^{Link} 変換の例を以下に示します。

- 地方配送路の住所のストリート名に沿った住所への変換: 旧住所: RR 3 Box 45 新住所: 1292 North Ridgeland Drive
- ストリート名またはストリート番号の変更: 旧住所: 23 Main Street 新住所: 45 West First Avenue
- PO Box 番号の再割り当て: 旧住所: PO Box 453 新住所: PO Box 10435

LACS^{Link} は、CASS 処理に必須です。

Residential Delivery Indicator (RDI)

米国住所に限り、Residential Delivery Indicator (RDI[™]) 処理によって、郵送物に対する最良の配送料を調べることができます。RDI[™] 処理では、住所が企業の住所であるか、個人宅の住所であるか

を確認します。一部の配達サービスでは、企業住所への配達よりも個人住所への配達に対して高い料金を設定しているため、この違いは重要です。

ストリート名のエイリアス

米国における通り名のエイリアスとは、通りの一部に付けられた別名のことです。通り名のエイリアスには、次の 4 種類があります。

- **よく使用される名前** — その地域でよく使用される通り名です。通常は、通り上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。
- **省略形** — 通り名の省略形です。AddressLine1 の長さが 31 文字以上になる場合に使用することができます。例えば、1234 BERKSHIRE VALLEY RD APT 312A という通り名は、1234 BERKSHIRE VLLY RD APT 312A と省略することができます。
- **変更名** — 通り名が正式に変更された場合に、新しい名前を表すエイリアスです。例えば、SHINGLE BROOK RD という通り名が CANNING DR に変更された場合、CANNING DR が変更済みのエイリアス タイプとなります。
- **その他の名前** — この通り名エイリアスには、通りの他の名前や、通りの一般的な省略形などがあります。

エイリアスではない通り名のことを、基本通り名と呼びます。

Suite^{Link}

Suite^{Link} は、補助的な住所情報の妥当性が確認できなかった米国の企業住所に対し、その補助的な住所情報を修正します。Suite^{Link} 処理が有効になっている場合、既知の企業名とその補助的な住所情報からなるデータベースに対して、企業名のマッチングが行われます。

例を次に示します。

企業名: Pitney Bowes
住所行 1: 4200 Parliament Place
Address Line 2: STE 1
郵便番号: 20706

この場合、Suite^{Link} は、Suite 番号を以下の正しい Suite 番号に変更します。

企業名: Pitney Bowes
住所行 1: 4200 Parliament Place
Address Line 2: **STE 600**
Postal Code: 20706-1844

カナダ住所の概念

Canada Post Corporation (CPC; カナダ郵政公社) は、世界で 2 番目に大きな地理的地域で郵便物の収集、処理、および配達業務を行っています (旧ソビエト連邦が扱っていた地域に次いで 2 番目に大きい)。各郵便物が宛先に迅速に配達されるように、CPC では住所ラベル規格を開発して、郵便物の処理および適宜配達を実現しています。

CPC では、郵便物が適切に配達されるように、すべての郵便物に対して次の住所コンポーネントを求めています。

- 受取人
- 配達住所
- コミュニティ/自治体
- 省
- 郵便番号

郵便物が最も効率的に処理されるのは、最適な住所フォーマットに従って、記号と大文字が使用され、かつ、カンマやピリオドなどの区切り文字が使用されていない場合です。CPC が定める住所規則には、形式、句読文字、および住所コンポーネントに関するガイドラインなどが含まれません。

住所フォーマット

カナダ郵政公社は、集配ポイントおよび配達ポイントの特定に必要な情報として郵便住所を定義しています。カナダ国内から発送され、カナダ国内を宛先とする郵便物について、CPC は、住所ブロックのコンポーネントの順序を以下のとおりに定めています。

1. 住所以外のデータと受取人情報
2. 配達住所情報
3. 自治体、州、郵便番号

カナダの住所は、以下のガイドラインに従う必要があります。

- 住所要素として、正式な名称よりも記号を使用すること。
- 住所ブロックのすべての行で大文字を使用すること。
- 住所の中に、番号記号 (#) やフランスの番号記号 (n°) を使用しないこと。
- 特に記載のない限り、カンマなどの句読記号を、住所要素やコンポーネントの間の区切り文字として使用しないこと。

- 住所のすべての行の左側の余白を揃えること。
- 住所ブロックの下 3 行は、住所情報、受取人情報、自治体、省、および郵便番号である必要があります。

住所以外のデータ

「Attention (注意)」や「Address Correction Required (住所の訂正が必要)」といった住所とは無関係のデータが存在する場合は必ず、配達住所情報行の上の、住所ブロック先頭行の上に記載します。

住所以外のデータとは、差出人が郵便物に記載したい任意の追加情報のことです。これには、「Attention (注意)」や「Confidential (親展)」などの単語や、アカウント番号や顧客識別番号などがあります。

受取人情報

受取人情報とは、郵便物の宛先である人物、企業、組織を特定するものです。複数行の情報からなる受取人情報には、以下の要素を記載の順序で含むことができます。

- 名前または気付の情報
- タイトル
- 部署または部門名
- 企業または組織名

上記の順序は、Large Volume Receiver (LVR) や、政府省庁または政府機関にも適用されます。部署が課に分割されている場合は、課名を部署名の上に記載します。

配達住所情報: 正式住所

正式住所とは一般的に、宅配または Community Mail Box (superbox) で郵便物を受け取る顧客の住所のことです。特に記載のない限り、同一行の住所コンポーネントおよび要素の間は、1つの空白で区切ります。

正式住所には、以下の要素を含むことができます。

- **正式番号** — 自治体によってその住所に割り当てられた正式な番号。
- **正式番号接尾語** — 11D JESSOME ST や 91 1/2 KING ST などのように、住所に入れなければならない正式番号の後に記載する、単一または複数の英文字。

- **ストリート名** — 自治体によって変換することなく認識される、正式なストリート名。"1ST"、"2ND"、"3RD"、"4TH"、または "1E" や "2E" のように、ストリート名が、番号とそれに続く "ST"、"ND"、"TH"、"E" などの序数である場合は、番号と序数の間に空白は入れません。ストリート名が英数字からなる場合は、数字部分と英字部分の間に空白は入れません (例: 14 B ST ではなく 14B ST とします)。
- **ストリートの種類** — 住所を英語で記載する場合、ストリート名の後には必ず、ストリートの種類を記載します。住所をフランス語で記載する場合、ストリートの種類は、ストリート名が序数である場合を除き、ストリート名の前に記載します (例: RUE RENE-LEVESQUE)。ストリート名が序数である場合は、ストリート名の後にストリートの種類を記載します (例: 2061 36E RUE)。ストリートの種類には必ず、CPC 記号を使用します。
- **ストリートの方向** — 必要に応じて、方向を示す 1 文字または 2 文字の記号 (N、S、NE、NW、O、NO など) を、ストリート情報の最後の要素として記載します。
- **ユニット指定子** — ユニット指定子は、建物によって割り当てられた特定のユニットを識別するものです。値は、英字、英数字、または数字です。ユニット指定子が番号である場合は、数字で表記します ("two" という単語ではなく "2" と表記します)。ユニット指定子が住所の中に使用されていない場合は、ユニット指定子をストリート情報の前にハイフンで区切って記載します (317-10228 148 ST)。ユニット指定子の正しい記載方法の例としては、"1 MAIN ST APT 1"、"APT 1 1 MAIN ST"、または "1-1 MAIN ST" があります。

配達住所情報: 非正式住所

非正式住所は、顧客に提供されているサービスが、貸金庫、局留め郵便、またはルート サービスなどで、正式住所情報が存在しない場合に使用されます。

配達方法情報

配達方法情報は、配達施設情報と同一行に記載します。配達方法情報には、以下の要素を含むことができます。

- **配達方法指定子** — Postal Box (PO BOX)、Rural Route (RR)、Suburban Service (SS)、Mobile Route (MR)、または General Delivery (GD) に対する正式な CPC 記号。
- **配達方法識別子** — 数値識別子。配達方法指定子との間に空白を 1 つ入れて記載します。配達方法識別子の前に、番号記号 (#) またはフランスの省略記号 (n°) を使用してはいけません (PO BOX 123 と記載し、PO BOX #123 とは記載しません)。

オーストラリア住所

オーストラリアでは、オーストラリア郵便公社が住所規格を定めています。これらの規格が記載されたオーストラリア郵便公社の発行物の一覧と、Address Matching Approval System (AMAS) プログラムについては、オーストラリア郵便公社の Web サイト www.auspost.com.au を参照してください。

国際住所

住所を取り扱う Pitney Bowes の製品では、米国およびカナダ以外の住所を、"国際"住所として分類します。国際住所の規格は、国によって異なります。Pitney Bowes はこれらの規格をまとめて、1つの国際住所コーディングシステムを作成しました。このシステムでは、およそ 86 カ国の住所要素を検証および修正でき、141 カ国の郵便番号形式を検証できます。

万国郵便連合 (UPU) の加盟国の郵便規格に関する情報については、万国郵便連合の Web サイト www.upu.int を参照してください。

3 - 住所の検証

このセクションの構成

米国の住所の検証	20
カナダの住所の検証	20

米国の住所の検証

Spectrum Technology Platform の Universal Addressing モジュールの Validate Address サービスは、郵便情報を訂正することを目的に、入力住所と USPS データベース内の住所を照合します。また、郵便料金値引きの特典を受けられる可能性のあるその他の郵便情報も追加します (ZIP + 4 Code など)。

住所のマッチングと正規化では、住所行をコンポーネントに分割し、それらを USPS データベースの内容と比較します。マッチングで使用されない住所情報は、ドロップされた住所情報と見なされます。マッチを検出した場合、入力住所はデータベースの内容に従って正規化されます。データに含まれている住所がデータベースにマッチしない場合は、入力住所の正規化を選択できます。正規化プロセスでは、USPS Publication 28 に定められる規則に従って住所行をフォーマットします。正規化オプションが呼び出され、特定の住所がデータベースにマッチしない場合、Validate Address は個々の要素の認識を試みて、それらを USPS の規則に従ってフォーマットします。

カナダの住所の検証

Spectrum Technology Platform の Universal Addressing モジュールの Validate Address サービスは、郵便情報を訂正することを目的に、入力住所とカナダ郵便データベース内の住所を照合します。また、郵便料金値引きの特典を受けられる可能性のあるその他の郵便情報も追加します。

住所の検証と正規化では、入力レコードから住所行が抽出され、それらがコンポーネントに分割 (パース) されて、カナダ郵便データベースの内容と比較されます。データベースの候補住所の Finance Number に一致した場合のみ、住所の妥当性確認に成功します。マッチを検出した場合、入力住所はデータベースの内容に従って正規化されます。データベースにマッチしなかった場合、Validate Address は、入力住所をフォーマットするオプションを提供します。正規化プロセスでは、カナダ郵政省発行の「Delivery Needs Accuracy: Canadian Addressing Standards」に定められる規則に従って住所行をフォーマットします。正規化オプションが呼び出され、特定の住所がデータベースにマッチしない場合、Validate Address は個々の要素の認識を試みて、それらをカナダ郵政省の規則に従ってフォーマットします。

4 - ステージ リファレンス

このセクションの構成

Address Now モジュール	22
Global Addressing モジュール	65
Universal Addressing モジュール	92

Address Now モジュール

Address Now モジュール

Address Now モジュールは、住所の正規化およびバリデーションツールで、米国とカナダ以外の住所を広範囲にカバーします。Spectrum™ Technology Platform では、住所の正規化と検証 (バリデーション) を行う 2 つのモジュールを使用でき、Address Now はその 1 つです。もう 1 つは Universal Addressing モジュールです。Address Now モジュールは、米国とカナダ以外の住所について、Universal Addressing モジュールよりも次の点で優れています。

- **データの品質が高い** — Address Now モジュールで使用するデータベースは、Universal Addressing モジュールで使用するデータベースよりも、多くの国について、より新しく、より詳細な情報を提供します。なぜこのような違いがあるかというと、Universal Addressing モジュールは、国際データについては、万国郵便連合 (UPU) が提供するデータを利用し、そのデータの対象には多数の国が含まれていますが、UPU は、住所情報の更新と住所情報の詳細度を積極的に管理していません。一方、Address Now モジュールは、(ほとんどの国の) 郵便当局と他のサードパーティのデータ プロバイダが提供するデータを直接利用しています。つまり、最新情報が反映された、より詳細なデータを利用しているということです。
- **ドリル ダウン機能** — Address Now モジュールは、国の住所データに対するドリル ダウン機能も備えています。この機能を使用すると、住所情報をすばやく入力できます。構造に注意する必要はなく、データの入力ミスもありません。
- **2 バイトのサポート** — Address Now モジュールは Unicode 対応で、漢字等の 2 バイト文字を認識します。

Address Now コンポーネント

Address Now は、以下のコンポーネントで構成されます。これらのコンポーネントは、米国、カナダ、および国際住所に対して使用できます。

- **BuildGlobalAddresses** — 個々の住所要素を検索することにより、対話的に住所を作成することができます。
- **GetGlobalCandidateAddresses** — 与えられた住所にマッチすると思われる住所のリストを返します。
- **ValidateGlobalAddress** — 国際郵便データを使用して住所を正規化します。
ValidateGlobalAddress は、米国およびカナダの住所の妥当性も確認できますが、その他の国の

住所の妥当性を確認する能力に優れています。米国およびカナダ以外の住所データが大量に存在する場合は、**ValidateGlobalAddress** の使用を検討してください。

与えられた入力住所に対し、**ValidateGlobalAddress** が複数の一致住所を返す場合は、**GetGlobalCandidateAddresses** を使用して、住所スタックを返すことができます。**GetGlobalCandidateAddresses** は、返された住所のうち、どれが最良のマッチ結果であるかを判断するための、郵便データベースからの追加情報を返します。

Address Now データベース

Address Now データベースには、サポートされるすべての国の郵便データが含まれています。データベース全体、または特定の国のデータのみをインストールできます。データベースは、サーバーにインストールされます。このデータベースは、Pitney Bowes からのサブスクリプションによって提供され、毎月更新されます。

Build Global Address

Build Global Address では、単一または数個の住所要素のみから有効な住所を作成することができます。**Build Global Address** は、**Address Now** モジュールに含まれています。

BuildGlobalAddress の使用

住所の作成は対話的なプロセスであり、住所作成プロセスの各ステップで住所要素を選択することが必要になります。つまり、住所を作成するために、**Build Global Address** を 1 度ではなく複数回呼び出す必要があります。まず最初に、**Build GlobalAddress** に対する初期化呼び出しを実行します。この呼び出しにより、セッション ID が返されます。以降の呼び出しでは、このセッション ID を使用します。各呼び出しにおいて、**Build Global Address** は、住所要素に対する選択肢となる値のリストを提示します。値を選択して、次の住所要素への処理を進めます。この処理を住所全体が作成されるまで続けます。一部の例外を除き、各住所要素に対して個別に呼び出しを行う必要があります。

全体的なプロセスは、次のようになります。

- まず、初期化呼び出しによって、セッションを開始し、システムによって割り当てられたセッション ID を取得します。
- 与えられた住所要素に対する、候補となる値を見つけるための検索呼び出しを行います。
- 必要な値を選択したら、与えられた住所要素に対して確定した値を通知するための確定呼び出しを行います。
- すべての住所要素が確定するまで、検索/確定呼び出しを続行します。
- 最後に、セッションを終了するための終了呼び出しを行います。

プロセスの動作方法を理解するには、Management Console の [プレビュー] タブを使用して、以下の処理を順に実行します。

1. Management Console を開きます。
2. [サービス] タブで **[Address Now]** を選択します。
3. ウィンドウ左側のサービス一覧から、**[Build Global Address]** を選択します。
4. **[オプション]** タブで、必要なオプションを指定します。オプションの詳細については、[オプション](#) (29ページ) を参照してください。
5. **[プレビュー]** タブをクリックします。
6. **[Action]** フィールドに、"init" と入力します。
7. **[Country]** フィールドに、作成する住所の国を入力します。
8. **[プレビューを実行]** をクリックします。
9. **[プレビュー出力]** で **[SessionId]** フィールドを探し、値を右クリックしてハイライト表示し、ポップアップメニューから [コピー] を選択します。
10. **[プレビュー入力]** で **[SessionId]** フィールドを右クリックしてハイライト表示し、[貼り付け] を選択します。
11. 入力フィールドに以下の値を入力します。
 - Action — "search" と入力します。
 - Country — このフィールドはそのままにします。
 - FieldIndex — 検索する最初のフィールドのインデックス値を入力します。例えば、シカゴの住所を検索する場合は "1" と入力します。米国住所では、フィールド インデックス 1 が、都市フィールドに対応するためです。
 - SearchValue — 検索する値を入力します。例えば、シカゴの住所を作成する場合は、"chicago" と入力します。
 - SessionId — 同じ値のままにします。

注：他の入力フィールドの値は無視されます。

12. **[プレビューを実行]** を再度クリックします。
13. 検索結果は、**[Alternatives.InContext]** と **[Alternatives.OutContext]** の最大 2 つの出力フィールドに表示されます。インコンテキスト結果とアウトオブコンテキスト結果の違いについては、[コンテキストとは](#) (36ページ) を参照してください。
14. 必要な値が見つかった場合は、以下の値を入力フィールドに入力します。
 - Action — "commit" と入力します。
 - AlternativeIndex — 選択する選択肢のインデックス番号を入力します。インデックス値の最小値は 1 ではなく、0 です。例えば、シカゴを検索する場合、Build Global Address によって

返される選択肢には、以下のようにインデックスが付与されます。"CHICAGO" という値を確定する場合は、[AlternativeIndex] フィールドに "0" と入力します。

- 0—CHICAGO
 - 1—CHICAGO HTS
 - 2—CHICAGO PARK
 - 3—CHICAGO RIDGE
 - 4—EAST CHICAGO
 - 5—NORTH CHICAGO
 - 6—WEST CHICAGO
- **AlternativeContext** — "in" または "out" と入力し、[AlternativeIndex] で指定したインデックス値が [Alternatives.InContext] フィールドと [Alternatives.OutContext] フィールドのどちらの選択肢リストのものであるかを示します。
 - **SessionId** — この値は同じままにします。

注：他の入力フィールドの値は無視されます。

15. [プレビューを実行] を再度クリックします。指定した値が、適切な住所要素の [Field.n.Value] フィールドに表示されます。

16. 住所が作成されるまで、検索と確定のステップを必要な時だけ繰り返します。

17. 入力フィールドに以下の値を入力することにより、セッションを終了します。

- **Action** — "close" と入力します。
- **SessionId** — この値は同じままにします。

注：他の入力フィールドの値は無視されます。

入力

表 2 : BuildGlobalAddress の入力

フィールド名 パラメータ	書式	説明
Action	String	<p>実行するアクションを指定します。次のいずれかです。</p> <p>init 初期化。このアクションは、セッションを開始し、他のすべてのアクションで必要となるセッション ID を返します。 init アクションでは、[Country] 入力フィールドが必須です。</p> <p>search 特定の住所要素に対する値を検索し、選択肢となる値のリストを返します。search アクションでは、次の入力フィールドが必須です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FieldIndex • SearchValue • SessionId <p>commit search アクションで返された値のうちの 1 つをフィールドに代入します。commit アクションでは、次の入力フィールドが必須です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AlternativeIndex • AlternativeContext • SessionId <p>clear [FieldIndex] フィールドに指定されたフィールドの確定を取り消します。clear アクションでは、次の入力フィールドが必須です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FieldIndex • SessionID <p>close セッションを終了します。close アクションでは、[SessionId] 入力フィールドが必須です。</p>

フィールド名 パラメータ	書式	説明
AlternativeContext	String	<p>commit アクションにおいて、[Alternatives.InContext] フィールドと [Alternatives.OutContext] フィールドのどちらからの値を選択したかを表します。このフィールドは、他のアクションでは無視されます。次のいずれかです。</p> <p>in [Alternatives.InContext] フィールドからの値を確定しています。つまり、[AlternativeIndex] 入力フィールドで指定した値は、[Alternatives.InContext] 出力フィールドの値に対応します。</p> <p>out [Alternatives.OutContext] フィールドからの値を確定しています。つまり、[AlternativeIndex] 入力フィールドで指定した値は、[Alternatives.OutContext] 出力フィールドの値に対応します。</p>
AlternativeIndex	文字列	<p>commit アクションにおいて、作成中の住所で使用する値を指定します。例えば、都市を検索し、BuildGlobalAddress が 3 つの都市を返した場合に、インデックス値を指定することによって、どの都市を選択したかを表します。BuildGlobalAddress が提示する選択肢のインデックス値は 0 から開始します。つまり、最初の選択肢のインデックス値は 0、2 つめの選択肢のインデックス値は 1 で、以後同様に続きます。この入力フィールドは、commit 以外のアクションでは無視されます。</p>
Country	文字列	<p>init アクションにおいて、作成する住所が所在する国を指定します。入力した国フォーマット (英語名、2 文字の ISO 3116-1 Alpha-2 コード、または 3 文字の ISO 3116-1 Alpha-3 コード) を使用して、国を指定します。ISO コードの一覧は、ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。</p> <p>この入力フィールドは、init 以外のアクションでは無視されます。</p>

フィールド名 パラメータ	書式	説明
FieldIndex	文字列	<p>search アクションに対しては、検索する住所要素を指定します。clear アクションに対しては、確定を取り消す住所要素を指定します。次のいずれかです。</p> <p>all すべての住所要素に対して、"clear" アクションを実行します。このオプションは、"clear" アクションのみに適用されます。</p> <p><インデックス番号> 特定の住所要素に対して、アクションを実行します。住所要素のインデックスを調べるには、[Field.n.Name] フィールドを参照して、必要なフィールドを探します。値 n は、フィールドのインデックスを表します。例えば、米国住所の ZIP Code のインデックスを調べる場合を考えます。init 呼び出しの後、[Field.0.Name] が "Zip" となるため、ZIP Code のフィールド インデックスが "0" であることがわかります。</p> <p>この入力フィールドは、search と clear 以外のアクションでは無視されます。</p>
SearchValue	文字列	<p>search アクションにおいて、検索する値を指定します。この値は、[FieldIndex] で指定したフィールドに対して適切な値である必要があります。例えば、[FieldIndex] で ZIP Code フィールドを指定した場合は、このフィールドに ZIP Code または ZIP Code の一部を入力します。同様に、[FieldIndex] で City フィールドを選択した場合は、このフィールドに都市名または都市名の一部を指定します。このフィールドを空白のままにすると、search はインコンテキストのすべての値を返します。インコンテキストおよびアウトオブコンテキストの値については、コンテキストとは (36ページ) を参照してください。</p> <p>この入力フィールドは、search 以外のアクションでは無視されます。</p>
SessionId	文字列	<p>この呼び出しで使用するセッション ID を指定します。セッション ID を取得するには、init アクションを使用します。動作のない状態が 5 分間続くと、セッションの有効期限が切れ、新しい init 呼び出しを実行して、新しいセッションを開始する必要があります。</p> <p>このフィールドは、init 以外のすべてのアクションで必須です。</p>

オプション

表 3 : Build Global Address のオプション

オプション	説明
自国	デフォルト国を指定します。データ内の住所の多くが所在する国を指定する必要があります。例えば、住所の多くがカナダに所在する場合は、カナダを指定します。Build Global Address は、[StateProvince]、[PostalCode]、および [Country] の各住所フィールドから国を特定できなかった場合、指定された国を使用して、住所の検証を試みます。
国フォーマット	出力で国の名前として使うフォーマットを指定します。次のいずれかです。 英語名 出力の国名には英語表記を使います (デフォルト)。 ISO コード 国を 2 文字の ISO コードで出力します。 UPU コード 国を 3 文字の UPU コードで出力します。
その他の住所行を表示	都市、州/省、および郵便番号を [AddressLine] 出力フィールドのいずれかに格納するかどうかを指定します。このオプションの設定とは関係なく、出力フィールド [都市]、[州/省]、および [郵便番号] には常に都市、州/省、および郵便番号が格納されます。
郵便番号区切り文字を挿入する	ZIP Code またはカナダの郵便番号において、区切り文字 (スペースまたはハイフン) を使用するかどうかを指定します。 例えば、区切り文字ありの ZIP + 4 [®] Code は 20706-1844、区切り文字なしは 207061844 になります。区切り文字ありのカナダの郵便番号は P5E1S7、区切り文字なしは P5E1S7 になります。 注：カナダの郵便番号ではスペースが、米国の ZIP + 4 [®] コードではハイフンが使用されます。
返されるレコードの最大数	このオプションのデフォルト値として、1 ~ 10000 の間の任意の値が設定できます。デフォルト値は、50 レコードです。Enterprise Designer で設定された値が、Management Console における設定値よりも優先されることに注意してください。

出力

Build Global Address は、各入力住所の住所データとリターン コードを返します。

住所データ

表 4 : Build Global Address の出力

フィールド名	書式	説明
Action	文字列	この呼び出しで Action 入力フィールドに指定された値を表示します。この入力フィールドの詳細については、 入力 (26ページ) を参照してください。
AddressLine1	文字列	フォーマット済みの最初の住所行。
AddressLine2	文字列	フォーマット済みの 2 行目の住所行。
AddressLine3	文字列	フォーマット済みの 3 行目の住所行。
AddressLine4	文字列	フォーマット済みの 4 行目の住所行。
AddressLine5	文字列	フォーマット済みの 5 行目の住所行。
AddressLine6	文字列	フォーマット済みの 6 行目の住所行。
AddressLine7	文字列	フォーマット済みの 7 行目の住所行。
AddressLine8	文字列	フォーマット済みの 8 行目の住所行。
AlternativeContext	文字列	この呼び出しで AlternativeContext 入力フィールドに指定された値を表示します。詳細については、 入力 (26ページ) を参照してください。

フィールド名	書式	説明
AlternativeIndex	文字列	この呼び出しで AlternativeIndex 入力フィールドに指定された値を表示します。この入力フィールドの詳細については、 入力 (26ページ) を参照してください。
Alternatives.InContext	文字列	検索したフィールドの候補値のうち、確定済みのフィールドのコンテキストに合致するものが、カンマで区切られたリスト。コンテキストの詳細については、 コンテキストとは (36ページ) を参照してください。
Alternatives.InContext.Count	文字列	検索によって返された「インコンテキスト」結果の数。コンテキストの詳細については、 コンテキストとは (36ページ) を参照してください。
Alternatives.OutContext	文字列	検索したフィールドの候補値のうち、確定済みのフィールドのコンテキストに合致しないものが、カンマで区切られたリスト。コンテキストの詳細については、 コンテキストとは (36ページ) を参照してください。
Alternatives.OutContext.Count	文字列	検索によって返された「アウトオブコンテキスト」結果の数。コンテキストの詳細については、 コンテキストとは (36ページ) を参照してください。
ApartmentLabel	文字列	アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St.APT 3
ApartmentNumber	文字列	アパート番号。例: 123 E Main St.APT 3
Building	文字列	建物の名前。
City	文字列	都市名。

フィールド名	書式	説明
Country	文字列	この呼び出しの、[Country] 入力フィールドで指定された値。この入力フィールドの詳細については、 入力 (26ページ) を参照してください。
Country	文字列	2文字または3文字の ISO コード、または、国の英語名。ISO コードの一覧は、 ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。
Department	文字列	複数の部門に整理された任意のものの個々の部分の名前。例えば、企業の中の財務部門など。
Field.n.CommitFlag	文字列	フィールド n の値を選択済みかどうか (つまり、値を "確定" したかどうか) を表します。次のいずれかです。 Y このフィールドの値は確定済みです。 N このフィールドの値は確定していません。
Field.n.Index	文字列	フィールド n (n は 0 ~ 10) を指すために使用するインデックス値。例えば、米国住所の場合、ZIP フィールドのインデックス値は "0" です。
Field.n.Name	文字列	フィールド n (n は 0 ~ 10) に含まれる住所要素の名前。例えば、米国住所の場合、Field.0.Name は ZIP です。
Field.n.Value	文字列	フィールド n (n は 0 ~ 10) に対して確定済みの値。 init 呼び出しでは、このフィールドは空白です。
FieldIndex	文字列	この呼び出しの、[FieldIndex] 入力フィールドで指定された値。この入力フィールドの詳細については、 入力 (26ページ) を参照してください。

フィールド名	書式	説明
FirmName	文字列	会社名。例: Pitney Bowes 4200 PARLIAMENT PL STE 600 LANHAM MD 20706-1844 USA
HouseNumber	文字列	家番号。例: 123 E Main St.Apt 3
POBox	文字列	郵便局の私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配送路の私書箱番号がここに表示されます。
PostalCode	文字列	郵便番号。米国では、ZIP Code™になります。
PostalCode.AddOn	文字列	ZIP + 4® コードの 4 桁アドオン部分。例えば、60655-1844 という ZIP Code™ において、4 桁のアドオン部分は 1844 になります(米国住所のみ)。
PostalCode.Base	文字列	5 桁の ZIP Code™。例えば、20706 (米国住所のみ)。
Principality	文字列	国内の地域。例えば、イングランド、スコットランド、ウェールズは公国です。このフィールドは、通常は空白です。
SearchFieldIndex	文字列	前回の検索操作で検索されたフィールドのインデックス値。
SearchValue	文字列	この呼び出しで SearchValue 入力フィールドに指定された値を表示します。この入力フィールドの詳細については、 入力 (26ページ) を参照してください。

フィールド名	書式	説明
SessionId	文字列	この呼び出しで SessionId 入力フィールドに指定された値を表示します。この入力フィールドの詳細については、 入力 (26ページ) を参照してください。
StateProvince	文字列	州または省の省略形。
StreetName	文字列	ストリート名。例: 123 E Main St. Apt 3
StreetSuffix	文字列	ストリート接尾語。例: 123 E Main St. Apt 3
SubCity	文字列	地区または郊外。地区または郊外を住所に含めるのが一般的な国で使用します。例を次に示します。 27 Crystal Way Bradley Stoke Bristol BS32 8GA この住所では "Bradley Stoke" が該当します。
SubStreet	文字列	住所の識別に使われる 2 番目のストリート名。2 つのストリート名を住所に含めるのが一般的な国で使用します。例を次に示します。 12 The Mews High Street この例では、"High Street" が 2 番目のストリート名です。このストリート名は、配達先を正確に特定するために使用できます。前の例の "The Mews" は短いストリートなので、住所を正確に示すために別のストリート名が必要とされることから、"High Street" が追記されています。このような場合、"High Street" がメインまたは既知のストリート名です。
USCountyName	文字列	米国住所に対しては、住所がある郡の名前です。

リターンコード

表 5 : Build Global Address のリターンコード

フィールド名	書式	説明
Status	文字列	マッチの成功または失敗。 null 成功 F 失敗
Status.Code	文字列	失敗の原因 (ある場合)。 <ul style="list-style-type: none"> • SessionError • SeverError • CountryNotFound
Status.Description	文字列	問題の説明 (ある場合)。 Please initialize new session Status.Code=SessionError の場合にこの値が表示されます。 Null or empty action Status.Code=SessionError の場合にこの値が表示されます。 Unknown action Status.Code=SessionError の場合にこの値が表示されます。 Invalid session Status.Code=SessionError の場合にこの値が表示されます。 Invalid value for Status.Code=SessionError の場合にこの値が表示されます。 Cannot Search Committed Field Status.Code=SessionError の場合にこの値が表示されます。 Module not licensed Status.Code=ServerError の場合にこの値が表示されます。 Could Not Identify Country Status.Code=CountryNotFound の場合にこの値が表示されます。

コンテキストとは

住所要素の検索を実行する際、**Build Global Address** は、確定済みの住所要素を参照し、返す値を、確定済みの住所要素のコンテキスト内にあるかどうかによって分割します。例えば、米国の場合、米国には次の都市が存在します。

イリノイ州の都市

- CHICAGO
- CHICAGO HTS
- CHICAGO RIDGE
- NORTH CHICAGO
- WEST CHICAGO

インディアナ州の都市

- EAST CHICAGO

ネバダ州の都市

- CHICAGO PARK

州として "IN" (インディアナ州) の値が確定済みの状態で、都市 "chicago" を検索した場合、**Build Global Address** は「インコンテキスト」結果として **EAST CHICAGO** を返します。それがインディアナ州に存在するためです。"chicago" に対するその他のマッチ結果はすべて、アウトオブコンテキスト結果として返されます。同様に、州として "IL" (イリノイ州) の値が確定済みである場合は、**Build Global Address** は、アウトオブコンテキスト結果として **EAST CHICAGO** と **CHICAGO PARK** を返し、「インコンテキスト」結果として **CHICAGO**、**CHICAGO HTS**、**CHICAGO RIDGE**、**NORTH CHICAGO**、および **WEST CHICAGO** を返します。

Get Global Candidate Addresses

Get Global Candidate Addresses は、与えられた入力住所にマッチすると思われる住所のリストを返します。入力住所が、**Address Now** データベースの複数の住所にマッチする場合は、可能性のある複数のマッチ結果が返されます。入力住所が、**Address Now** データベースの 1 つの住所のみにマッチする場合は、住所データは返されません。

Get Global Candidate Addresses は、**Address Now** モジュールに含まれています。

入力

GetGlobalCandidateAddresses は正規化済み住所を受け取ります。どの国の住所であるかにかかわらず、すべての住所がこのフォーマットを使用します。[AddressLine1] および [Country] は、必須の入力フィールドです。他のフィールドはすべてオプションです。

表 6 : GetGlobalCandidateAddresses の入力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	最初の住所行。これは必須のフィールドです。
AddressLine2	文字列	2 行目の住所行。
AddressLine3	文字列	3 行目の住所行。
AddressLine4	文字列	4 行目の住所行。
AddressLine5	文字列	5 行目の住所行。
AddressLine6	文字列	6 行目の住所行。
AddressLine7	文字列	7 行目の住所行。
AddressLine8	文字列	8 行目の住所行。
City	文字列	都市名
StateProvince	文字列	州または省。
PostalCode	文字列 [10]	住所の郵便番号は、次のフォーマットのいずれかで表されます。 99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999

フィールド名	書式	説明
Country	String	国。入力为国フォーマットとして選択したフォーマット (英語名または ISO コード) を使って国を指定します。ISO コードの一覧は、 ISO 国コードとモジュールサポート を参照してください。
FirmName	文字列	会社名または企業名。

オプション

表 7 : Get Global Candidate Addresses のオプション

オプション	説明						
自国	デフォルト国を指定します。ほとんどの郵送物の宛先となる国を指定します。例えば、ほとんどの郵送先がカナダであれば、カナダを指定します。Get Global Candidate Addresses は、[StateProvince]、[PostalCode]、および [Country] の各住所フィールドから国を特定できなかった場合、指定された国を使用して、住所の検証を試みます。						
大文字小文字	出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">混在</td> <td>出力には、大文字と小文字が混在させます(デフォルト)。次に例を示します。123 Main St Mytown FL 12345</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">大文字</td> <td>出力に大文字を使用します。次に例を示します。123 MAIN ST MYTOWN FL 12345</td> </tr> </table>	混在	出力には、大文字と小文字が混在させます(デフォルト)。次に例を示します。123 Main St Mytown FL 12345	大文字	出力に大文字を使用します。次に例を示します。123 MAIN ST MYTOWN FL 12345		
混在	出力には、大文字と小文字が混在させます(デフォルト)。次に例を示します。123 Main St Mytown FL 12345						
大文字	出力に大文字を使用します。次に例を示します。123 MAIN ST MYTOWN FL 12345						
国フォーマット	出力で国の名前として使うフォーマットを指定します。次のいずれかです。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">英語名</td> <td>出力の国名には英語表記を使います (デフォルト)。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">ISO コード</td> <td>出力の国名には 2 文字の ISO コードを使います。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">UPU コード</td> <td>出力の国名には 2 文字の UPU コードを使います。</td> </tr> </table>	英語名	出力の国名には英語表記を使います (デフォルト)。	ISO コード	出力の国名には 2 文字の ISO コードを使います。	UPU コード	出力の国名には 2 文字の UPU コードを使います。
英語名	出力の国名には英語表記を使います (デフォルト)。						
ISO コード	出力の国名には 2 文字の ISO コードを使います。						
UPU コード	出力の国名には 2 文字の UPU コードを使います。						

オプション

説明

その他の住所行を表示 都市、州/省、および郵便番号を [AddressLine] 出力フィールドのいずれかに格納するかどうかを指定します。このオプションの設定とは関係なく、出力フィールド [都市]、[州/省]、および [郵便番号] には常に都市、州/省、および郵便番号が格納されます。

郵便番号区切り文字を挿入する ZIP™ Code またはカナダの郵便番号において、区切り文字 (スペースまたはハイフン) を使用するかどうかを指定します。
 例えば、区切り文字ありの ZIP + 4® Code は 20706-1844、区切り文字なしは 207061844 になります。区切り文字ありのカナダの郵便番号は P5E1S7、区切り文字なしは P5E1S7 になります。
 注：カナダの郵便番号ではスペースが、米国の ZIP + 4® コードではハイフンが使用されます。

返されるレコードの最大数 出力する候補住所の最大数。デフォルトは 50 です。最大値は 100 です。

妥当性が確認されなかった入力データを返す 妥当性を確認できなかった入力住所を出力データに含めるかどうかを指定します。

出力

Get Global Candidate Addresses は、各住所の住所データとリターン コードを返します。

住所データ

表 8 : GetGlobalCandidateAddresses の住所データ出力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	フォーマット済みの最初の住所行。
AddressLine2	文字列	フォーマット済みの 2 行目の住所行。

フィールド名	書式	説明
AddressLine3	文字列	フォーマット済みの 3 行目の住所行。
AddressLine4	文字列	フォーマット済みの 4 行目の住所行。
AddressLine5	文字列	フォーマット済みの 5 行目の住所行。
AddressLine6	文字列	フォーマット済みの 6 行目の住所行。
AddressLine7	文字列	フォーマット済みの 7 行目の住所行。
AddressLine8	文字列	フォーマット済みの 8 行目の住所行。
ApartmentLabel	文字列	アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St.APT 3
ApartmentNumber	文字列	アパート番号。例: 123 E Main St.APT 3
Building	文字列	建物の名前。
City	文字列	都市名。
Country	文字列	国の ISO コードまたは英語名。ISO コードの一覧は、 ISO 国コードとモジュールサポート を参照してください。
Department	文字列	複数の部門に整理された任意のものの個々の部分の名前。例えば、企業の中の財務部門など。

フィールド名	書式	説明
FirmName	文字列	会社名。例: Pitney Bowes 4200 PARLIAMENT PL STE 600 LANHAM MD 20706-1844 USA
HouseNumber	文字列	家番号。例: 123 E Main St. Apt 3
POBox	文字列	私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配送路の私書箱番号がここに表示されます。
PostalCode	文字列	現地の郵便当局が記入を必須とする郵便番号。例えば、米国の場合、米国の郵便番号は ZIP Code です。
PostalCode.AddOn	文字列	米国住所に対しては、ZIP + 4 [®] Code の末尾 4 桁。
PostalCode.Base	文字列	米国住所に対しては、5 桁の ZIP Code がこれに該当します。
Principality	文字列	国内の地域。例えば、イングランド、スコットランド、ウェールズは公国です。このフィールドは、通常は空白です。
StateProvince	文字列	州または省の省略形。
StreetName	文字列	ストリート名。例: 123 E Main St. Apt 3
StreetSuffix	文字列	ストリート接尾語。例: 123 E Main St. Apt 3

フィールド名	書式	説明
SubCity	文字列	<p>地区または郊外。地区または郊外を住所に含めるのが一般的な国で使用します。例を次に示します。</p> <p>27 Crystal Way Bradley Stoke Bristol BS32 8GA</p> <p>この住所では "Bradley Stoke" が該当します。</p>
SubStreet	文字列	<p>住所の識別に使われる 2 番目のストリート名。2 つのストリート名を住所に含めるのが一般的な国で使用します。例を次に示します。</p> <p>12 The Mews High Street</p> <p>この例では、"High Street" が 2 番目のストリート名です。このストリート名は、配達先を正確に特定するために使用できます。前の例の "The Mews" は短いストリートなので、住所を正確に示すために別のストリート名が必要とされることから、"High Street" が追記されています。このような場合、"High Street" がメインまたは既知のストリート名です。</p>
USCountyName	文字列	<p>米国住所に対しては、住所がある郡の名前です。</p>

リターンコード

表 9 : GetGlobalCandidateAddresses のリターンコード

フィールド名	書式	説明
ACRCode	文字列	<p>ACR(住所訂正結果)コードは、各レコードでどのデータが変更されたかを示します。このコードの意味については、ACR コード (62ページ) を参照してください。</p>
Confidence	文字列	<p>返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は 0 ~ 100 です。0 は失敗を表し、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。</p>

フィールド名	書式	説明
Status	文字列	<p>マッチの成功または失敗。</p> <p>Null 成功</p> <p>F 失敗</p>
Status.Code	文字列	<p>失敗の原因 (ある場合)。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RequestFailed • ServerError • CountryNotFound
Status.Description	文字列	<p>問題の説明 (ある場合)。</p> <p>Maximum records cannot be set to 0. Minimum value should be 1 Status.Code=RequestFailed の場合にこの値が表示されます。</p> <p>Address Not Found Status.Code=RequestFailed の場合にこの値が表示されます。</p> <p>Module not licensed Status.Code=ServerError の場合にこの値が表示されます。</p> <p>Could Not Identify Country Status.Code=CountryNotFound の場合にこの値が表示されます。</p>

レポート

Get Global Candidate Addresses で使用可能な唯一のレポートは、Get Global Candidate Addresses Report です。このレポートを作成するには、Enterprise Designer で **[Get Global Candidate Addresses Report]** アイコンをキャンバスにドラッグします。レポートにコネクタを引く必要はありません。

Get Global Candidate Addresses Report

Get Global Candidate Addresses Report は、ジョブで処理されたレコードの設定と数に関する情報を示します。

General Information

レポートの最初の部分には、レポートの日付と、以下の設定情報が配置されます。

- **Output Country Format** — ジョブに適用される **[国フォーマット]** 設定。この設定の詳細については、[オプション](#) (38ページ) を参照してください。
- **Output Text Casing** — ジョブに適用される **[大文字と小文字の区別]** 設定。この設定の詳細については、[オプション](#) (38ページ) を参照してください。
- **Maximum Results** — ジョブに適用される **[返されるレコードの最大数]** 設定。この設定の詳細については、[オプション](#) (38ページ) を参照してください。

Input Address

このセクションには、ジョブで使われた入力の統計情報が配置されます。

- **Input Record Count** — ジョブの入力住所の総数。
- **Address Records Processed** — Validate Global Address によって検証が試みられた住所の数。
- **Total Records For Which Address Search Attempted** — 検索が試みられた入力住所の総数。
- **Total Records Successfully Searched** — 候補が返された入力住所の数。結果がステータス "F" にならなかった入力住所の数です。
- **Total Unsearched Records** — 候補が返されなかった入力住所の数。結果がステータス "F" になった入力住所の数と等しくなります。

Output Address

このセクションには、ジョブからの出力に関する統計情報が配置されます。

- **Search Results Count** — ジョブから返された住所 (候補を含む) の総数です。

Validate Global Address

Validate Global Address は、米国およびカナダ以外のアドレスのアドレス標準化と検証機能が強化されています。Validate Global Address は、米国およびカナダの住所の妥当性も確認できますが、その他の国の住所の妥当性を確認する能力に優れています。米国およびカナダ以外の住所の妥当性を確認する必要がある場合は、Validate GlobalAddress の使用を検討してください。

Validate Global Address は、Address Now モジュールに含まれています。

入力

ValidateGlobalAddress は、正規化済みの住所を入力として受け取ります。どの国の住所であるかにかかわらず、すべての住所がこのフォーマットを使用します。

表 10 : ValidateGlobalAddress の入力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	最初の住所行。
AddressLine2	文字列	2 行目の住所行。
AddressLine3	文字列	3 行目の住所行。
AddressLine4	文字列	4 行目の住所行。
AddressLine5	文字列	5 行目の住所行。
AddressLine6	文字列	6 行目の住所行。
AddressLine7	文字列	7 行目の住所行。
AddressLine8	文字列	8 行目の住所行。
City	文字列	都市名
StateProvince	文字列	州または省。
PostalCode	文字列 99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999	住所の郵便番号。米国では、ZIP Code™になります。

フィールド名	書式	説明
Country	文字列	入力为国フォーマットとして選択したフォーマット (英語名または ISO コード) を使って国を指定します。ISO コードの一覧は、 ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。
FirmName	文字列	会社名または企業名。

オプション

入力データ オプション

表 11 : ValidateGlobalAddress の入力データ オプション

オプション	説明
自国	デフォルト国を指定します。住所の大半がある国を指定してください。例えば、処理する住所の大部分がカナダにある場合は、カナダを指定します。ValidateGlobalAddress では、[StateProvince]、[PostalCode]、または [Country] 住所フィールドで国を特定できない場合に自国を使って住所を確認しようとしています。有効な値の一覧は、 ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。

出力データ オプション

表 12 : ValidateGlobal Address の出力データ オプション

オプション	説明				
大文字小文字	出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="vertical-align: top;">混在</td> <td>出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。次に例を示します。123 Main St Mytown FL 12345</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">大文字</td> <td>出力に大文字を使用します。次に例を示します。123 MAIN ST MYTOWN FL 12345</td> </tr> </table>	混在	出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。次に例を示します。123 Main St Mytown FL 12345	大文字	出力に大文字を使用します。次に例を示します。123 MAIN ST MYTOWN FL 12345
混在	出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。次に例を示します。123 Main St Mytown FL 12345				
大文字	出力に大文字を使用します。次に例を示します。123 MAIN ST MYTOWN FL 12345				

オプション	説明
国フォーマット	<p>出力で国の名前として使うフォーマットを指定します。次のいずれかです。</p> <p>英語名 出力の国名には英語表記を使います (デフォルト)。</p> <p>ISO コード 出力の国名には 2 文字の ISO コードを使います。</p> <p>UPU コード 出力の国名には 2 文字の UPU コードを使います。</p>
マッチしなかった場合に正規化データを返す	<p>住所を検証できない場合に正規化された住所を返すかどうかを指定します。住所には、その国の標準住所書式が設定されます。このオプションを選択しない場合、住所のに失敗すると出力住所コンポーネント フィールド ([StreetName]、[HouseNumber] など) は空白になります。</p>
その他の住所行を表示	<p>都市、州/省、および郵便番号を [AddressLine] 出力フィールドのいずれかに含めるかどうかを指定します。このオプションの設定とは関係なく、出力フィールド [都市]、[州/省]、および [郵便番号] には常に都市、州/省、および郵便番号が格納されます。</p>
郵便番号区切り文字を挿入する	<p>ZIP™ Code またはカナダ郵便番号で区切り文字 (スペースまたはハイフン) を使うかどうかを指定します。</p> <p>例えば、区切り文字ありの ZIP + 4® Code は 20706-1844、区切り文字なしは 207061844 になります。区切り文字ありのカナダの郵便番号は P5E*1S7、区切り文字なしは P5E1S7 になります。</p> <p>注：カナダの郵便番号ではスペースが、米国の ZIP + 4® コードではハイフンが使用されます。</p>
マッチしなかった場合に書式を整えたデータを返す	<p>住所の妥当性を確認できない場合に書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所には、その国の標準住所書式が設定されます。</p>
住所検証を有効にする	<p>住所検証を有効にします。住所検証は以下の手順で進められます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各コンポーネントを当該国の参照データと照合します。 スペルの誤りを訂正します。 欠落しているコンポーネントを補います。 郵便番号を訂正するか補います。

オプション	説明
住所の書式設定を有効にする	住所のコンポーネントを法律で定められたフォーマットまたはカスタムフォーマットに書式設定します。

正規化オプション

表 13 : Validate Global Address の正規化オプション

オプション	説明
不適切な語をマーク	">VulgarWord<" 形式を使って、不適切な語を出力中にマークするかどうかを指定します。
デバッグ出力	このオプションは、トラブルシューティング用の情報を出力フィールド [Email1]、[Email2]、[URL1]、および [URL2] に設定するかどうかを指定します。
不適切な語を報告	不適切な語を検出するかどうかを指定します。このオプションを有効にすると、ValidateGlobalAddress は、結果を示す値を [WCRCode] 出力フィールドに返します。
住所行から作成	これらのオプションは、住所の正規化に使用する住所要素を指定します。Validate Global Address は、入力住所行を、これらのオプションで指定されたコンポーネントにパースします。

検証オプション

表 14 : Validate Global Address 検証オプション

オプション	説明
微細な更新にとどめる	このオプションは、[強制的に更新] オプションと併用することで、処理中にデータが大きく変更されないようにすることができます。

オプション

説明

クロス コンポーネント マッチ 住所正規化と検証の一般的なエラーを訂正するためにクロス コンポーネント マッチを実行するかどうかを指定します。クロス コンポーネント マッチを実行すると、入力データのフィールドにあるデータと Address Now データベースの別のフィールドにあるデータがマッチするかどうかチェックされます。

付加記号の参照を使用 住所の違いが付加記号(アクセント記号、ウムラウト記号など)のみの場合に **Validate Global Address** が住所を変更して郵便データベース内の住所の付加記号に一致させるかどうかを指定します。

例えば、**【付加記号の参照を使用】** を有効にすると、データは以下のように処理されます。

入力される都市名: Chalon-Sur-Saône
 郵便データベース内の都市名: CHALON SUR SAONE
 出力される都市名: CHALON SUR SAONE

入力される都市名: ARTEMIVS'K
 郵便データベース内の都市名: ARTEMIVSK
 出力される都市名: ARTEMIVSK

一方、**【付加記号の参照を使用】** を有効にしない場合は、データは以下のように処理されます。

入力される都市名: Chalon-Sur-Saône
 参照される都市名: CHALON SUR SAONE
 出力される都市名: Chalon-Sur-Saône

入力される都市名: ARTEMIVS'K
 参照される都市名: ARTEMIVSK
 出力される都市名: ARTEMIVS'K

このオプションの設定は、**【書き直し方法】** オプションに影響しないことに注意してください。

正規化形の変更を ACR コードに記録 正規化による変更 ("ROAD" を "RD" に変更するなど) を ACR コードとして報告するかどうかを指定します。

オプション

説明

許容レベル

[許容レベル] 設定は、住所全体を検証されたと見なすために検証しなければならない住所コンポーネントの最小限の数を指定します。[許容レベル] に指定された値は、ACR コードの 2 番目の文字に対応します。詳細については、[ACR コード \(62ページ\)](#) を参照してください。

許容レベルは **[バリデーションの最小確信レベル]** オプションとは異なります。許容レベルは、**Validate Global Address** が検証するコンポーネントの数を指定するオプションであり、検証対象のコンポーネントが郵便データベースの住所コンポーネントにどの程度マッチするかは問いません。一方、**[バリデーションの最小確信レベル]** は、出力住所が検証済みの正しいバージョンの入力住所である可能性を示します。

次のいずれかです。

- **国固有** — 許容レベルは、住所の国に基づいて適切なレベルに自動的に設定されます。例えば、米国の住所では、米国の住所は許容レベル 4 で処理されます。
- **レベル 0** — コンポーネントを一つも検証しません (既定)。
- **レベル 1** — 国名のみを検証します。
- **レベル 2** — 都市名および国名を検証します。
- **レベル 3** — 都市名、郵便コード、および国名を検証します。
- **レベル 4** — ストリート名、都市名、郵便コード、および国名を検証します。
- **レベル 5** — 敷地番号、建物名、従属する建物名、私書箱、企業名、ストリート名、都市名、郵便番号、および国名を検証します。

バリデーションの最小確信レベル

住所検証の最小確信レベルを指定します。[Confidence] 出力フィールドの値がこのレベル値と同じかそれを超える住所が検証の対象となります。値がレベル値よりも小さい住所は検証されません (出力フィールド [Status] に "F" が設定されません)。

0 ~ 100 の範囲の値を指定できます。値が大きいほど、住所検証の実行に必要な確信レベルが高くなります。デフォルト値は 60 です。

外部マッチ スコア行

外部マッチ スコア行を計算するときに使う住所の行数を示す 0 ~ 8 の範囲の値。デフォルト値は 8 です。外部マッチ スコア行の詳細については、[外部マッチ スコア \(59ページ\)](#) を参照してください。

オプション

説明

マッチ スコア重み付け

この値は、指定したフィールドに関する、入力データと **Address Now** データベースとの類似または相違の相対的な重要性を指定します。このオプションは、確信値に影響するので、正しい更新と正しくない更新を区別するために確信の度合いを調節する目的に使えます。詳細については、**ACR コード** (62ページ) を参照してください。

フィールドごとに 0 ~ 10 の範囲で整数を指定します。この数値が、フィールド間の相対的な重要性の違いを表します。デフォルト値は次のとおり。

- 企業名 — 1
- ストリート名 — 10
- 都市名 — 8
- 郵便コード — 8

可能ならば設定

これらのオプションは、住所を検証するときに住所のどの部分を使うかを指定します。**Validate Global Address** は、入力住所行をパースして、これらのオプションで指定されたコンポーネントに変換します。

強制的に更新

これらのオプションは、検証中にどのフィールドを訂正するかを指定します。

エイリアスを置換

これらのオプションは、入力データが **Address Now** データベースにエイリアスとして見つかった場合にどの住所コンポーネントを上書きするかを指定します。エイリアスは、郵便コードが変更されたり、都市に別名がある場合に使用されます。このオプションを有効にすると、エイリアスは **Address Now** データベースに指定されたマスタ バージョンで上書きされます。

出力フォーマット オプション

表 15 : Validate Global Address の出力フォーマット オプション

オプション	説明
書き直し	<p>出力住所の付加記号をフォーマットする方法を指定します。次のいずれかです。</p> <p>付加記号を保持 書き直しを実行しません。付加記号は、入力または郵便データベースで提供されたまま残されます。こちらがデフォルトです。</p> <p>付加記号を除去 付加記号を除去し、それに相当する非装飾文字で置き換えます。</p> <p>翻字する 言語固有の書き直しルールに従って、付加記号をそれに相当する非装飾文字または文字シーケンスに書き直します。</p>
<p>例えば、スウェーデンの住所に 3 つの書き直しオプションを適用した場合のそれぞれの結果を以下に示します。"Västra Frölunda" の違いに注目してください。</p> <p>付加記号を保持</p> <p>Gustaf Wernersgata 12 S-42132 Västra Frölunda</p> <p>付加記号を除去</p> <p>Gustaf Wernersgata 12 S-42132 Vastra Frolunda</p> <p>翻字する</p> <p>Gustaf Wernersgata 12 S-42132 Vaestra Froelunda</p>	
書式を整えた住所出力に含める要素	住所のどの部分を該当国の標準住所書式に従ってフォーマットするかを指定します。Validate Global Address は、入力住所行をパースして、このオプションで参照されるコンポーネントに設定します。

出力

住所データ出力

表 16 : ValidateGlobalAddress の住所データ出力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	フォーマット済みの最初の住所行。
AddressLine2	文字列	フォーマット済みの 2 行目の住所行。
AddressLine3	文字列	フォーマット済みの 3 行目の住所行。
AddressLine4	文字列	フォーマット済みの 4 行目の住所行。
AddressLine5	文字列	フォーマット済みの 5 行目の住所行。
AddressLine6	文字列	フォーマット済みの 6 行目の住所行。
AddressLine7	文字列	フォーマット済みの 7 行目の住所行。
AddressLine8	文字列	フォーマット済みの 8 行目の住所行。
ApartmentLabel	文字列	アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St.APT 3
ApartmentNumber	文字列	アパート番号。例: 123 E Main St.APT 3
Building	文字列	建物の名前。

フィールド名	書式	説明
City	文字列	都市名。
Country	文字列	国の ISO コードまたは英語名。ISO コードの一覧は、 ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。
Department	文字列	フランス語圏やスペイン語圏で使われる国内の従属する地区。たとえば、フランスは 100 の department (県) に分割されます。
FirmName	文字列	会社名。例: Pitney Bowes 4200 PARLIAMENT PL STE 600 LANHAM MD 20706-1844 USA
HouseNumber	文字列	家番号。例: 123 E Main St.Apt 3
Latitude	文字列	住所から確認できる最も精度の高い緯度。ポイントレベルの場所またはセントロイドである場合があります。精度レベルは、[ECRCCode]出力フィールドをチェックすると確認できます。詳細については、 ECRコード (58ページ) を参照してください。
Longitude	文字列	住所から確認できる最も精度の高い経度。ポイントレベルの場所またはセントロイドである場合があります。精度レベルは、[ECRCCode]出力フィールドをチェックすると確認できます。詳細については、 ECRコード (58ページ) を参照してください。
POBox	文字列	郵便局の私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配送路の私書箱番号がここに表示されます。
PostalCode	文字列	郵便番号。米国では、ZIP Code™になります。

フィールド名	書式	説明
PostalCode.AddOn	文字列	ZIP + 4 [®] コードの 4 桁アドオン部分。例えば、60655-1844 という ZIP Code [™] において、4 桁のアドオン部分は 1844 になります(米国住所のみ)。
PostalCode.Base	文字列	5 桁の ZIP Code [™] 。例えば、20706 (米国住所のみ)。
Principality	文字列	国内の地域。例えば、イングランド、スコットランド、ウェールズは公国です。このフィールドは、通常は空白です。
StateProvince	文字列	州または省の省略形。
StreetName	文字列	ストリート名。例: 123 E Main St. Apt 3
StreetSuffix	文字列	ストリート接尾語。例: 123 E Main St. Apt 3
SubCity	文字列	地区または郊外。地区または郊外を住所に含めるのが一般的な国で使用します。例を次に示します。 27 Crystal Way Bradley Stoke Bristol BS32 8GA この住所では "Bradley Stoke" が該当します。

フィールド名	書式	説明
SubStreet	文字列	<p>住所の識別に使われる 2 番目のストリート名。2 つのストリート名を住所に含めるのが一般的な国で使用します。例を次に示します。</p> <p>12 The Mews High Street</p> <p>この例では、"High Street" が 2 番目のストリート名です。このストリート名は、配達先を正確に特定するために使用できます。前の例の "The Mews" は短いストリートなので、住所を正確に示すために別のストリート名が必要とされることから、"High Street" が追記されています。このような場合、"High Street" がメインまたは既知のストリート名です。</p>
USCountyName	文字列	米国住所に対しては、住所がある郡の名前です。

リターンコード

表 17 : ValidateGlobal Address のリターンコード

フィールド名	書式	説明
ACRCode	文字列	ACR (住所訂正結果) コードは、各レコードでどのデータが変更されたかを示します。このコードの意味については、 ACR コード (62 ページ) を参照してください。
Confidence	文字列	返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は 0 ~ 100 です。0 は失敗を表し、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。この値は、ACR コードの最後の 3 文字と同じであり、検証マッチスコアと呼ばれます。詳細については、 ACR コード (62 ページ) を参照してください。
ECRCode	文字列	住所訂正結果 (ECR) コードは、住所に対して返される緯度/経度の精度レベルを表します。詳細については、 ECR コード (58 ページ) を参照してください。
Email1	文字列	追加の正規化情報。

フィールド名	書式	説明
Email2	文字列	追加の正規化情報。
OuterMatchScore	文字列	各住所行への変更を測るスコア。詳細については、 外部マッチスコア (59ページ) を参照してください。
Status	文字列	マッチの成功または失敗。 <ul style="list-style-type: none">• null—Success• F—Failure
Status.Code	文字列	失敗の原因 (ある場合)。 <ul style="list-style-type: none">• UnableToValidate• ServerError• CountryNotFound
Status.Description	文字列	問題の説明 (ある場合)。 <ul style="list-style-type: none">• Address Not Found— Status.Code=UnableToValidate の場合にこの値が表示されます。• Module not licensed— Status.Code=ServerError の場合にこの値が表示されます。• Could Not Identify Country— Status.Code=CountryNotFound の場合にこの値が表示されます。
URL1	文字列	追加の正規化情報。
URL2	文字列	追加の正規化情報。

フィールド名	書式	説明
WCRCODE	文字列	<p>語訂正結果 (WCR) コードは、入力住所に不適切な語が見つかったことを示します。コードは、2つの要素に分かれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロケーション コード — 次のいずれかの値です。 • AB — 不適切な語が住所に見つかったことを示します。 • NB — 不適切な語が名前に見つかったことを示します。 • 個数 — ロケーション コードが示す場所に見つかった不適切な語の数。 <p>例えば、"AB2" は 2つの不適切な語が入力住所に見つかったことを意味します。</p>

ECR コード

住所訂正結果 (ECR) コードは、住所に対して返される緯度/経度の精度レベルを表します。コードは、接頭文字とコード本体がダッシュで区切られるフォーマットで構成されます。

接頭文字は常に "EL" で始まり、これに全体の精度レベルを示す 1 ~ 5 の番号が続きます。

- 5 — ポイント ジオコード
- 4 — ストリートセントロイド
- 3 — 郵便番号セントロイド
- 2 — 都市セントロイド
- 1 — 地域セントロイド

コードの本体は、住所とジオコードのマッチングに使われたコンポーネントを示します。本体が英数字で構成されることに注意してください。コード本体の意味は次のとおりです。

- P — 敷地/家番号 (私書箱番号を含む)
- S — ストリート
- T — 都市
- R — 地域/州
- Z — 郵便番号
- C — 国

コードの本体で使用できる数字オプションは、4 または 0 です。

- 4 — コンポーネント データが、ジオコードと住所のマッチング検出に使用できました。
- 0 — コンポーネント データは使用できませんでした。

例: EL4-P0S4T4R4Z4C4

この例では、Pの次にある0は、この住所マッチング検出に敷地/家番号を使用できなかったものの、それを除く、ストリート名から国名までのコンポーネントは使用できたことを意味します。

外部マッチ スコア

外部マッチ スコアは、住所を検証するために `ValidateGlobalAddress` が各住所行をどの程度変更したかを示します。このスコアは、正規化前の住所行を検証/フォーマット後の住所と比較して決定されます。[外部マッチ スコア行] オプションを0より大きな値に設定した場合に、このスコアが生成されます。

外部マッチ スコアは、検証マッチ スコアと似ています。後者は ACR コードの一部です ([ACR コード \(62ページ\)](#) を参照)。両者の違いは、外部マッチ スコアが住所行への変更(フォーマットなど)を数値化するのに対し、検証マッチ スコアはデータを検証できたかどうかのみを数値化することです。

例えば、次のような入力住所行を処理前に受け取ったとします。

住所行 1: 5 camden cres

住所行 2: bath

住所行 3: uk

この住所行は、処理後に以下のようにになります。

住所行 1: 5 Camden Crescent

住所行 2: Bath

住所行 3: BA1 5HY

住所行 4: United Kingdom

このデータの検証マッチ スコアは 84% であり、外部マッチ スコアは 23% です。

検証マッチ スコアの値が高いのは、住所コンポーネントが検証前でもかなり正確だったからです。ストリート名は、大文字と小文字の違いと省略形が使われていたことを除き、実在の名称でした。都市と国の名前はどちらも有効でした。唯一正しくなかったのが郵便番号です(元の住所には欠落していました)。結果として、84% という比較的高い検証マッチ スコアが得られました。

外部マッチ スコアが低いのは、フォーマット後の住所行が入力住所とかなり異なるからです。前の例では、入力住所行 3 は "uk" でしたが、出力では "BA1 5HY" となっています。住所行 4 は入力では空でしたが、出力では値が設定されました。住所行 1 も変更されました。よって、外部スコアはかなり低い数値になります。

レポート

`Validate Global Address` は、以下のバッチ処理用レポートを生成できます。レポートを作成するには、`Enterprise Designer` で目的のレポートのアイコンをキャンバスにドラッグします。レポートにコネクタを引く必要はありません。

Address Now Summary Report

Input Name/Address

このセクションには、ジョブの高レベルの個数が配置されます。

- **Input Record Count** — ジョブの入力住所の総数。
- **Address Records Processed** — ジョブの入力住所の総数。
- **Total Records For Which Address Validation Attempted** — 検証が試みられた入力レコードの数。
- **Total Records Successfully Matched** — 検証または訂正された入力住所の数。結果がステータス "F" にならなかった入力住所の数です。
- **Total Unmatched Records** — 検証または訂正できなかった入力住所の数。結果がステータス "F" になった入力住所の数と等しくなります。
- **Standard Address Returned Successfully** — Validate Global Address が正規化したマッチしない (失敗した) 住所の数。正規化は、オプション **[マッチしなかった場合に正規化データを返す]** が有効になっている場合にのみ実行されます。詳細については、[出力データ オプション](#) (46ページ) を参照してください。

Address Standardization Results Component Population Counts

このセクションには、このジョブで Validate Global Address が正規化した住所要素の数が配置されます。正規化された各要素の合計値と全体に占める割合が表示されます。例えば、[ストリート名] がカウント 6、パーセント 11、およびパーセント 92% を示す場合、ジョブで正規化されたストリート名が 11 あり、ジョブ全体のストリート名の 92% に相当することを意味します。

Address Validation Results

このセクションには、ジョブのバリデーションレベルが配置されます。バリデーションレベルの詳細については、[ACR コード](#) (62ページ) を参照してください。

Address Correction Results

このセクションは、このジョブの ACR (住所訂正結果) コードのコンポーネント ステータス部を一覧表示します。テーブルの先頭の行には、コンポーネント ステータスコードが格納されます。テーブルの本体には、各住所要素の数が格納されます。例えば、コンポーネント ステータスコードが 0 であるストリート名の数が表示され、次にコードが 1 のストリート名の数が表示され、以降もこれと同様です。ACR コードのコンポーネント ステータス部の詳細については、[ACR コード](#) (62ページ) を参照してください。

Validation/Correction Records

このセクションには、郵便番号の検証と訂正に関する情報が表示されます。

- **Original Postal Code Confirmed Via Address Match** — 郵便番号の ACR コンポーネント ステータスが 2 である住所の数。
- **Postal Code Corrected Via Address Match** — Validate Global Address によって誤りが訂正された入力郵便番号の数。
- **Original Postal Code Retained** — 郵便番号の ACR コンポーネント ステータスが 1 である住所の数。
- **No Postal Code Available** — 住所に対応する郵便番号が郵便データに含まれていません。

Matched Records

このセクションには、Address Now モジュール データベース内の既知の住所にマッチした入力住所に関する情報が配置されます。

- **Total Records Valid On Input** — 正しいことが確認された住所の数。
- **Total Corrected** — Validate Global Address が訂正した住所の数。
- **Total Records Successfully Matched** — 検証または訂正に成功した住所の総数。

Unmatched Records

このセクションには、Validate Global Address が確認または訂正できなかった入力住所に関する情報が配置されます。

- **Street Mismatch** — ストリート名を検証または訂正できなかった住所の数。
- **House Mismatch** — 家番号を検証または訂正できなかった住所の数。
- **Total Unmatched Records** — 検証または訂正できなかった住所の総数。

Records Processed

このセクションには、処理されたレコードの数が地域別に一覧表示されます。

- **Records Processed By US** — 米国のマッチング ロジックで処理された住所の数。
- **Records Processed By Canada** — カナダのマッチング ロジックで処理された住所の数。
- **Records Processed By International** — 国際的な (米国/カナダ以外の) マッチング ロジックで処理された住所の数。
- **Total Records Processed** — ジョブで処理したレコードの総数。

Address Now Summary Report By Country

このレポートには、処理された住所の数、検証のレベルなどの要約情報が国別に一覧表示されません。

Address Now Detailed Report By Country

このレポートには、各住所要素の検証結果が国別に一覧表示されます。

ACR コード

ACR (住所訂正結果) コードは、各レコードでどのデータが変更されたかを示します。ACR は、以下のような形式です。

L5-P0S0A5T1R0Z0C4-098

ACR コードは、以下の 3 つの部分で構成されています。

- バリデーション レベル
- コンポーネント ステータス
- 検証マッチ スコア

バリデーション レベル

住所訂正結果の最初の 2 文字は、バリデーションのタイプとレベルを表します。

最初の文字 (常に英字) はバリデーションのタイプを示します。

- **U** — 住所の正規化ができません。
- **C** — 住所はコンポーネント形式です。
- **L** — 住所は書式が設定され、住所行に変換されました。
- **R** — 住所は元に戻されました。許容レベルに達していません。

2 番目の文字 (常に数字) はバリデーションのレベルを示します。数字が大きいほど、バリデーションのレベルが高くなります。到達できるレベルは以下のとおりです。

- **0** — コンポーネントはいずれも検証されませんでした。
- **1** — 国名のみが検証されました。
- **2** — 都市名と国名が検証されました。
- **3** — 都市名、郵便番号、および国名が検証されました。
- **4** — ストリート名、都市名、郵便番号、および国名が検証されました。
- **5** — 敷地番号、建物名、従属する建物名、私書箱、企業名、ストリート名、都市名、郵便番号、および国名が検証されました。

コンポーネント ステータス

ACR コードの 2 番目の部分は、住所の主要コンポーネントのステータスを表します。住所のコンポーネントは、以下のように識別されます。

- 3、4 文字目: **P** — 敷地/家番号
- 5、6 文字目: **S** — ストリート
- 7、8 文字目: **A** — 従属する都市 (都市エリア)

- 9、10 文字目: T — 都市
- 11、12 文字目: R — 地域/州
- 13、14 文字目: Z — 郵便番号/ZIP Code®
- 15、16 文字目: C — 国

コンポーネントの直後には数字が 1 文字配置され、以下のいずれかの値を示します。

- 0 — 見つかりません/空。
- 1 — 入力データ内での位置に基づいて推測しました。
- 2 — Address Now モジュール データベースに基づいて認識されました。
- 3 — Address Now モジュール データベースに基づいて認識され、正規の形式に変換されました。
- 4 — Address Now モジュール データベースを使って検証されました。
- 5 — Address Now モジュール データベースを使って更新/訂正されました。
- 6 — Address Now モジュール データベースを使って追加されました。
- 7 — 正常な空。
- 8 — Address Now モジュール データベースを使って部分的に認識されました。
- 9 — 訂正して Address Now モジュール データベースに一致させる必要があります。

検証マッチ スコア

検証マッチ スコアは、ACR コードの最後の 3 文字 (17 ~ 19 文字目) に設定されます。これは、正規化データ (コンポーネント形式のデータ) を、Address Now モジュール データベースから返されたマッチ候補と比較した結果です。

このスコアを計算するために、Address Now モジュール データベースから返されたすべてのフィールドが確認され、それらが個別に既存のコンポーネント データと比較されます。その後、全体のマッチ スコアを計算するために、これらの個別の値から平均スコアが求められます。この計算には、住所バリデーションのオプションを設定するダイアログボックスで指定できるマッチ スコア重み付けが加味されます。例を次に示します。

入力データ:

住所行 1: 11 High Street

都市: Anytown

国: UK

正規化データ:

敷地: 11

ストリート: High Street

都市: Anytown

このレコードを検証すると、Address Now モジュール データベースからは以下のデータが返されます。

敷地: 11
ストリート: High Street
都市: Anytown
郵便番号: ZZ9 9ZZ

Address Now モジュール データベースを正規化データと比較すると、以下の結果が得られます。

- 敷地番号: 100% マッチ
- ストリート: 100% match
- 都市: 100% match
- 郵便番号: 使用なし (入力時に空白)

これらの割合を結合すると、マッチ スコアは 100% となります。

別の例を以下に示します。

入力データ:

住所行 1: bergerstrasse 12
住所行 2: munich
住所行 3: 80124
国: Germany

正規化データ:

敷地: 12
ストリート: Bergerstr.
都市: München
郵便番号: 80124

Address Now モジュール データベースからの出力:

敷地: 12
ストリート: Burgerstr.
都市: München
郵便番号: 80142

Address Now モジュール データベースの出力を正規化データと比較すると、以下の結果が得られます。

- 敷地番号: 100% マッチ
- ストリート: 90% マッチ (実際の数値は、2つの値をテキストとして照合して決定されます)
- 都市: 100% match
- 郵便番号: 80% マッチ (番号の位置が入れ替わっているため)

マッチ スコアの重み付けをすべて 1 に設定した場合、全体のマッチ スコアは 92% になります。郵便コードのマッチ スコア重み付けを増やすと、全体のマッチ スコアは減ります。これは、郵便番号コンポーネントのスコア (80%) が計算の際に重視されるからです。都市名のマッチ スコア重

み付けを増やすと、全体のマッチ スコアは増えます。これは、都市名コンポーネントのスコア (100%) がより重視されるからです。

例:

L5-P4S4A5T5R4Z4C4-098

- L は、住所行を作成するために書式が設定されたことを意味します。
- バリデーションレベルは 5 です。Address Now モジュール データベースとのマッチングが最高レベルで実行されたことを意味します。
- 従属する都市 (A) と都市 (T) を除き、すべてのコンポーネントが 4 に設定されています。これは、Address Now モジュール データベースを使って検証されたことを意味します。
- 従属する都市と都市のコードはどちらも 5 に設定されています。これらのコンポーネントが Address Now モジュール データベースに従って訂正されたことを意味します。

住所全体の Address Now モジュール データベースに対するマッチングは 98% です。

注: また、検証マッチ スコアの代わりに "SDS" という値が返される場合があります。SDS が返されるのは住所が正規化されなかったことを意味し、その場合、住所が元に戻された可能性があります。

Global Addressing モジュール

Global Addressing モジュール

Spectrum™ Technology Platform 向けの Global Addressing モジュールは、米国以外の住所に対する高度な住所正規化と検証の機能を提供します。Global Addressing モジュールには、次のような利点があります。

- **高品質データ** — Global Address Validation は、複数のデータソースからのデータを単一の Global Addressing Validation データベースに統合して、可能な限り多くの正確な国際住所データを提供します。
- **グローバルな住所に対応する専門技術** — Global Addressing モジュールは、各入力住所を分析し、該当する国の Global Addressing データベースと照合します。必要に応じて Global Address Validation は、郵便規格とユーザの優先設定に基づいて住所を修正し、書式を整えます。

Global Addressing のコンポーネント

Global Addressing モジュールは、次のコンポーネントで構成されます。

- **Global Address Validation** — 各入力住所を分析し、該当する国の Global Addressing データベースと照合します。必要に応じて Global Address Validation は、その国の郵便規格に従って住所を修正し、書式を整えます。
- **Global Type-Ahead** — 入力の途中から住所を自動的に予測し、入力に基づく候補を直ちに返します。

Global Addressing モジュール データベースのインストール

ここでは、Spectrum™ Product Database (SPD) 形式の Global Addressing モジュール データベースを、Pitney Bowes eStore またはテクニカル サポート Web サイト <http://www.g1.com/support> からダウンロードしてインストールする手順について説明します。

ハードディスクの空き領域

解凍済みおよび未解凍の SPD バンドルに必要なディスク容量は、以下のとおりです。

- 解凍済みバンドル (全 SPD) - 50 GB
- 未解凍バンドル (全 SPD) - 20 GB

メモリ

各国のデータベース別に、Global Addressing モジュールのメモリ要件に関する情報を以下の表に示します。

表 18 : Global Address Validation メモリ要件 (単位: MB)

国データベース名	Global Address Validation	Global Type Ahead	両方
オーストラリア (AUS)	700	不可	1900
オーストリア (AUT)	900	700	1900
ベルギー (BEL)	900	700	1900
スイス (CHE)	700	700	1900
ドイツ (DEU)	700	700	1900
デンマーク (DNK)	2100	700	3400

国データベース名	Global Address Validation	Global Type Ahead	両方
スペイン (ESP)	1300	700	1900
フィンランド (FIN)	900	700	1900
フランス (FRA)	2800	700	4100
英国 (GBR)	980	700	1900
ギリシャ (GRC)	700	不可	1900
アイルランド (IRL)	900	700	1900
イタリア (ITA)	700	700	1900
ノルウェー (NOR)	700	700	1900
ニュージーランド (NZL)	700	不可	1900

Spectrum™ Product Database (SPD) 形式の Global Addressing モジュール データベース リソースをダウンロードおよびインストールするには

1. 実行中のアプリケーションがないことを確認します。
2. リリース通知またはウェルカム メールに記載されているリンクを使用して、Pitney Bowes Software eStore からライセンス済みの SPD ファイル (xxx.spd) を選択してダウンロードします。テクニカル サポート Web サイト <http://www.g1.com/support> からダウンロードすることもできます。
3. データベースは zip ファイルとしてダウンロードされます。インストールを開始する前に、データベースを解凍してください。
4. SPD ファイルをインストールします。
 - a) SPD ファイルを、<SpectrumLocation>/server/app/dataimport に配置します。これは、SPD ファイルのデフォルトの配置場所です。Spectrum™ Technology Platform サーバーはこのフォルダを監視し、2 秒間隔で新しいファイルの有無を確認します。
データをインポートするディレクトリの場所を変更するには、<SpectrumLocation>/server/app/conf/dataimportdirectories.properties ファイルの **platform** プロパティを変更します。
 - b) サーバーは新しい SPD ファイルを検出すると、自動的に SPD ファイルを <SpectrumLocation>/server/app/repository/datastorage に解凍します。

データを格納するフォルダの場所を変更するには、

<SpectrumLocation>/server/app/conf/spectrum-container.properties ファイルの **Data Manager** 設定セクションにある **spectrum.data.manager.storage.directory** プロパティを変更します。


- c) デフォルトで、SPD ファイルは解凍後に削除されます。ただし、<SpectrumLocation>/server/app/conf/spectrum-container.properties ファイルの **Data Manager** 設定セクションにある **spectrum.data.manager.archive.data** プロパティを "true" に設定することによって、SPD ファイルをアーカイブすることができます。
- d) サーバーは、Spectrum™ Technology Platform Data Manager にデータを展開および登録します。この時点でデータは使用可能になり、Management Console の **[Spectrum™ データベース]** セクションでデータ ソースとして追加できるようになります。
- e) データベースファイルをインストールしたら、Management Console でデータベース リソース ツールを使用するか、Global Addressing コマンドライン インターフェイス (CLI) のデータベース コマンドを使用して、データベースをリソースとして定義します。CLI データベース コマンドの詳細については、『管理ガイド』の「Global Addressing モジュール データベース」のセクションを参照してください。


Global Addressing モジュールのデータベース リソースの追加、変更、または削除


新しいデータベース リソースをインストール、または既存のデータベース リソースを変更するたびに、Management Console で定義して、システム上で使用できるようにする必要があります。この手順では、Global Addressing モジュール用にデータベース リソースを追加または変更する方法について説明します。


Global Addressing モジュール データベース リソースを作成するには

1. データベース ファイルをまだシステムにインストールしていない場合は、インストールしてください。データベースのインストール手順については、「Global Addressing モジュール データベースのインストール」のセクションを参照してください。
2. Management Console で、**[リソース]** の下の **[Spectrum データベース]** を選択します。
3. 左上にあるボタンによって、データベースを管理できます。

新しいデータベースを作成する場合は、追加ボタン  をクリックします。

既存のデータベースを変更する場合は、データベースを選択してから編集ボタン  をクリックします。

データベースを削除する場合は、データベースを選択してから削除ボタン  をクリックします。

既存のデータベースをコピーして新しいデータベースを作成する場合は、コピー ボタン  をクリックします。

4. 新しいデータベースを作成する場合は、**[データベースの追加]** ページで、**[名前]** フィールドにデータベース リソースの名前を入力します。既存のデータベースをコピーして新しいデータベースを作成する場合は、必要に応じてデフォルト名を変更してください。既存のデータベース リソースの名前を変更することはできません。その名前データベースを参照しているサービスやジョブがあると、動作しなくなるからです。

5. **[プールサイズ]** フィールドで、このデータベースで処理する同時要求の最大数を指定します。

最適なプールサイズはモジュールによって異なります。一般的には、サーバーが搭載する CPU の数の半分から 2 倍のプール サイズを設定すると、最適な結果が得られます。ほとんどのモジュールに最適なプール サイズは CPU 数と同数です。例えば、サーバーが 4 つの CPU を搭載している場合は、プール サイズを 2 (CPU 数の半分) ~ 8 (CPU 数の 2 倍) の間で試すことができ、多くの場合、最適なサイズは 4 (CPU 数と同数) です。

プールサイズを変更するときは、データベースにアクセスするステージ用としてデータフローに指定されている実行時インスタンスの数を考慮する必要もあります。例えば、1 つの実行時インスタンスを使用するように設定された **Global Address Validation** ステージを持つデータフローがあるとします。この場合、**Global Address Validation** データベースのプール サイズを 4 に設定しても、パフォーマンスは向上しません。実行時インスタンスが 1 つしかないので、データベースへの要求は一度に 1 つだけとなるためです。ただし、**Global Address Validation** の実行時インスタンスの数を 4 つに増やすと、パフォーマンスは向上する可能性があります。データベースに同時にアクセスする **Global Address Validation** のインスタンスが 4 つになり、プール全体が使用されるためです。実行時インスタンスの設定の詳細については、『**管理ガイド**』を参照してください。

ヒント：さまざまな設定でパフォーマンス テストを行って、環境にとって最適なプール サイズと実行時インスタンスの設定を特定してください。

6. **[モジュール]** フィールドで、**[Global Address Validation Coder]** を選択します。

7. **[タイプ]** フィールドで、**[Global Addressing]** を選択します。

8. すべての **Global Addressing** データベースと、それらのデータベースの中のすべての国を選択する場合は、使用可能なデータベース一覧の最上部にある**[含める]**をクリックします。個々の特定のデータベースと、それらの個々のデータベースの中のすべての国のみを選択する場合は、個々のデータベースの横にある**[含める]**をクリックします。

ヒント：個々のデータベースに含まれる国を表示するには、データベースの左側にある矢印をクリックします。個々のデータベースの中の特定の国のみを含める場合は、このレベルで**[含める]**をクリックします。

注: 最適なパフォーマンスを得るには、各国を複数の地域別データベースリソースに分散させます。例えば、APAC 諸国を1つのデータベースリソースにまとめ、EMEA 諸国を別のデータベースリソースにまとめます。

9. **[保存]** をクリックして、選択したデータベースを追加し、保存します。Spectrum™ のデータベース ページに、追加または変更したデータベースが表示されます。

Global Address Validation

Global Addressing Validation は、米国以外の国際住所に対する高度な住所正規化と検証の機能を提供します。Global Address Validation は Global Addressing モジュールの一部です。

サポートされている国

Global Address Validation は、以下の優先国に対して高度な住所の正規化および検証の機能を提供します。各国に対して3桁のISO国コードが記載されています。ISO国コードの全一覧については、[#unique_68](#)を参照してください。




- オーストラリア (AUS)
- オーストリア (AUT)
- ベルギー (BEL)
- デンマーク (DNK)
- フィンランド (FIN)
- フランス (FRA)
- ドイツ (DEU)
- ギリシャ (GRC)
- アイルランド (IRL)
- イタリア (ITA)
- ニュージーランド (NZL)
- ノルウェー (NOR)
- スペイン (ESP)
- スイス (CHE)
- 英国 (GBR) (POI 情報を含みます)

Global Address Validation は上記以外にも、130カ国を超える世界中の国々をサポートします。

Global Address Validation の使用

Global Addressing モジュールをインストールおよび展開すると、Management Console で Global Address Validation の機能を試すことができます。

Global Address Validation プロセスの動作方法を理解するには、Management Console の [プレビュー] タブを使用して、以下の手順を実行します。

1. Management Console を開きます。
2. [サービス] タブで **[Global Addressing]** を選択します。
3. ウィンドウ左側のサービス一覧から、**[Global Address Validation]** を選択します。
4. **[データベース リソース]** タブで、使用する Global Address Validation データベース リソースを選択します。
5. **[保存]** をクリックして、データベース選択を保存します。
6. **[デフォルト オプション]** タブで、必要なオプションを指定します。オプションの詳細については、[オプション](#) (73ページ) を参照してください。
7. グローバル デフォルト オプションを変更した場合は、**[保存]** をクリックして変更内容を保存します。グローバル デフォルト オプションに加えた変更は、Enterprise Designer の Global Address Validation にも適用されます。
8. **[プレビュー]** タブをクリックします。
9. **[プレビュー]** タブで、入力住所要素をそれぞれ該当するフィールドに入力します。入力フィールドについては、[入力](#) (72ページ) を参照してください。
10. **[プレビューを実行]** をクリックします。
11. ウィンドウ右側にある **[出力レコード]** のプレビューで、検索結果が適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。出力フィールドについては、[出力](#) (76ページ) を参照してください。
12. [プレビュー] タブでは、次の操作が可能です。
 - a) 追加ボタン  を使用して、[プレビューを実行] の処理対象とする入力レコードを追加する。
 - b) インポート ボタン  を使用して、[プレビューを実行] の処理対象とする複数の入力レコードをインポートする。
 - c) 削除ボタン  を使用して、すべてのレコードを現在の [プレビューを実行] セッションから削除する。

入力

Global Address Validation は、住所を入力として使用します。すべての住所は、その住所の国に関係無くこのフォーマットを使用します。最大のパフォーマンスと最良の住所マッチを得るには、入力住所リストが可能な限り完全で、綴りの誤りや不完全な住所がなく、できる限り郵便当局の規格に従っている必要があります。多くの郵便当局が、その国の住所規格に関する情報を掲載した Web サイトを提供しています。

注：国名または 2 文字か 3 文字の ISO 国コードは省略可能です。国名を省略すると、Global Address Validation は、[デフォルト オプション] タブで選択された [デフォルト国] に対して取得できる最も適切な候補を返します。ISO コードの一覧は、[#unique_68](#)を参照してください。

表 19 : Global Address Validation の入力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	最初の住所行。例: 34 GLENVIEW ROAD: 34 GLENVIEW ROAD MOUNT KURNING-GAI NSW 2080
LastLine	文字列	住所の最終行。例: MOUNT KURNING-GAI NSW 2080: 34 GLENVIEW ROAD MOUNT KURNING-GAI NSW 2080 注：Global Address Validation は、City や PostalCode などの個々の要素が指定されていない場合は、LastLine の情報のみを考慮します。
City	文字列	都市または町の名前。最良のマッチ結果を得るには、入力住所には正式な都市名を使用します。
CitySubdivision	文字列	国により、次のいずれかの名前。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用しない — AUS、AUT、BEL、CHE、DEU、DNK、FIN、FRA、IRL、NOR • 地方 (Locality) — GBR、GRC、ITA、ESP • 郊外 (Suburb) — NZL

フィールド名	書式	説明
StateProvince	文字列	<p>国により、次の州または省の名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用しない — CHE、DNK、IRL、NOR • 連邦州 (Bundesland) — DEU • 州 (Province) — AUS、BEL • 地域 (Region) — AUT、ESP、FRA、GBR、GRC、NZL • 地域 (Region) (län) — FIN • 州 (State) — AUS
StateProvinceSubdivision	文字列	<p>国により、次の州または省の下位区分の名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用しない — AUT、FIN、GBR • 郡 (Department) — FRA • 地区 (District) — GRC • 郡 (District) (fylke/counties) — NOR • 郡 (Kreis) — DEU • 地方自治体 (Local Government Authority: LGA) — AUS • 州 (Province) — BEL、CHE、DNK、ESP、IRL、ITA • 地方行政区画 (Region) — NZL
PostalCode	文字列	各国の標準フォーマットで表記された郵便番号。
Country	文字列	2文字または3文字のISO国コード。このフィールドはオプションです。国名を省略すると、Global Address Validation は、[デフォルト オプション] タブで選択された [デフォルト国] に対して取得できる最も適切な候補を返します。ISOコードの一覧は、 #unique_68 を参照してください。
FirmName	文字列	会社名または場所の名前。例えば、PITNEY BOWES です。

オプション

Global Address Validation は、デフォルト オプション設定に従って住所検証の処理方法を定義します。

表 20 : Global Address Validation のオプション

オプション名	国のサ ポート	説明
データベース	すべて	住所処理に使用するデータベース。Management Console の [データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。
大文字と小文字の区別	すべて	住所は次のフォーマットで返されます。 混在 出力データは大文字と小文字が混在するフォーマットで返されます。例えば、100 Main Street。 小文字 出力データはすべて小文字で返されます。例えば、100 main street。 大文字 出力データはすべて大文字で返されます。例えば、100 MAIN STREET。こちらがデフォルトです。
デフォルトの国	すべて	住所処理のデフォルトの国。
複数の住所を返す	すべて	返されるマッチ候補の最大数。"緩和"などの緩いマッチモードを使うと、複数のマッチ候補がマッチング出力に返されることがあります。ここで指定した数のマッチ候補が、適切なマッチ候補を選び出すためにユーザに提示されます。完全一致が見つかった場合は、単一のマッチ候補が返されます。
都市へのフォールバック	すべて	ストリートレベルのマッチングが見つからない場合は、入力された都市に基づいてマッチ候補が決定されます。
郵便番号へのフォールバック	すべて	ストリートレベルのマッチングが見つからない場合は、入力された郵便番号に基づいてマッチ候補が決定されます。
都市名よりも郵便番号を優先	AUS	入力郵便番号とのマッチングを、入力都市とのマッチングよりも優先します。デフォルトは無効です。

オプション名	国のサ ポート	説明
マッチ モード	すべて	<p>マッチモードにより、入力住所と参照データとの間のマッチングに適用される柔軟性が決まります。入力の品質と求める出力の品質に応じて、以下のいずれかのマッチ モードを選択します。</p> <p>完全一致 非常に厳格な一致。制限の厳しいこのモードでは、生成される一致候補が最も少なくなります。このモードを使用する際には、入力に綴りの間違いや不完全な住所などの問題がないことを確認してください。</p> <p>緩和 緩い一致。このモードでは、最も多くの一致候補が生成され、より多くのマッチ結果が得られます。入力に綴りの間違いや不完全な住所などの問題がないと確信できない場合は、このモードを使用します。</p> <p>カスタム カスタムの一致。【カスタム マッチング フィールド】を選択することによって、マッチング条件を定義できます。</p>
【カスタム マッチング フィールド】	すべて	<p>これらのオプションは、マッチ候補を決定するためのマッチ条件を設定します。これらのオプションを有効にするには、【マッチ モード】を【カスタム】に設定する必要があります。デフォルトでは、これらのオプションは無効です。</p> <p>住所番号 入力住所番号が一致する必要があります。</p> <p>通り 入力ストリート名、タイプ、方位記号の各フィールドが一致する必要があります。</p> <p>都市 入力住所の都市が一致する必要があります。</p> <p>都市の下位区分 入力住所の都市の下位区分が一致する必要があります。</p> <p>州/省 入力住所の州または省が一致する必要があります。</p> <p>州/省の下位区分 入力住所の州または省の下位区分が一致する必要があります。</p> <p>郵便番号 入力住所郵便番号が一致する必要があります。</p>

オプション名	国のサ ポート	説明
出力オプション	すべて	<p>Global Address Validation の処理によって返される要素:</p> <p>パース済み住所 パース済み住所要素 (住所行 1、郵便番号、国など)。これらのフィールドのいくつかの意味は、国によって異なる場合があります。G/Z レベルの一致を返す場合は、[パース済み住所] を選択しないでください。</p> <p>適合率 住所マッチの適合率を表すコード。</p> <p>入力住所 元の入力住所を返します。</p> <p>国固有のフィールド 国固有の出力情報を返します。 ド</p>

出力

Global Address Validation の出力は、ユーザーが選択した出力オプションによって決まります。

標準住所出力

標準住所出力は、宛名ラベルに表記される住所に対応する住所行で構成されます。都市、州または省、郵便番号などのデータも、標準住所出力に含まれます。

表 21 : 標準住所出力

フィールド名	書式	説明
AddressBlock1-2	文字列	<p>AddressBlock 出力フィールドには、正規化済み、または標準化済みの住所が、実際の郵便物に印刷される形式にフォーマットされて入ります。Global Address Validation は、郵便当局の規格に従って住所の書式を整え、住所ブロックの形式にします。住所の各行が、別々の住所ブロック フィールドに入れて返されます。AddressBlock1 から AddressBlock2 まで、最大 2 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。</p> <p>AddressBlock1 には以下の要素が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 企業名 • Unit Number • Unit Type • 家番号 • 通り名 <p>AddressBlock2 には以下の要素が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地方 • 都市 • 郵便番号 • 郡 • 州 <p>例えば、以下の入力住所の場合、</p> <p>AddressLine1: 34 Glenview Road City: Mount Kurnung-Gai StateProvince: NSW PostalCode: 2080</p> <p>以下の住所ブロックが出力されます。</p> <p>AddressBlock1: 34 Glenview Road AddressBlock2: Mount Kurnung-Gai NSW 2080</p>
AddressLine1	文字列	最初の住所行。例: 34 GLENVIEW ROAD: 34 GLENVIEW ROAD MOUNT KURNING-GAI NSW 2080
ApartmentLabel	文字列	アパートや住宅の種類。例: 39 Acacia Avenue Flat B
ApartmentNumber	文字列	アパートや住宅の番号。例: 39 Acacia Avenue Flat B 。
Building	文字列	建物の名前。

フィールド名	書式	説明
City	文字列	都市または町の名前。最良のマッチ結果が得られるように、入力住所には正式な都市名を使用してください。
City.Matched	文字列	都市マッチのステータス。 True 都市名がマッチしました。 False 都市名がマッチしませんでした。
CitySubdivision	文字列	国により、次のいずれかの名前。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用しない — AUS、AUT、BEL、CHE、DEU、DNK、FIN、FRA、IRL、NOR • 散布エリア (DA) および列挙エリア (EA) — CAN • 地方 (Locality) — GBR、GRC、ITA、ESP • 郊外 (Suburb) — NZL
CitySubdivision.Matched	文字列	都市の下位区分のマッチのステータス。 True 都市の下位区分がマッチしました。 False 都市の下位区分がマッチしませんでした。
Confidence	文字列	返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は0 ~ 100 です。0 は失敗を表します。100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。
Country	文字列	国が、言語または [国フォーマット] オプションで指定されたコードで入ります。ISO コードの一覧は、 #unique_68 を参照してください。
Country specific fields	文字列	国固有の出力情報。国固有の出力情報を出力に含めるには、 [国固有のフィールド] 出力オプションをオンにします。
FirmName	文字列	会社名。
HouseNumber	文字列	号 (家番号)。例: 39 Acacia Avenue。
Housenumber.Matched	文字列	家番号のマッチのステータス。 True 家番号がマッチしました。 False 家番号がマッチしませんでした。

フィールド名	書式	説明
LeadingDirectional	文字列	接頭方向指示。例えば、123 E Main St Apt 3 の "123"。
MatchOnAllStreetFields	文字列	すべての通り フィールドのマッチのステータス。 True すべての通り フィールドがマッチしました。 False すべての通り フィールドがマッチしませんでした。
MatchOnStreetDirectional	文字列	通り方位記号のマッチのステータス。 True 通り方位記号がマッチしました。 False 通り方位記号がマッチしませんでした。
MultimatchCount	文字列	住所が参照データ内の複数の候補住所と一致した場合、このフィールドには一致した候補の数が含まれます。
PostalCode	文字列	住所の郵便番号。郵便番号のフォーマットは国によって異なります。
PostalCode.AddOn	文字列	郵便番号の 2 番目の部分。例えば、カナダの住所ではこれは LDU です。ほとんどの国ではこのフィールドを使用しません。
Postalcode.Matched	文字列	郵便番号のマッチのステータス。 True 郵便番号がマッチしました。 False 郵便番号がマッチしませんでした。
Principality	文字列	国内の地域。例えば、イングランド、スコットランド、ウェールズは公国です。このフィールドは、通常は空白です。
ProcessedBy	文字列	Global Addressing モジュールのステージ名。
StateProvince	文字列	国により、次のいずれかの州または省の名前。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用しない — CHE、DNK、IRL、NOR • 連邦州 (Bundesland) — DEU • 州 (Province) — AUS、BEL • 地域 (Region) — AUT、ESP、FRA、GBR、GRC、NZL • 地域 (Region) (län) — FIN • 州 (State) — AUS

フィールド名	書式	説明
StateProvince.Matched	文字列	<p>州または省のマッチのステータス。</p> <p>True 州または省がマッチしました。</p> <p>False 州または省がマッチしませんでした。</p>
StateProvinceSubdivision	文字列	<p>国により、次の州または省の下位区分の名前。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用しない — AUT、FIN、GBR • 郡 (Department) — FRA • 地区 (District) — GRC • 郡 (District) (fylke/counties) — NOR • 郡 (Kreis) — DEU • 地方自治体 (Local Government Authority: LGA) — AUS • 州 (Province) — BEL、CHE、DNK、ESP、IRL、ITA • 地方行政区画 (Region) — NZL
StateProvinceSubdivision.Matched	文字列	<p>州または省の下位区分のマッチのステータス。</p> <p>True 州または省の下位区分がマッチしました。</p> <p>False 州または省の下位区分がマッチしませんでした。</p>
StreetName	文字列	<p>不動産が所在する通りの名前。例: 123 E Main St.</p>
StreetName.Matched	文字列	<p>通り名のマッチのステータス。</p> <p>True 通り名がマッチしました。</p> <p>False 通り名がマッチしませんでした。</p>
StreetType	文字列	<p>通り名の種類。例えば、123 E Main St Apt 3 の "123"。また、123 E Main Ave Apt 3 の "Ave" です。この 2 つはまったく別のストリートです。通り名の種類を使用すると、データの適合率が高まります。</p>
StreetType.Matched	文字列	<p>通り名の種類のマッチのステータス。</p> <p>True 通り名の種類がマッチしました。</p> <p>False 通り名の種類がマッチしませんでした。</p>
TrailingDirectional	文字列	<p>接尾方向指示。例えば、123 Pennsylvania Ave NW の "NW"。</p>

フィールド名	書式	説明
Vendor Code	文字列	ベンダーコード。このフィールドは、"国固有のフィールド" という出力オプションを選択した場合のみ存在します。

パース済み入力

出力には、パース済み形式で入力住所を含めることができます。このようなタイプの出力は、"パース済み入力" と呼ばれます。パース済み入力フィールドには、Global Address Validation が住所を検証したかどうかにかかわらず、入力として使用された住所データが含まれます。住所が郵便番号 / 都市レベルで検証される場合、この情報は存在しません。住所が通りレベルで検証された場合に存在します。パース済み入力のフィールドを出力に含めるには、**[パース済み住所]** 出力オプションをオンにします。

表 22 : パース済み入力

フィールド名	書式	説明
ParsedAddressLine1.Input	文字列	入力に渡される 1 番目の住所行。
ParsedCity.Input	文字列	入力に渡される都市/地方/郊外の名前。
ParsedCountry.Input	文字列	入力に渡される国。
ParsedHouseNumber.Input	文字列	入力に渡される家番号。例えば、123 E Main St Apt 3 の "123"。
ParsedPostStreetType.Input	文字列	入力に渡されるストリートの種類。例えば、123 E Main St Apt 3 の "123"。

適合率

出力には、入力住所の住所マッチの適合率を表す適合率コードを含めることができます。適合率コードを出力に含めるには、**[適合率]** 出力オプションをオンにします。

表 23 : 適合率

フィールド名	書式	説明
PrecisionCode	文字列	

フィールド名	書式	説明
		住所マッチの適合率を表すコード。 一致カテゴリには、次のものがあります。
	Z1	郵便番号 1 との郵便番号の一致。
	Z2	郵便番号 2 との郵便番号の部分的な一致。
	Z3	郵便番号 2 との郵便番号の一致。
	G1	エリア名 1 との地理的な一致。
	G2	エリア名 2 との地理的な一致。
	G3	エリア名 3 との地理的な一致。
	G4	エリア名 4 との地理的な一致。
		"S" カテゴリの一致は、レコードが単一の住所候補に一致したことを意味します。
	SX	交差点で検証済み。
	SC	最も近いセグメントから予測された家レベルで一致。
	S0	住所の一部がソース データと一致した可能性があります。
	S4	通りで検証済み。
	S5	通りの住所で検証済み。
	S7	家屋の間を補間した、通りの住所に位置します。
	S8	家屋の位置と一致。
		追加のマッチ情報は、HPNTSCSZAという形式をとります。該当するコンポーネントが一致しなかった場合は、その文字の箇所にダッシュ (-) が表示されます。
	H	家番号。
	P	通りの前置方位記号。
	N	通り名。
	T	通りタイプ。
	S	通りの後置方位記号。
	C	都市の名前。
	Z	郵便番号。
	A	住所データセット。
	U	カスタム ユーザ辞書。

入力住所

出力には、入力住所を含めることができます。入力住所を含めるには、**[入力住所]** 出力オプションをオンにします。

表 24 : 入力住所

フィールド名	書式	説明
AddressLine1.Input	文字列	入力に渡される 1 番目の住所行。
City.Input	文字列	入力に渡される都市/地方/郊外の名前。
CitySubdivision.Input	文字列	入力に渡される都市/町の下位区分。
StateProvince.Input	文字列	入力に渡される州/省。
StateProvinceSubdivision.Input	文字列	入力に渡される州/省の下位区分。
PostalCode.Input	文字列	入力に渡される郵便番号。
Country.Input	文字列	入力に渡される国。
FirmName.Input	文字列	入力に渡される会社名。

国固有のフィールド

出力には、国固有のフィールドを含めることができます。国固有のフィールドを出力に含めるには、**[国固有のフィールド]** 出力オプションをオンにします。

表 25 : オーストラリアの国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
AUS.GNAF_PARCEL_ID	文字列	GNAF 小区画識別子。
AUS.GNAF_PID	文字列	GNAF Persistent Identifier (GNAF PID) は、GNAF の住所を一意に定義する 14 文字の英数字からなる文字列です。PID は GNAF Dictionary の主要な住所フィールドの組み合わせから構成されています。例: GAVIC411711441 。

フィールド名	書式	説明
AUS.GNAF_PRINCIPAL_PID	文字列	主要住所の Persistent Identifier。
AUS.GNAF_ADDRESS_CLASS	文字列	GNAF 住所区分。
AUS.GNAF_SA1	文字列	GNAF Statistical Area Level 1 (SA1) 識別子。
AUS.LEVEL_NUMBER	文字列	多層建築の階またはレベルの番号。例えば、Floor 2, 17 Jones Street の "Floor 2"。

表 26 : 英国の国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
GBR.DEPENDENT_STREET_NAME	文字列	英国の住所には、主通り名と従属通り名という 2 つの通り名が含まれることがあります。住所によっては通り名がまったく含まれないものもあります。
GBR.DEPENDENT_LOCALITY	文字列	従属地方名。従属地方は大きな村または地区です。例えば、 Wimbledon 。
GBR.DOUBLE_DEPENDENT_LOCALITY	文字列	二重従属地方名。二重従属地方は小さな村または小区域です。
GBR.HISTORIC_POSTCODE	文字列	新しい郵便番号で置き換えられている古い郵便番号が入力住所に含まれていた場合、このフィールドには古い郵便番号が格納されます。
GBR.ALIASED_LOCALITY	文字列	郵便住所には含まれない地方です。
GBR.OSAPR	文字列	Ordnance Survey Address Point Reference (OSAPR)。各住所に固有の OSAPR があります。OSAPR は常に 18 文字の長さであり、文字列 AP で始まる必要があります。
GBR.UPRN	文字列	Unique Property Reference Number。UPRN は、不動産の名前、ステータス、従属する地区、利用法 (単独居住から複数居住など) が変更されたり、不動産が解体されたりしても、一意の不動産を永続的に参照する一意の識別子です。歴史的住所、代替住所、暫定住所のすべてが同じ UPRN に対して記録されます。UPRN フィールドは、北アイルランドの住所に対しては返されません。

フィールド名	書式	説明
GBR.RPC	文字列	RPC は、候補の位置的な精度を表します。RPC は、住所に割り当てられる座標の精度を示します。

表 27 : イタリアの国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
ITA.HISTORICALPOSTCODE	文字列	この住所の以前の郵便番号。

表 28 : ニュージーランドの国固有のフィールド

フィールド名	書式	説明
NZL.ALIASED_SUBURB	文字列	ニュージーランドの郊外のエイリアス。正式に認識されている郊外名の代替名。

Global Type Ahead

Global Type Ahead は、入力の途中から住所を自動的に予測し、入力に基づく候補を直ちに返します。提示されたリストから適切な候補を選び出すことができます。Global Type Ahead は Global Addressing モジュールの一部です。

Global Type Ahead の機能

Global Type Ahead は以下の機能を提供します。

- 国の選択(オプション)。使用できる国のリストについては、[サポートされている国](#) (87ページ)を参照してください。
- 単一行の入力で通り住所を検索
- 表示する候補の数を指定
- 最も近い一致に基づく順序で返される候補
- Points of Interest (POI) を検索
- 通り住所と POI の両方を同時に検索
- ファジー マッチ機能

注：POI とカテゴリ/サブカテゴリの機能は、POI データのライセンスを取得してインストールした場合のみ使用可能です。

住所と POI のどちらの検索でも、候補は入力どおりに表示されます。より具体的な情報を入力すると、結果が絞り込まれ、関連性の高い候補が表示されます。候補には、完全な住所と POI (候補が POI の場合) が含まれます。

Global Type Ahead をインストールおよび展開すると、Management Console でそのすべての機能を試用し、返される候補を確認することができます。

Global Type Ahead のサンプル アプリケーションは、Spectrum™ のランディング ページで提供されています。

サポートされている国

Global Type Ahead は、以下の国々について、通り住所と POI (ポイント情報) を提供します。各国に対して 3 桁の ISO 国コードが記載されています。ISO 国コードの全一覧については、[#unique_68](#) を参照してください。

注：POI データは別途購入する必要があります。POI とカテゴリ/サブカテゴリの機能は、POI データをライセンス取得してインストールした場合のみ使用可能です。通り住所データは、Global Addressing モジュールに含まれます。

- アンドラ (AND)
- オーストラリア (AUS)
- オーストリア (AUT)
- バーレーン (BHR)
- ベルギー (BEL)
- ブラジル (BRA)
- カナダ (CAN)
- チェコ共和国 (CZE)
- デンマーク (DNK)
- フィンランド (FIN)
- フランス (FRA)
- ドイツ (DEU)
- ギリシャ (GRC) (POI 情報は含まれません)
- ハンガリー (HUN)
- アイルランド (IRL)
- イタリア (ITA)
- 日本 (JPN)
- クウェート (KWT)

- リヒテンシュタイン (LIE)
- ルクセンブルク (LUX)
- メキシコ (MEX)
- オランダ (NLD)
- ニュージーランド (NZL) (POI 情報は含まれません)
- ノルウェー (NOR)
- オマーン (OMN)
- ポーランド (POL)
- ポルトガル (PRT)
- カタール (QAT)
- ロシア (RUS)
- サウジアラビア (SAU)
- シンガポール (SGP)
- スロバキア (SVK)
- スロベニア (SVN)
- 南アフリカ (ZAF)
- スペイン (ESP)
- スウェーデン (SWE)
- スイス (CHE)
- タイ (THA)
- トルコ (TUR)
- アラブ首長国連邦 (ARE)
- 英国 (GBR)
- 米国 (USA)

注：

対象範囲となる国とデータ ヴィンテージの詳細については、最新のデータベースリリース ノートを参照してください。

Global Type Ahead の使用

Global Addressing モジュールをインストールおよび展開すると、Management Console で Global Type Ahead の機能を試すことができます。

Global Type Ahead プロセスの動作方法を理解するには、Management Console の [プレビュー] タブを使用して、以下の手順を実行します。

1. Management Console を開きます。
2. [サービス] タブで **[Global Addressing]** を選択します。

3. ウィンドウ左側のサービス一覧から、**[Global Type Ahead]** を選択します。
4. **[データベース リソース]** タブで、使用する Global Type Ahead データベース リソースを指定します。
5. **[保存]** をクリックして、データベース選択を保存します。
6. **[デフォルト オプション]** タブをクリックします。
7. **[デフォルト オプション]** タブで、必要なオプションを指定します。オプションの詳細については、**オプション** (90ページ) を参照してください。
8. グローバル デフォルト オプションを変更した場合は、**[保存]** をクリックして変更内容を保存します。グローバル デフォルト オプションに加えた変更は、Enterprise Designer の Global Type Ahead にも適用されます。
9. **[プレビュー]** タブをクリックします。
10. **[AddressLine1]** フィールドに、住所の完全な最初の行を入力します。通常は、通りと家番号が含まれます。
11. **[Country]** フィールドに、2 または 3 文字の ISO 国コードを入力します。ISO コードの一覧は、**#unique_68**を参照してください。
- 12 **[プレビューを実行]** をクリックします。
13. ウィンドウ右側にある**[出力レコード]**のプレビューで、検索結果が適切な出力フィールドに配置されていることを確認してください。出力フィールドについては、**出力** (90ページ) を参照してください。

入力

Global Type Ahead は、入力の途中から住所を自動的に予測し、入力に基づく候補を直ちに返します。Global Type Ahead は、POI (ポイント情報) も返すことができます。

注：POI データは別途購入する必要があります。POI とカテゴリ/サブカテゴリの機能は、POI データをライセンス取得してインストールした場合のみ使用可能です。ストリート住所データは、Global Addressing モジュールに含まれます。

表 29 : Global Type Ahead 入力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	住所の完全な最初の行。通常は通りと家番号が含まれます。
Country	文字列	国名または 2 文字か 3 文字の ISO 国コード。ISO コードの一覧は、「 #unique_68 」を参照してください。

オプション

Global Type Ahead は、デフォルト オプション設定に従って住所取得の処理方法を定義します。

表 30 : Global Type Ahead のオプション

オプション名	国のサ ポート	説明
データベース	すべて	Global Type Ahead (グローバル先行入力) 処理に使用するデータベース。Management Console の [データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。
デフォルトの国	すべて	住所マッチ処理のデフォルトの国。
検索タイプ	すべて	The Global Type Ahead の検索オプション: 両方 通り住所と POI (ポイント情報) の両方を検索します。 住所 通り住所を検索します。 POI POI (ポイント情報) を検索します。
最大候補数	すべて	返される検索候補の最大数。最大値は 50 です。デフォルトは 5 です。
ファジー マッチ	すべて	Global Type Ahead には、入力された綴りが誤っていても住所や POI の取得を最適化できるアルゴリズムがあります。このような機能はファジー マッチと呼ばれ、マッチ設定の制約によって実装されます。 なし ファジー マッチ機能は、デフォルトで無効になっています。 ハード マッチ ハードマッチを選択すると、1文字の置換、挿入、削除、または移動が許可されます。 ソフト マッチ ソフトマッチを選択すると、2文字の置換、挿入、削除、または移動が許可されます。

出力

Global Type Ahead の出力は、ユーザが選択した出力オプションによって決まります。

返される候補は、Management Console でプレビューできます。候補には、Spectrum™ Technology Platform 候補で確認できるのと同じ完全な住所要素 (AddressLine、City、County、State、Country など) が含まれます。

Global Type Ahead 候補は、次のフィールドを返すことができます。

表 31 : Global Type Ahead 出力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	住所の完全な最初の行。通常は通りと家番号が含まれます。
City	文字列	都市または町の名前。
County	文字列	郡の名前。
Country	文字列	国名。
FirmName	文字列	会社名。
LastLine	文字列	住所の最終行。例えば、10 DOWNING STREET LONDON, SW1A 2AA の "LONDON, SW1A 2AA"。
Locality	文字列	地方。
PostalCode	文字列	住所の郵便番号。郵便番号のフォーマットは国によって異なります。
StateProvince	文字列	国により、次のいずれかの州または省の名前。
Type	文字列	POI 一致の場合は 1 を返します。通り住所一致の場合は 2 を返します。POI とカテゴリ/サブカテゴリの機能は、POI データをライセンス取得してインストールした場合のみ使用可能です。POI データを含めて、辞書に対して候補を返すには、POI データのライセンスが必要です。

Universal Addressing モジュール

Universal Addressing モジュール

Universal Addressing モジュールは、住所品質モジュールで、住所の正規化とバリデーションを実行して、郵便物の配達品質を高めることができます。Universal Addressing モジュールを使用すると、住所データに対して郵便当局が定める品質規格への準拠を徹底できます。住所がこれらの規格に準拠していれば、郵便物を規定の配達日数でより確実に配達できます。また、差出人も、これらの規格に準拠すれば、郵便料金の大幅な割引を受けることができます。米国における郵便料金の割引については、www.usps.com にある *USPS Domestic Mail Manual (DMM)* を参照してください。カナダにおける郵便料金の割引については、カナダ郵便公社の Web サイト www.canadapost.ca を参照してください。オーストラリアにおける郵便料金の割引については、オーストラリア郵便公社の Web サイト www.auspost.com.au を参照してください。

Universal Addressing モジュールは、供与されているライセンスに応じて、バッチ モード、リアルタイムモード、またはホステッドサービスとして使用できます。バッチバージョンの Universal Addressing モジュールは USPS™ による CASS 認定®です。また、オーストラリア郵便当局による AMAS 認定でもあります。

Spectrum™ Technology Platform では、2つの住所品質モジュールを使用でき、Universal Addressing モジュールはその1つです。もう1つは Address Now モジュールです。このモジュールは、米国とカナダ以外の住所のサポートが強化されており、より多くの国のバリデーションが可能で、2バイトにも対応しています。国際住所データが大量にある場合は、住所の正規化とバリデーションの両面で利点があることから、Address Now モジュールの使用を検討してください。

コンポーネント

Universal Addressing モジュールは、次のコンポーネントで構成されます。適切なデータベース (独自の環境で Universal Addressing を稼働している場合)、またはホステッド サービス (Pitney Bowes ホステッド サービスを介して Universal Addressing を利用している場合) のライセンスを取得していれば、これらのコンポーネントを、米国、カナダ、オーストラリア、および国際住所に対して適用できます。

- **Auto Complete Loqate** — フォームに入力された各文字に基づいて瞬時に結果が返され、正確なデータのみがデータベースに入力されることを保証します。
- **Get Candidate Addresses** — 指定された住所に一致する可能性のあるもののリストを返します。

- **Get Candidate Addresses Loqate** — Loqate エンジンとデータベースを使用して、指定された住所に一致する可能性のあるもののリストを返します。
- **Get City State Province** — 指定された郵便番号に対する都市および州または省を返します。
- **Get City State Province Loqate** — Loqate エンジンとデータベースを使用して、指定された郵便番号に対する都市および州または省を返します。
- **Get Postal Codes** — 指定された都市の郵便番号を返します。
- **Get Postal Codes Loqate** — Loqate エンジンとデータベースを使用して、指定された都市の郵便番号を返します。
- **Validate Address** — 米国、カナダ、および国際郵便データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。
- **Validate Address AUS** — オーストラリアの郵便データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。
- **Validate Address Global** — Validate AddressGlobal は、米国およびカナダ以外の住所に対する高度な住所の正規化および検証機能を提供します。ValidateAddressGlobal は、米国およびカナダの住所の妥当性も確認できますが、その他の国の住所の妥当性を確認する能力に優れています。米国およびカナダ以外の住所を大量に処理する場合は、ValidateAddress Global の使用を検討してください。
- **Validate Address Loqate** — Validate AddressLoqate は、郵便当局の住所データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。ValidateAddress Loqate は、情報を修正し、管轄の郵便当局が推奨する書式で住所の書式を整えることができます。また、郵便番号、都市名、州または省名など、欠落している郵便情報を追加します。

Universal Addressing データベース

Universal Addressing モジュールは、いくつかの必須データベースとオプション データベースを使用します。これらのデータベースは Spectrum™ Technology Platform サーバーにインストールされます。一部のデータベースは、Pitney Bowes が提供するサブスクリプションによって利用可能で、月に 1 回、または年に 4 回更新されます。その他のデータベースは、USPS® がライセンス提供しています。次の表に、Universal Addressing データベースの一覧を示します。

表 32 : Universal Addressing モジュールのデータベース

データベース名とその説明	必須またはオプションの区別	提供元
<p>米国郵便データベース</p> <p>米国郵便データベースは、Pitney Bowes 独自のフォーマットで提供されています。米国内のすべての家番号範囲が含まれており、月に 1 回更新されます。このデータベースファイルには、次の情報が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ZIP + 4[®] Code • 正規化済みの住所要素 • 都市および州の情報 <p>米国郵便データベースには、Enhanced Street Matching (ESM) および All Street Matching (ASM) の実行に必要なデータも含まれています。ESM および ASM は、通常の住所検証プロセスでマッチしなかった任意の入力住所に対して、追加のマッチング ロジックを適用します。</p>	<p>米国の処理を有効にする</p>	<p>Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)</p>
<p>カナダ郵便データベース</p> <p>カナダ郵便データベースは、Pitney Bowes 独自のフォーマットです。このデータベース ファイルには、次の情報が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 郵便番号 • 正規化済みの住所要素 • 自治体および州の情報 	<p>カナダ住所処理に必須</p>	<p>Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)</p>
<p>国際郵便データベース</p> <p>国際郵便データベースは、世界各地の郵便住所データの集まりです。各国のデータは、提供されているデータのレベルに応じて分類されています。カテゴリは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カテゴリ A — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、ストリーートの住所要素、および国名の検証と修正が可能です。 • カテゴリ B — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、および国名の検証と修正が可能です。ストリーートの住所要素の検証または修正はサポートしません。 • カテゴリ C — 国名の検証および修正と、郵便番号の書式の検証が可能です。 	<p>国際住所処理に必須</p>	<p>Pitney Bowes サブスクリプション (年 4 回更新)</p>

データベース名とその説明

必須またはオプションの区別 提供元

DPV® データベース

Delivery Point Validation Database は、米国の郵送先住所の妥当性をチェックするために使用できます。DPV データベースにより、米国郵便データベースによる郵便住所の検証能力を高めることができます。

注：DPV データベースには、Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱) の処理に必要なデータも含まれています。

米国郵便データベースの新しいエディションが提供される度に、DPV データベースの対応するエディションが提供されます。USPS ライセンスでは、有効期限を過ぎても米国郵便データベースを使用することを許可しますが(一部制約があります)、DPV データベースの有効期限後に、DPV 検索を実行することはできません。

USPS ライセンスでは、DPV データを、住所または住所一覧の作成に使用することを禁じています。住所一覧の作成を防止するために、DPV Database には「誤検出レコード」が含まれています。誤検出レコードとは、人為的に作成された住所のことです。DPV クエリでマッチしなかった場合は、DPV データベース内の誤検出テーブルに対するクエリが実行されます。このテーブルにマッチする場合、DPV の処理は停止します。

USPS ライセンスでは、米国外に DPV データを輸出することも禁じています。

オプション。ただし、CASS 認定™の処理には必須。米国住所のみに対応
Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)

eLOT® データベース

Enhanced Line of Travel (eLOT) データベースは、Enhanced Carrier Route の郵送が実際の配達順序にできる限り近くなることを保証する米国住所データベースです。eLOT データベースは、一部の種類の郵便料金割引を受けるために必須です。

eLOT データベースに対する毎月の更新情報は、米国郵便データベースと同じメディアで提供されます郵便データベースの最新版に掲載されていないことが必要です。

同一月の米国郵便データベースと eLOT データベースをインストールする必要があります(つまり、9 月の eLOT データは、9 月の米国郵便データベースで処理しなければなりません)。米国郵便データベースと eLOT データベースが同一月のものでない場合、eLOT 番号を割り当てられない ZIP + 4® Code が存在する恐れがあります。eLOT コードを割り当てるには、住所の ZIP Code™、ZIP + 4 Code、配達ルートコード、および配達ポイントが提供される必要があります。

オプション。米国住所のみに対応
Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)

データベース名とその説明	必須またはオプションの区別	提供元
<p>EWS データベース</p> <p>Early Warning System (EWS) データベースは、米国郵便データベースの郵便データの更新遅れに起因する住所検証の誤りを防ぎます郵便データベースの最新版に掲載されていないことが必要です。</p> <p>EWS データベースは、ZIP Code™、ストリート名、接頭および接尾方向指示、接尾語という一部の住所情報のみで構成されています。住所が米国郵便データベースの最新版には存在しない場合に限り、住所レコードに EWS を適用できます郵便データベースの最新版に掲載されていないことが必要です。</p> <p>USPS® は、EWS ファイルを週に 1 回 (木曜日) 更新します。USPS® Web サイト ribbs.usps.gov から EWS ファイルをダウンロードできます。</p>	<p>オプション。米国住所のみに対応</p>	<p>USPS® Web サイトから無償でダウンロード可能</p>
<p>LACSLink® データベース</p> <p>LACSLink データベースを使って、地方配送路の住所のストリート名に沿った住所への変更、PO Box 番号の再割り当て、またはストリート名に沿った住所の変更に伴って変更された住所を訂正できます。</p> <p>USPS ライセンスでは、LACSLink データを、住所または住所一覧の作成に使用することを禁じています。住所一覧の作成を防止するために、LACSLink データベースには「誤検出レコード」が含まれています。誤検出レコードとは、人為的に作成された住所のことです。</p> <p>LACSLink クエリでマッチしなかった場合は、LACSLink データベース内の誤検出テーブルに対するクエリが実行されます。このテーブルにマッチすると、LACSLink 処理は停止します。</p> <p>USPS ライセンスでは、米国外に LACSLink データベースを輸出することも禁じています。</p>	<p>オプション。ただし、必須。米国住所のみに対応</p>	<p>Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)</p>
<p>RDI™ データベース</p> <p>Residential Delivery Indicator (RDI™) データベースには、郵送物に対する最良の配送料を調べることができるデータが含まれます。</p> <p>RDI は、RDI データがハッシュテーブルとして提供される点で、DPV に似ています。しかし、住所全体ではなく 9 桁および 11 桁の ZIP Code™ に対してのみ標準ハッシュアルゴリズムが決定されるため、RDI は DPV よりもはるかにシンプルな処理です。</p>	<p>オプション。米国住所のみに対応</p>	<p>USPS® から直接ライセンス</p>

データベース名とその説明	必須またはオプションの区別	提供元
Suite^{Link}™ データベース Suite ^{Link} は、補助的な住所情報の妥当性が確認できなかった米国の企業住所に対し、その補助的な住所情報を修正します。Suite ^{Link} 処理が有効な場合、Validate Address は FirmName フィールドの値を既知の会社名のデータベースに照合します。その後、Validate Address は正しい補助的な住所情報を提供します。	オプション。米国住所のみに対応	Pitney Bowes サブスクリプション (月 1 回更新)

Auto Complete Loqate

Auto Complete Loqate は、住所データのリアルタイム入力に対して高速で正確な結果を返します。フォームに入力された各文字に基づいて瞬時に結果が返され、正確なデータのみがデータベースに入力されることを保証します。Auto CompleteLoqate には [高度な検索を優先] オプションも用意されており、インデックス ファイル形式のデータを使用することによって、238 カ国に対して入力時間を最大 80% 短縮します。

入力

Auto Complete Loqate の入力の一覧を以下の表に示します。

表 33 : 入力フォーマット

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。

フィールド名	説明
City	都市名。
Country	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 桁の ISO 国コード • 3 桁の UPU 国コード • 英語の国名 <p>ISO コードの一覧は、ISO 国コードとモジュール サポートを参照してください。</p>
FirmName	会社名または企業名。
PostalCode	住所の郵便番号。
StateProvince	州または省。

オプション

表 34 : AutoComplete Loqate のオプション

オプション名	説明
データベース	住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の [データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。

オプション名	説明
大文字小文字	<p>出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。</p> <p>混在 出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。例:</p> <pre>123 Main St Mytown FL 12345</pre> <p>大文字 出力に大文字を使用します。例:</p> <pre>123 MAIN ST MYTOWN FL 12345</pre>
デフォルト国	<p>デフォルト国を指定します。大部分の住所が存在する国を指定してください。例えば、処理する住所の大部分がドイツにある場合は、ドイツを指定します。</p>
国フォーマット	<p>Country 出力フィールドに返される国名に使用するフォーマットを指定します。例えば、英語を選択した場合、"Deutschland" という国名は "Germany" として返されます。</p> <p>英語名 英語の国名を使用します (デフォルト)。</p> <p>ISO コード 国名の代わりにその国の 2 文字の ISO の略語を使用します。</p> <p>UPU コード 国名の代わりにその国の万国郵便連合 (Universal Postal Union: UPU) の略語を使用します。</p>
スクリプト/アルファベット	<p>出力がどのアルファベットまたはスクリプトで返されるかを指定します。このオプションは双方向で、通常はネイティブからラテン文字へ、およびラテン文字からネイティブへ実行されます。</p> <p>入力文字 書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。</p> <p>ネイティブ 使用可能な場合は、選択した国のネイティブスクリプトで出力します。</p> <p>ラテン文字 (英語) 英語の値を使用します。</p>
返されるレコードの最大数	<p>AutoCompleteLoqate が返す住所の最大数。デフォルトは 10 です。</p>

オプション名

説明

高度な検索を優先

インデックス ファイル形式のデータを使用することによって、240 カ国に対して入力時間を最大 80% 短縮します。検索を実行すると、Loqate エンジンはず、該当するインデックスを検索します。インデックスが存在する場合は、候補住所のリストを直ちに返そうと試みます。インデックスが存在しないか、インデックスによって結果が1つも返されない場合は、オリジナルの検索処理を開始します。

注：高度な検索は、入力ファイルにフィールドが 2 つだけ存在する場合に実行可能です。1 つは Country フィールドで、もう 1 つはいずれかの AddressLine フィールドです。このオプションを選択し、入力ファイルにそれ以外のフィールドが含まれる場合は、オリジナルの検索処理が自動的に開始されます。

検索を行うために、Auto Complete インデックスは米国内の検索に対しては最初の 10 文字まで、その他すべての対象国内の検索に対しては最初の 15 文字までを使用します。空白と句読文字は、この文字数にカウントされません。

高度な検索は、ボツワナ、エチオピア、インド、カザフスタン、マレーシア、モンゴル、セントクリストファー・ネイビス、およびサンマリノでは使用できません。

注：高度な検索を使用するには、有効なライセンスが必要です。高度な検索のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れている状態で、この機能を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。

重複処理

重複処理マスクを有効にし、重複レコードの処理および削除の方法を指定します。次のオプションから 1 つ以上を選択します。

- 単一 デフォルトで選択されています。入力の前処理により、単一フィールドで発生している重複を削除します。
- 複数 デフォルトで選択されています。入力の前処理により、すべてのフィールドわたり重複を削除します。
- 非標準 入力の前処理により、標準住所フィールドでないフィールド内の重複を削除します。
- 出力 デフォルトで選択されています。検証の出力の後処理により、検証されていないフィールドから重複を削除します。

オプション名	説明
データ ライセンス エラーの処理	データ ライセンス エラーの発生時に Spectrum Technology Platform がどのように応答するかを指定します。
ジョブのエラー	データライセンスエラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。
レコードのエラー	データライセンスエラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。

出力

Auto Complete Loqate の出力はオプションであり、[Auto Complete Loqate オプション] ダイアログボックスの [出力フィールド] セクションで選択したフィールドに直接対応します。

表 35 : Auto Complete Loqate の出力

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。
City	都市名。
Country	3 文字の ISO 3116-1 Alpha-3 国コード。ISO コードの一覧は、 ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。
FirmName	企業名。

フィールド名	説明
HouseNumber	候補住所の家番号が含まれる範囲の終了家番号。
PostalCode	郵便番号。
PostalCode.AddOn	ZIP + 4 [®] Code の末尾 4 桁。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。 LOQATE Loqate コーダーが住所を処理しました。
StateProvince	州または省の省略形。
Status	マッチの成功または失敗。 NULL 成功 F 失敗
Status.Code	失敗の原因 (ある場合)。 <ul style="list-style-type: none"> • DisabledCoder • RequestFailed • NoLookupAddressFound
Status.Description	問題の説明 (ある場合)。 Did not return multiples 入力住所はデータベース内の 1 つの住所とのみマッチしました。Auto Complete Loqate は、一致する可能性のある住所が複数見つかった場合のみデータを返します。 Not able to look up the address pattern Auto Complete Loqate は、部分的な住所を処理できません。

Get Candidate Addresses

Get Candidate Addresses は、与えられた入力住所にマッチするとみなされる住所のリストを返します。**Get Candidate Addresses** は、入力住所が郵便データベースの複数の住所にマッチする場合のみ、候補の住所を返します。入力住所が、郵便データベースの 1 つの住所のみにマッチする場合は、住所データを返しません。

米国およびカナダ以外の住所については、**Validate Address** が返す複数のマッチ結果と、**Get Candidate Addresses** が同じ住所に対して返す結果の間に、矛盾が存在する場合があります。矛盾した結果が得られるのはおそらく、**Validate Address** のパフォーマンス チューニング設定で 100 以外の値を設定しているためです。**Get Candidate Addresses** と **Validate Address** で矛盾のない結果を得るには、パフォーマンス チューニング オプションを 100 に設定します。

注：デフォルトでは、**Get Candidate Addresses** は個々の家番号との一致は確認しません。各ストリートの家番号の範囲とのマッチングを行います。**Get Candidate Addresses** はストリート名、都市名、州/省名、および郵便番号を特定した後、入力された家番号が、マッチしたストリート名の家番号の範囲に含まれるかどうかを確認します。ユニット番号についても同様の処理が行われます。個々の家番号が有効であることを確認するには、**Validate Address Delivery Point Validation (DPV)** 処理オプションを使用する必要があります。DPV 処理は、米国住所に対してのみ使用可能です。

カナダのコーダーには、特定の郵便番号を入力として受け取り、その郵便番号のデータベースに格納されたストリート情報を返す逆検索ルーチンが含まれています。この機能を使用するには、**PostalCode** フィールドにカナダの郵便番号を入力します。カナダの郵便番号を入力した場合の結果については、以下の 2 つめの例を参照してください。

Get Candidate Addresses は、**Universal Addressing** モジュールに含まれています。

米国住所の例

```
AddressLine1: PO Box 1 City: NY State: NY
```

Preview Output

AddressLine1	PO Box 1	PO Box 1
City	New York	New York
Country	USA	USA
HouseNumberHigh	60	9
HouseNumberLow	1	1
HouseNumberParity	B	B
MatchLevel	A	A
PostalCode	10002	10008
PostalCode.AddOn	0001	0001
ProcessedBy	USA	USA
RecordType	PostOfficeBox	PostOfficeBox
RecordType.Default		
StateProvince	NY	NY
UnitNumberParity		

カナダ住所の例

PostalCode: A1A1A1

Preview Output

AddressLine1	LOWER BATTERY RD	LOWER BATTERY RD
City	ST. JOHN'S	ST. JOHN'S
Country	CAN	CAN
HouseNumberHigh	000003	000004 A
HouseNumberLow	000001	000002
HouseNumberParity	O	E
MatchLevel	A	A
PostalCode	A1A1A1	A1A1A1
ProcessedBy	CAN	CAN
RecordType	Normal	Normal
StateProvince	NL	NL

入力

GetCandidateAddresses の入力の一覧を以下の表に示します。

表 36 : 入力フォーマット

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。 米国およびカナダのアドレスには適用されません。
AddressLine4	4 行目の住所行。 米国およびカナダのアドレスには適用されません。
AddressLine5	5 行目の住所行。 英国住所のみに適用できます。ストリート名、ユニット番号、ビルディング番号などを含めることができます。
City	都市名。
StateProvince	州または省。 米国住所に対しては、州は、 StateProvince フィールドではなく、 City フィールドに入力することもできます。
PostalCode	住所の郵便番号。米国住所の場合は、次のいずれかの形式の ZIP Code™ になります。 99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999 注：カナダ住所の場合は、このフィールドのみを入力すると、候補となる住所データが返されます。その他の国の場合は、 AddressLine1 と AddressLine2 も入力する必要があります。

フィールド名	説明
Country	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 桁の ISO 国コード • 3 桁の UPU 国コード • 英語の国名 • フランス語の国名 • ドイツ語の国名 • スペイン語の国名 <p>ISO コードの一覧は、ISO 国コードとモジュール サポートを参照してください。</p>
FirmName	会社名または企業名。
USUrbanName	米国住所都市化名。主にプエルトリコの住所に使用します。

オプション

表 37 : GetCandidateAddresses オプション

オプション名	説明
米国住所処理を有効にする	<p>米国住所を処理するかどうかを指定します。米国住所処理を有効にすると、<code>GetCandidateAddresses</code> は、米国住所の候補となる住所の取得を試みます。米国住所処理を無効にすると、米国住所は失敗します。つまり、<code>Status</code> 出力フィールドに "F" が設定されて返されます。出力フィールド <code>Status.Code</code> は、"DisabledCoder" となります。米国住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに米国住所が含まれるか否かにかかわらず、米国住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：米国住所を正常に処理するには、米国住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。米国住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、米国住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。</p>

オプション名

説明

データベース	米国住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の [米国データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。
カナダ住所処理を有効にする	<p>カナダ住所を処理するかどうかを指定します。カナダ住所処理を有効にすると、GetCandidateAddresses は、カナダ住所の候補となる住所の取得を試みます。カナダ住所処理を無効にした場合、Status フィールドに "F" が設定されカナダ住所は失敗します。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。カナダ住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブにカナダ住所が含まれるか否かにかかわらず、カナダ住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：カナダ住所を正常に処理するには、カナダ住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。カナダ住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、カナダ住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。</p>
データベース	カナダ住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の [カナダ データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。
国際住所処理を有効にする	<p>国際住所 (米国およびカナダ以外の住所) を処理するかどうかを指定します。国際住所処理を有効にすると、GetCandidateAddresses は、国際住所の候補となる住所の取得を試みます。国際住所処理を無効にした場合、Status フィールドに "F" が設定され国際住所は失敗します。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。国際住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに国際住所が含まれるか否かにかかわらず、国際住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：国際住所を正常に処理するには、国際住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。国際住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、国際住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。</p>

オプション名	説明
データベース	<p>国際的な住所の検証に使用するデータベースを指定します。 Management Console の 【国際データベース リソース】 パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。</p>
大文字小文字	<p>出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。</p> <p>混在 出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。 例: 123 Main St Mytown FL 12345</p> <p>大文字 出力に大文字を使用します。例: 123 MAIN ST MYTOWN FL 12345</p>
返されるレコードの最大数	<p>GetCandidateAddresses が返す候補住所の最大数。デフォルトは 10 です。最大数は 10 になります。</p>
短い都市名を返す	<p>米国住所に対しては、USPS® が承認する都市の略称がある場合に、それを返すかどうかを指定します。USPS® は、14 文字以上の都市名に対し、略称を定めています。都市の略称は 13 文字以下で、宛名ラベルのサイズが限られている場合に使用できます。短い都市名が存在しない都市に対しては、正式な都市名が返されます。</p>

オプション名

説明

二重住所マッチ ロジック

(米国住所のみ)。通り情報と PO Box/地方配送路/幹線請負契約情報の両方が住所に含まれる場合に、GetCandidateAddressesが、通り一致を返すか、または PO Box/地方配送路/幹線請負契約一致を返すかを制御します。詳細については、[二重住所ロジックについて](#) (146ページ)を参照してください。

- 通常一致** (デフォルト) USPS®CASS™ の規則では、以下の優先順位に基づいて、返す住所を決定します。
1. PO Box
 2. Firm
 3. Highrise
 4. Street
 5. Rural Route
 6. General Delivery

通りマッチング 住所行に関係なく、通り一致を返します。

PO Box 一致 住所行に関係なく、PO Box 一致を返します。

通りマッチング

通り名のマッチングの精度 (米国住所のみ)。

- 完全一致** 入力された通り名は、データベースに完全に一致する必要があります。
- 厳格** マッチング アルゴリズムは "厳格" です。
- 中** マッチング アルゴリズムは "中" です (デフォルト)。
- あいまい** マッチング アルゴリズムは "あいまい" です。

企業マッチング

企業名マッチングの精度 (米国住所のみ)。

- 完全一致** 入力された企業名は、データベースに完全に一致する必要があります。
- 厳格** マッチング アルゴリズムは "厳格" です。
- 中** マッチング アルゴリズムは "中" です (デフォルト)。
- あいまい** マッチング アルゴリズムは "あいまい" です。

オプション名

説明

道順マッチング

道順マッチングの精度。

- 完全一致** 入力された道順は、データベースに完全に一致する必要があります。
- 厳格** マッチングアルゴリズムは "厳格" です。
- 中** マッチングアルゴリズムは "中" です (デフォルト)。
- あいまい** マッチングアルゴリズムは "あいまい" です。

拡張ストリートマッチングを実行

Enhanced Street Matching (ESM) を実行するかどうかを指定します。ESM は、通常の住所検証プロセスでマッチしなかった任意の入力住所に対して、追加データによる別のマッチングロジックを適用します。ESM は、米国住所にのみ適用されます。

失敗時に住所行を検索

ValidateAddress において、住所行で都市、州/省、郵便番号の検索を行うかどうかを指定します。

このオプションにより、ValidateAddress において、City、StateProvince、および PostalCode の各入力フィールドの値を使用して住所にマッチする結果が得られなかった場合に、AddressLine 入力フィールドで都市、州/省、郵便番号、および国を検索することができます。

入力住所において、AddressLine フィールドに都市、州/省、および郵便番号の情報が存在する場合は、このオプションを有効にすることを検討してください。

入力住所において、City、State/Province、および PostalCode フィールドが使用されている場合は、このオプションを無効にしてください。このオプションを有効にしてこれらのフィールドを使用すると、ValidateAddress がこれらのフィールド値の修正 (例えば、スペルミスのある都市名など) に失敗する可能性が高くなります。

出力

GetCandidateAddresses は、次の出力を返します。

表 38 : Get Candidate Addresses の出力

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。
AddressLine5	英国住所専用です。住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 5 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 5 行目がそのまま出力されます。
City	都市名。
Country	3 文字の ISO 3116-1 Alpha-3 国コード。ISO コードの一覧は、 ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。
FirmName	企業名。
HouseNumberHigh	候補住所の家番号が含まれる範囲の終了家番号。
HouseNumberLow	候補住所の家番号が含まれる範囲の開始家番号。
HouseNumberParity	HouseNumberLow と HouseNumberHigh の間の家番号の番号付けスキームを次のように示します。 E 偶数値のみ O 奇数値のみ B 両方

フィールド名	説明
MatchLevel	<p>米国およびカナダ以外の住所に対し、候補住所のマッチ レベルを示します。米国、米国およびカナダの住所では常に "A" になります。次のいずれかです。</p> <p>A 候補はストリートレベルで入力住所にマッチします。</p> <p>B 候補は州/省レベルで入力住所にマッチします。</p>
PostalCode	郵便番号。米国では、ZIP Code™ になります。
PostalCode.AddOn	ZIP + 4® Code の末尾 4 桁。米国住所にのみ適用されます。
RecordType	<p>米国およびカナダの郵政当局によって定義されている住所レコードのタイプ (米国およびカナダの住所のみサポート):</p> <ul style="list-style-type: none"> • FirmRecord • GeneralDelivery • HighRise • PostOfficeBox • RRHighwayContract • Normal
RecordType.Default	<p>"デフォルト" マッチを示すコード</p> <p>Y 住所はデフォルト レコードにマッチしています。</p> <p>NULL 住所はデフォルト レコードにマッチしていません。</p>
StateProvince	州または省の省略形。
Status	<p>マッチの成功または失敗。</p> <p>NULL 成功</p> <p>F 失敗</p>
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DisabledCoder • RequestFailed

フィールド名	説明
Status.Description	<p>問題の説明 (ある場合)。</p> <p>Did not return multiples 入力住所はデータベース内の 1 つの住所とのみマッチしました。Get Candidate Addresses は、一致する可能性のある住所が複数見つかった場合にデータを返します。</p> <p>Number of candidates is not greater than 1 入力住所はデータベース内の複数の住所にマッチしましたが、住所が返されませんでした。</p> <p>PerformUSProcessing disabled Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</p> <p>PerformCanadianProcessing disabled Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</p> <p>PerformInternationalProcessing disabled Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</p>
UnitNumberHigh	候補住所のユニット番号が含まれる範囲の終了ユニット番号。
UnitNumberLow	候補住所のユニット番号が含まれる範囲の開始ユニット番号。
UnitNumberParity	<p>UnitNumberLow と UnitNumberHigh の間のユニット番号の番号付けスキームを次のように示します。</p> <p>E 偶数値のみ</p> <p>O 奇数値のみ</p> <p>B 両方</p>
USUrbanName	妥当性が確認された都市の都市化名。都市化名は、主にプエルトリコ住所に使用されます。

Get Candidate Addresses Loqate

Get Candidate Addresses Loqate は、与えられた入力住所に一致するとみなされる住所のリストを返します。Get Candidate Addresses Loqate は、入力住所が郵便データベースの複数の住所に

マッチする場合のみ、候補の住所を返します。入力住所が、郵便データベースの1つの住所のみにマッチする場合は、住所データを返しません。[Country]入力フィールドは必須です。このフィールドが空白の場合、出力は返されません。

注：デフォルトでは、**Get CandidateAddresses Loqate** は個々の家番号との一致は確認しません。各ストリートの家番号の範囲とのマッチングを行います。**Get Candidate Addresses Loqate** はストリート名、都市名、州/省名、および郵便番号を特定した後、入力された家番号が、マッチしたストリート名の家番号の範囲に含まれるかどうかを確認します。ユニット番号についても同様の処理が行われます。

Get Candidate Addresses Loqate は、**Universal Addressing** モジュールに含まれています。

Preview Input

AddressLine1	PO box 1	
AddressLine2	73 baruch	
AddressLine3		
AddressLine4		
City	ny	
StateProvince	ny	
PostalCode		
Country	usa	
FirmName		

Run Preview

Preview Output

AddressLine1	PO box 1 73	PO box 1 73	PO box 1 73	PO box 1 73	PO box 1 73
AddressLine2	Baruch	Baruch	Baruch	Baruch	Baruch
AddressLine3					
AddressLine4					
City	New York	New York	New York	New York	New York
Country	USA	USA	USA	USA	USA
FirmName					
PostalCode	10002	10008	10009	10012-0003	10013
PostalCodeAddn				0003	
ProcessedBy	LOQATE	LOQATE	LOQATE	LOQATE	LOQATE
StateProvince	NY	NY	NY	NY	NY

Run Preview

PostalCode: A1A1A1

Preview Output

AddressLine1	LOWER BATTERY RD	LOWER BATTERY RD
City	ST. JOHN'S	ST. JOHN'S
Country	CAN	CAN
HouseNumberHigh	000003	000004 A
HouseNumberLow	000001	000002
HouseNumberParity	O	E
MatchLevel	A	A
PostalCode	A1A1A1	A1A1A1
ProcessedBy	CAN	CAN
RecordType	Normal	Normal
StateProvince	NL	NL

入力

Get Candidate Addresses Loqate の入力の一覧を以下の表に示します。

表 39 : 入力フォーマット

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。
City	都市名。

フィールド名	説明
Country	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 桁の ISO 国コード • 3 桁の UPU 国コード • 英語の国名 <p>ISO コードの一覧は、ISO 国コードとモジュール サポートを参照してください。</p> <p>注：このフィールドは必須です。このフィールドが空白の場合、出力は返されません。</p>
FirmName	会社名または企業名。
PostalCode	住所の郵便番号。米国住所の場合は、次のいずれかの形式の ZIP Code™ になります。
StateProvince	<p>州または省。</p> <p>米国住所に対しては、州は、StateProvince フィールドではなく、City フィールドに入力することもできます。</p>

オプション

表 40 : GetCandidate Addresses Loqate のオプション

オプション名	説明
データベース	住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console で定義されたデータベースのみが使用可能です。

オプション名	説明
大文字小文字	<p>出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。</p> <p>混在 出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。例:</p> <p style="margin-left: 40px;">123 Main St Mytown FL 12345</p> <p>大文字 出力に大文字を使用します。例:</p> <p style="margin-left: 40px;">123 MAIN ST MYTOWN FL 12345</p>
アドレス検索処理	<p>候補を検索する方法を指定します。次のいずれかです。</p> <p>検索 住所の全体または一部を入力し、近似一致結果のリストを出力として返します (デフォルト)。</p> <p>確認 住所行、住所コンポーネント、またはその両方を組み合わせて住所情報を入力し、入力により近く一致する結果を出力として返します。</p>
デフォルト国	<p>デフォルト国を指定します。大部分の住所が存在する国を指定してください。例えば、処理する住所の大部分がドイツにある場合は、ドイツを指定します。GetCandidate AddressLoqate は、[StateProvince]、[PostalCode]、および [Country] の各住所フィールドから国を特定できなかった場合、指定された国を使用して、住所の検証を試みます。</p>
国フォーマット	<p>Country 出力フィールドに返される国名に使用するフォーマットを指定します。例えば、英語を選択した場合、"Deutschland" という国名は "Germany" として返されます。</p> <p>英語名 英語の国名を使用します (デフォルト)。</p> <p>ISO コード 国名の代わりにその国の 2 文字の ISO の略語を使用します。</p> <p>UPU コード 国名の代わりにその国の万国郵便連合 (Universal Postal Union: UPU) の略語を使用します。</p>

オプション名	説明
スクリプト/アルファベット	出力がどのアルファベットまたはスクリプトで返されるかを指定します。このオプションは双方向で、通常はネイティブからラテン文字へ、およびラテン文字からネイティブへ実行されます。 <input type="checkbox"/> 入力文字 書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。 <input type="checkbox"/> ネイティブ 使用可能な場合は、選択した国のネイティブスクリプトで出力します。 <input type="checkbox"/> ラテン文字 (英語) 英語の値を使用します。
返されるレコードの最大数	GetCandidate AddressesLoqate が返す候補住所の最大数。デフォルトは 10 です。最大数は 99 です。

出力

Get Candidate Addresses Loqate は、次の出力を返します。

表 41 : Get Candidate Addresses Loqate の出力

フィールド名	説明
AddressLine1	最初の住所行。
AddressLine2	2 行目の住所行。
AddressLine3	3 行目の住所行。
AddressLine4	4 行目の住所行。
City	都市名。

フィールド名	説明
Country	3 文字の ISO 3116-1 Alpha-3 国コード。ISO コードの一覧は、 ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。
FirmName	企業名。
PostalCode	郵便番号。米国では、ZIP Code™になります。
PostalCode.AddOn	ZIP + 4® Code の末尾 4 桁。米国住所にのみ適用されます。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。 LOQATE Loqate コーダーが住所を処理しました。
StateProvince	州または省の省略形。
Status	マッチの成功または失敗。 NULL 成功 F 失敗
Status.Code	失敗の原因 (ある場合)。次のいずれかの値になります。 • RequestFailed
Status.Description	問題の説明 (ある場合)。次のいずれかの値になります。 Did not return multiples 入力住所はデータベース内の 1 つの住所とのみマッチしました。Get Candidate Addresses Loqate は、一致する可能性のある住所が複数見つかった場合のみデータを返します。

Get City State Province

Get City State Province は、与えられた入力郵便番号に対する都市および州/省を返します。

注： Get City State Province は、米国およびカナダの住所のみをサポートします。

Get City StateProvince は、Universal Addressing モジュールに含まれています。

入力

入力フィールドを以下の表に示します。

表 42 : Get City StateProvince の入力

フィールド名	説明
PostalCode	米国企業のZIP Code™ またはカナダの郵便番号を次のいずれかのフォーマットで示します。 99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9

オプション

表 43 : Get City State Province Loqate

オプション名	説明
米国住所処理を有効にする	<p>米国住所を処理するかどうかを指定します。米国住所処理を有効にした場合、GetCityStateProvince は米国住所の州を返します。米国住所処理を無効にすると、米国住所は失敗します。つまり、Status 出力フィールドに "F" が設定されて返されます。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。米国住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに米国住所が含まれるか否かにかかわらず、米国住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：米国住所を正常に処理するには、米国住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。</p>
データベース	<p>米国住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の [米国データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。</p>
カナダ住所処理を有効にする	<p>カナダ住所を処理するかどうかを指定します。カナダ住所処理を有効にした場合、GetCityStateProvince はカナダ住所の州を返します。カナダ住所処理を無効にした場合、Status フィールドに "F" が設定されカナダ住所は失敗します。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。カナダ住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブにカナダ住所が含まれるか否かにかかわらず、カナダ住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：カナダ住所を正常に処理するには、カナダ住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。</p>
データベース	<p>カナダ住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の [カナダ データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。</p>
非公式な都市名を含める	<p>非公式な都市名を出力に含めるかどうかを指定します。非公式な都市名は、主要都市名の代替名です。例えば、Hollywood は Los Angeles の非公式な都市名です。</p>
返されるレコードの最大数	<p>返される都市と州/省のペアの最大数を指定します。デフォルト値は 10 です。</p>

出力

GetCityStateProvince は、入力郵便番号に一致する都市と州/省、およびマッチングの成功または失敗を示すコードを返します。複数の都市/州または都市/省が入力郵便番号にマッチする場合、複数の出力レコードが返されます。

表 44 : Get City StateProvince の出力

フィールド名	説明
City	一致した都市名。
City.Type	USPS® によって正規化された都市名のタイプ (米国住所のみ)。住所のみ)。 <ul style="list-style-type: none"> V 非正式 (Non-Mailing) 都市名。 P 主要都市名。都市名は、主要な郵送都市名です。 S 補助的な都市名。都市名は、代替都市名ですが、許容されます。都市は複数の補助的な都市名を持つことができます。
PostalCode	入力郵便番号。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> USA 米国住所コーダーが住所を処理しました。 CAN カナダ住所コーダーが住所を処理しました。
StateProvince	州または省の省略形。
Status	マッチの成功または失敗。 <ul style="list-style-type: none"> NULL 成功 F 失敗

フィールド名	説明						
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。次の値のみが有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DisabledCoder • UnrecognizedPostalCode 						
Status.Description	<p>失敗の説明。有効な値は次のとおりです。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>Postal code not found</td> <td>Status.Code=UnrecognizedPostalCode の場合にこの値が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>PerformUSProcessing disabled</td> <td>Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>PerformCanadianProcessing disabled</td> <td>Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。</td> </tr> </tbody> </table>	Postal code not found	Status.Code=UnrecognizedPostalCode の場合にこの値が表示されます。	PerformUSProcessing disabled	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。	PerformCanadianProcessing disabled	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。
Postal code not found	Status.Code=UnrecognizedPostalCode の場合にこの値が表示されます。						
PerformUSProcessing disabled	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。						
PerformCanadianProcessing disabled	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。						

Get City State Province Loqate

Get City State Province Loqate は、与えられた入力郵便番号に対する都市および州/省を返します。

このステージは、Universal Addressing モジュールに含まれています。

入力

入力フィールドを以下の表に示します。

表 45 : Get City State Province Loqate の入力

フィールド名	説明
Country	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 桁の ISO 国コード • 3 桁の UPU 国コード • 英語の国名 <p>ISO コードの一覧は、ISO 国コードとモジュール サポートを参照してください。</p>

フィールド名	説明
PostalCode	住所の郵便番号。

オプション

表 46 : Get City State Province Loqate のオプション

フィールド名	説明 / 有効な値						
データベース	住所処理に使用するデータベースを指定します。Management Console の [データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。						
返されるレコードの最大数	Get City State Province Loqate が返す必要がある住所の最大数。デフォルトは 10 です。						
スクリプト/アルファベット	出力がどのアルファベットまたはスクリプトで返されるかを指定します。このオプションは双方向で、通常はネイティブからラテン文字へ、およびラテン文字からネイティブへ実行されます。 <table border="0" data-bbox="560 1207 1421 1428"> <tr> <td>入力文字</td> <td>書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。</td> </tr> <tr> <td>ネイティブ</td> <td>使用可能な場合は、選択した国のネイティブ スクリプトで出力します。</td> </tr> <tr> <td>ラテン文字 (英語)</td> <td>英語の値を使用します。</td> </tr> </table>	入力文字	書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。	ネイティブ	使用可能な場合は、選択した国のネイティブ スクリプトで出力します。	ラテン文字 (英語)	英語の値を使用します。
入力文字	書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。						
ネイティブ	使用可能な場合は、選択した国のネイティブ スクリプトで出力します。						
ラテン文字 (英語)	英語の値を使用します。						
データ ライセンス エラーの処理	データ ライセンス エラーの発生時に Spectrum Technology Platform がどのように応答するかを指定します。 <table border="0" data-bbox="560 1585 1421 1753"> <tr> <td>ジョブのエラー</td> <td>データ ライセンス エラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。</td> </tr> <tr> <td>レコードのエラー</td> <td>データ ライセンス エラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。</td> </tr> </table>	ジョブのエラー	データ ライセンス エラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。	レコードのエラー	データ ライセンス エラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。		
ジョブのエラー	データ ライセンス エラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。						
レコードのエラー	データ ライセンス エラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。						

出力

Get City State Province Loqate は、入力郵便番号に一致する都市と州/省、およびマッチングの成功または失敗を示すコードを返します。複数の都市/州または都市/省が入力郵便番号にマッチする場合、複数の出力レコードが返されます。

表 47 : Get City State Province Loqate の出力

フィールド名	説明
City	一致した都市名。
Country	[国フォーマット] で選択した、以下のいずれかのフォーマットで示された国。 <ul style="list-style-type: none"> • ISO コード • UPU コード • 英語
PostalCode	入力郵便番号。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。 LOQATE Loqate コーダーが住所を処理しました。
StateProvince	州または省の省略形。
Status	マッチの成功または失敗。 NULL 成功 F 失敗
Status.Code	失敗の原因 (ある場合)。次の値のみが有効です。 <ul style="list-style-type: none"> • UnrecognizedPostalCode

フィールド名	説明
Status.Description	失敗の説明。次の値のみが有効です。 Postal code not found Status.Code=UnrecognizedPostalCode の場合にこの値が表示されます。

Get Postal Codes

Get Postal Codes では、特定の都市の郵便番号の検索が可能です。このサービスは、都市、州、および国を入力として受け取り、その都市の郵便番号を返します。入力を正しい順序で指定しなければ、郵便番号は返されません。

注：Get Postal Codes は、米国住所にのみ対応します。

Get Postal Codes は、Universal Addressing モジュールに含まれています。

入力

GetPostalCodes は、都市、州/省、および国を入力として受け取ります。

表 48 : GetPostalCodes の入力

フィールド名	説明
City	郵便番号を検索する都市。 City フィールドに都市と州を入力できます。これを行う場合は、StateProvince フィールドを空白のままにする必要があります。 City および StateProvince フィールドの文字数が 100 文字を超えてはなりません。
StateProvince	郵便番号を検索する都市の州または省。 州は、StateProvince フィールドではなく、City フィールドに入力することもできます。 City および StateProvince フィールドの文字数が 100 文字を超えてはなりません。

フィールド名	説明
Country	郵便番号を検索する都市の国コードまたは名前。有効な値は US のみです。

オプション

表 49 : Get Postal Codes のオプション

オプション	説明
データベース	郵便番号検索に使用するデータベースを指定します。Management Console の [米国データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。
非正式な都市名を含める	都市の非正式な都市名の郵便番号を含めるかどうかを指定します。非正式な都市名は、主要都市名の代替名です。例えば、Hollywood は Los Angeles の非正式な都市名です。
都市タイプを含める	都市タイプを出力で返すかどうかを指定します。有効にすると、都市タイプが City.Type フィールドに返されます。

出力

GetPostalCodes は、指定された都市の郵便番号を返します。各郵便番号は、以下の表に列挙されたデータとともにそれぞれ個別のレコードで返されます。

表 50 : Get Postal Codes の出力

フィールド名	説明
City.Type	<p>USPS® の都市タイプ (米国住所のみ)。住所のみ)。都市タイプを判別するには、ZIP Code と都市名を調べます。例えば、メリーランド州ランハムの郵便番号は、20703、20706、および 20784 です。ランハムは、20703 と 20706 では主要都市ですが、20784 では非正式都市です。</p> <p>このフィールド列に値が設定されるのは、[都市タイプを含める] がオンの場合のみです。有効な値を次に示します。</p> <p>V 非正式 (Non-Mailing) 都市名。</p> <p>P 主要都市名。都市名は、主要な郵送都市名です。</p> <p>S 補助的な都市名。都市名は、代替都市名ですが、許容されます。都市は複数の補助的な都市名を持つことができます。</p>
PostalCode	指定された都市の郵便番号。
ProcessedBy	このサービスは米国住所に対してのみ機能するため、ProcessedBy には常に USA という 1 つの値が含まれます。
Status	<p>マッチの成功または失敗。</p> <p>NULL 成功</p> <p>F 失敗</p>
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CountryNotSupported • UnableToLookup
Status.Description	<p>失敗の説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力された国がサポートされていません • 入力された都市が空白でした • 入力された都市と州 / 省が空白であったか、一致が見つかりませんでした • 都市と州の不一致 (スペルの相違が見つかるか、都市/州が非正式都市であるが、非正式マッチングが許可されていないか、都市/州が ZIP Code と一致しない)

Get Postal Codes Loqate

Get Postal Codes Loqate では、特定の都市の郵便番号の検索が可能です。このサービスは、都市、州、および国を入力として受け取り、その都市の郵便番号を返します。入力を正しい順序で指定しなければ、郵便番号は返されません。

Get Postal CodesLoqate は、Universal Addressing モジュールに含まれています。

入力

Get Postal Codes Loqate は、都市、州/省、および国を入力として受け取ります。

表 51 : Get Postal Codes Loqate の入力

フィールド名	説明 / 有効な値
City	郵便番号を検索する都市。 City フィールドに都市と州を入力することができます。これを行う場合は、StateProvince フィールドを空白のままにする必要があります。
Country	国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • 2 桁の ISO 国コード • 3 桁の UPU 国コード • 英語の国名 ISO コードの一覧は、 ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。
StateProvince	郵便番号を検索する都市の州または省。 州は、StateProvince フィールドではなく、City フィールドに入力することもできます。

オプション

表 52 : Get Postal Codes Loqate のオプション

オプション	説明
データベース	郵便番号検索に使用するデータベースを指定します。Management Console で定義されたデータベースのみが使用可能です。
データ ライセンス エラーの処理	データ ライセンス エラーの発生時に Spectrum Technology Platform がどのように応答するかを指定します。
ジョブのエラー	データ ライセンス エラーが発生した場合、ジョブ全体をエラーにします。
レコードのエラー	データ ライセンス エラーの発生原因となったレコードをエラーにし、処理を続行します。

出力

Get Postal Codes Loqate は、指定された都市の郵便番号を返します。各郵便番号は、以下の表に列挙されたデータとともにそれぞれ個別のレコードで返されます。

表 53 : Get Postal Codes Loqate の出力

フィールド名	説明 / 有効な値
PostalCode	指定された都市の郵便番号。
ProcessedBy	住所を処理した住所コーダーを示します。 LOQATE Loqate コーダーが住所を処理しました。
Status	マッチの成功または失敗。 NULL 成功 F 失敗

フィールド名	説明 / 有効な値
Status.Code	失敗の原因 (ある場合)。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> InvalidCountry UnableToLookup
Status.Description	失敗の説明。 <ul style="list-style-type: none"> 入力された国がサポートされていません 入力された都市が空白でした 入力された都市と州 / 省が空白であったか、一致が見つかりませんでした

Validate Address

ValidateAddress は、郵便当局の住所データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。**ValidateAddress** は、情報を修正し、管轄の郵便当局が推奨する書式で住所の書式を整えることができます。また、郵便番号、都市名、州/省名など、欠落している郵便情報を追加します。

ValidateAddress は、**ValidateAddress** が住所の妥当性を確認したかどうか、返した住所の確信レベル、住所の妥当性が確認できなかった場合はその理由など、バリデーション処理に関する結果インジケータも返します。

ValidateAddress は、住所のマッチングと正規化において、住所行をコンポーネントに分割し、それらを **Universal Addressing** モジュールの各種データベースの内容と比較します。マッチを検出した場合、入力住所をデータベース情報に合わせて正規化します。データベースにマッチしなかった場合、**ValidateAddress** は、オプションで入力住所の書式を整えます。書式設定プロセスでは、該当する郵便当局の規則に従って住所行の構成を試みます。

Validate Address は、**Universal Addressing** モジュールに含まれています。

入力

ValidateAddress は、入力として住所を受け取ります。すべての住所は、その住所の国に関係無くこのフォーマットを使用します。米国住所に対する住所行データの処理方法に関する重要な情報については、「[米国住所の住所行処理 \(134ページ\)](#)」を参照してください。

表 54 : 入力フォーマット

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列 [50]	最初の住所行。
AddressLine2	文字列 [50]	2 行目の住所行。
AddressLine3	文字列 [50]	3 行目の住所行。 カナダの住所には適用されません。
AddressLine4	文字列 [50]	4 行目の住所行。 カナダの住所には適用されません。
AddressLine5	文字列 [50]	5 行目の住所行。 英国住所をサポートしていません。ストリート名、ユニット番号、ビルディング番号などを含めることができます。
City	文字列 [50]	都市名。 米国住所に対しては、米国の住所に限り、都市、州、および ZIP Code™ を City フィールドに入力することができます。これを行う場合は、StateProvince フィールドと PostalCode フィールドを空白のままにする必要があります。
StateProvince	文字列 [50]	州または省。 米国住所に対しては、州は、StateProvince フィールドではなく、City フィールドに入力することもできます。

フィールド名	書式	説明
PostalCode	文字列 [10]	<p>住所に対する郵便番号を次のいずれかのフォーマットで示します。</p> <p>99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999</p> <p>米国住所に対しては、米国の住所に限り、ZIP Code™ を City フィールドに入力することができます。</p> <p>米国住所に対しては、都市/州/ZIP Code™ が PostalCode フィールドにある場合に、ValidateAddress がデータをパーシングして、住所を正しく処理することができます。最適な結果を得るため、このデータを適切なフィールド (City、StateProvince、PostalCode) に入力してください。</p>
Country	文字列 [50]	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 文字の ISO 3116-1 Alpha-2 国コード • 3 文字の ISO 3116-1 Alpha-3 国コード • 英語の国名 • フランス語の国名 • ドイツ語の国名 • スペイン語の国名 <p>ISO コードの一覧は、ISO 国コードとモジュール サポートを参照してください。</p>
FirmName	文字列 [50]	会社名または企業名。
USUrbanName	文字列 [50]	米国住所都市化名。主にプエルトリコの住所で使用されます。
CustomerID	文字列 [9]	この郵便物が汎用バーコードを使用している場合、USPS® が割り当てた顧客 ID をこのフィールドに指定します。ValidateAddress の汎用バーコードは、OneCode ACS® サービスを使用する郵便物に使用されます。

フィールド名	書式	説明
CanLanguage	文字列	<p>カナダの住所に限り、【カナダ住所オプション】 タブの 【使用言語判断対象】 フィールドが [CanLanguage (カナダ言語) 入力 フィールド] に設定されている場合に、住所が英語かフランス語かを示します。</p> <p>このフィールドが空白の場合、アドレスは英語でフォーマットされています。このフィールドに空白以外の値が含まれる場合、住所はフランス語でフォーマットされています。ケベックの住所は、このフィールドの値に関係なく常にフランス語でフォーマットされます。</p>

米国住所の住所行処理

米国住所の場合、AddressLine1 から AddressLine4 の入力フィールドの処理方法は、企業名抽出または都市化コード抽出のオプションが有効になっているかどうかによって異なります。2つのオプションのいずれかが有効になっている場合は、ValidateAddress は、4つすべてのフィールドのデータを参照して、住所の妥当性を確認し、要求されたデータ (企業名または都市化コード) を抽出します。どちらのオプションも有効でない場合は、ValidateAddress は、空白でない最初の2つの住所行フィールドのみを使用して、妥当性を確認します。他の住所行フィールドのデータは、AdditionalInputData 出力フィールドに返されます。例を次に示します。

AddressLine1: A1 Calle A
AddressLine2:
AddressLine3: URB Alamar
AddressLine4: Pitney Bowes

この住所において、企業名抽出または都市化コード抽出が有効である場合は、ValidateAddress は、4つすべての住所行を確認します。企業名抽出と都市化コード抽出がどちらも有効でない場合は、ValidateAddress は、AddressLine1 と AddressLine3 (空白でない最初の2つの住所行) を参照して、そのデータを使用して住所の妥当性を確認します。AddressLine4 のデータは、AdditionalInputData 出力フィールドに返されます。

オプション

出力データ オプション

以下の表に、ValidateAddress が返す情報の種類を制御するオプションの一覧を示します。これらのオプションのうちの一部は、カナダ住所に対してオーバーライドすることができます。詳細については、[カナダ住所のオプション](#) (162ページ) を参照してください。

表 55 : 出力データ オプション

オプション	説明
標準住所を含める	<p>住所データの 1～4 行に加えて、都市、州、郵便番号、企業名、および都市化名情報を返します。各住所行は、封筒に記載される住所の実際の行に対応しています。詳細については、出力 (174ページ) を参照してください。</p> <p>Validate Address が住所の妥当性を確認できた場合は、住所行には正規化済み住所が含まれます。正規化済み住所では、句読文字が取り除かれ、方向指示とストリート接尾語には省略形が使用され、住所要素が修正されています。</p> <p>Validate Address が住所の妥当性を確認できなかった場合は、住所行には入力住所がそのまま含まれます ("パス スルー" データ)。このオプションを指定しなかった場合でも、妥当性が確認されなかった住所は必ず、パス スルー データとして住所行フィールドに含まれます。</p>
一致した住所要素を含める	<p>家番号、ストリート名、ストリート接尾語、方向指示などの住所の各要素が、個別のフィールドに返されます。詳細については、パース済み住所要素出力 (176ページ) を参照してください。このオプションとともに、[マッチしなかった場合に正規化データを返す] を選択した場合は、住所要素に、妥当性が確認できなかった住所の入力住所が含まれることになります。</p>
郵便情報を含める	<p>出力住所には、妥当性が確認された各住所の様々な追加データが含まれます。詳細については、郵便データ出力 (182ページ) を参照してください。</p>
正規化された入力住所要素を含める	<p>このオプションでは、Validate Address が住所の妥当性を確認できたかどうかにかかわらず、入力住所をパース済み形式で返します。家番号、ストリート名、ストリート接尾語、方向指示などの入力住所の各要素が、個別のフィールドに返されます。</p> <p>[正規化された入力住所要素を含める] オプションは、検証できなかった入力だけでなく、すべての入力住所をパース済み形式で返す点で、[一致した住所要素を含める] と [マッチしなかった場合に正規化データを返す] の組み合わせと異なります。詳細については、パース済み入力 (180ページ) を参照してください。</p>

オプション

説明

個々のフィールドの結果コードを含める

フィールドレベルの結果インジケータを含めるかどうかを指定します。フィールドレベルの結果インジケータは、各住所要素をどのように処理したかを示します。フィールドレベルの結果インジケータは、修飾子 "Result" で返されます。例えば、HouseNumber のフィールドレベルの結果インジケータは **HouseNumber.Result** に格納されます。結果インジケータの出力フィールドの完全な一覧は、[フィールドレベルの結果インジケータ](#) (192ページ) を参照してください。

マッチしなかった場合に正規化データを返す

住所の妥当性を確認できない場合に書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所には、その国の標準住所書式が設定されます。このオプションを選択しない場合、住所の妥当性を確認できないと、出力住所フィールドは空白になります。

注：このオプションは、米国およびカナダの住所のみに適用されます。その他の住所に対して書式を整えたデータは返されません。

【標準住所を含める】、**【住所行の要素を含める】**、および **【郵便情報を含める】** の各チェック ボックスで指定されたフォーマットを使用して、書式を整えた住所が返されます。**【住所行の要素を含める】** を選択した場合は、妥当性が確認できた住所に対しては、パース済みで妥当性を確認済みの住所が、パース済み住所要素に含まれることに注意してください。住所の妥当性が確認できなかった場合には、パース済み住所要素には、入力住所がパース済み形式で含まれることになります。**Validate Address** が住所の妥当性を確認できたかどうかにかかわらず、必ず入力住所をパース済み形式で出力したい場合は、**【正規化された入力住所要素を含める】** を選択します。

このオプションをオンにする場合は、**【標準住所を含める】** と **【住所行の要素を含める】** またはそのいずれかを選択する必要があります。

ストリート名のエイリアスを返す

米国住所に対しては、ストリート名のエイリアスを出力に使用するかどうかを指定します。ストリート名のエイリアスとは、ストリートに対する別名で、通常は、ストリート上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。ストリート名のエイリアスを出力に使用しないと指定した場合は、ストリートにエイリアス名があるかどうかにかかわらず、出力ではストリートの "基本" 名が使用されます。基本名とは、ストリート全体に適用される名称です。

オプション

説明

ストリート名のエイリアスを返す

米国住所に対しては、入力に使用されているストリート名のエイリアスの処理方法を指定します。ストリート名のエイリアスとは、ストリートに対する別名で、通常は、ストリート上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。

このオプションを有効にすると、入力に使用されているストリート名のエイリアスが、出力にも使用されます。このオプションを有効にしない場合は、入力に使用されているストリート名のエイリアスが、出力では基本ストリート名に変換されますが、次の例外があります。

- 入力において、よく使用されるエイリアスが使用されている場合は、そのエイリアスが必ず出力で使用されます。
- 入力で使用されている変更名のエイリアスは、出力では必ず基本ストリート名に変換されます。

これは、**Validate Address** でストリート名のエイリアスを処理する方法を制御する 3 つのオプションのうちの 1 つです。他の 2 つは、**[ストリート名に対してよく使用されるエイリアスの処理]** と **[ストリート名に対する省略形エイリアスの処理]** です。

注：**[ストリート名に対する省略形エイリアスの処理]** を有効にした場合は、**[ストリート名のエイリアスを返す]** を無効にした場合でも、必ず省略形エイリアスが出力に使用されます。

オプション

説明

住所データ ブロックを返す

実際の郵便物に印字される、書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。**AddressBlock1** から **AddressBlock9** まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。

例えば、以下の住所入力の場合、

AddressLine1: 4200 Parliament Place
AddressLine2: Suite 600
City: Lanham
StateProvince: MD
PostalCode: 20706

以下の住所ブロックが出力されます。

AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600
AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882
AddressBlock3: UNITED STATES OF AMERICA

Validate Address は、郵便当局の規格に従って、住所の書式を整えて、住所ブロックの形式にします。国名は、万国郵便連合 (UPU) の国名で返されます。**【国フォーマット】** オプションは、住所ブロックの国名には影響を与えないことに注意してください。このオプションは、**Country** 出力フィールドに返される名前だけに影響を与えます。

米国およびカナダ以外の住所に対しては、**ValidateAddress** で住所の妥当性が確認できなかった場合、住所ブロックは返されません。米国およびカナダの住所に対しては、妥当性が確認できなかった場合も住所ブロックが返されます。

オプション

説明

AMAS 表記を使用してデータをフォーマット 実際の郵便物に印字される、書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。**AddressBlock1** から **AddressBlock9** まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。

例えば、以下の住所入力の場合、

AddressLine1: 4200 Parliament Place
AddressLine2: Suite 600
City: Lanham
StateProvince: MD
PostalCode: 20706

以下の住所ブロックが出力されます。

AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600
AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882
AddressBlock3: UNITED STATES OF AMERICA

Validate Address は、郵便当局の規格に従って、住所の書式を整えて、住所ブロックの形式にします。国名は、万国郵便連合 (UPU) の国名で返されます。**【国フォーマット】** オプションは、住所ブロックの国名には影響を与えないことに注意してください。このオプションは、**Country** 出力フィールドに返される名前だけに影響を与えます。

米国およびカナダ以外の住所に対しては、**ValidateAddress** で住所の妥当性が確認できなかった場合、住所ブロックは返されません。米国およびカナダの住所に対しては、妥当性が確認できなかった場合も住所ブロックが返されます。

下院選挙区の取得

ValidateAddress は、住所に対する米下院選挙区を特定できます。

下院選挙区を取得するには、**【出力データ オプション】** タブの **【郵便情報を含める】** チェックボックスを選択します。これにより、下院選挙区を含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、**郵便データ出力 (182ページ)** を参照してください。

表 56 : 下院選挙区出力

フィールド名	説明
USCongressionalDistrict	下院選挙区番号。住所が州以外の住所 (プエルトリコやワシントン D.C. など) である場合は、このフィールドは空白になります。

郡名の取得

ValidateAddress は、ある住所が所在する郡を特定し、その郡名を返すことができます。

注：郡名は、米国住所にのみ適用されます。

郡名を取得するには、[出力データ オプション] タブの [郵便情報を含める] チェック ボックスを選択します。これにより、郡名を含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力 \(182ページ\)](#) を参照してください。

表 57 : 郡名出力

フィールド名	説明
USCountyName	郡名

FIPS 郡番号の取得

連邦情報処理標準 (FIPS) 郡番号は、州の中の各郡を識別する番号です。これらの番号は、州レベルにおいてのみ一意であり、国レベルでは一意ではないことに注意してください。詳細については、<http://www.census.gov> を参照してください。

注：FIPS 郡番号は、米国住所にのみ適用されます。

FIPS 郡番号を取得するには、[出力データ オプション] タブの [郵便情報を含める] チェック ボックスを選択します。これにより、FIPS 郡番号を含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力 \(182ページ\)](#) を参照してください。

表 58 : FIPS 郡番号出力

フィールド名	説明
USFIPSCountyNumber	FIPS (連邦情報処理標準) 郡番号

配達ルート コードの取得

配達ルート コードとは、個々の郵便配達者に割り当てられた一意の識別子で、これによって米国の各配達ルートを一意に識別することができます。Validate Address は、宛先の配達ルートを表すコードを返すことができます。

注：配達ルート コードは、米国住所にのみ適用されます。

配達ルート コードを取得するには、[出力データ オプション] タブの [郵便情報を含める] チェックボックスを選択します。これにより、配達ルート コードを含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力 \(182ページ\)](#) を参照してください。

表 59 : 配達ルート コード出力

フィールド名	説明
USCarrierRouteCode	配達ルート コード

配達ポイント バーコードの作成

配達ポイント バーコード (DPBC) は、住所を POSTNET™ バーコードで表記したものです。開始および終了フレームバーと、ZIP + 4® Code、ストリートの住所の番号に基づいて計算された値、および修正ディジットの 1 桁ごとに 5 本のバーがあり、合計 62 本のバーで構成されます。DPBC により、配達業者の徒歩経路のレベルにまで手紙を自動仕分けすることができます。ValidateAddress は、DPBC の作成に必要なデータを生成します。

注：配達ポイント バーコードは、米国住所にのみ適用されます。配達ポイント バーコードの詳細については、<http://www.usps.com> を参照してください。

DPBC の作成に必要なデータを生成するには、[出力データ オプション] タブの [郵便情報を含める] チェックボックスを選択します。これにより、DPBC の作成に必要なデータを含む、住所に

関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力](#)（182ページ）を参照してください。

表 60 : 配達ポイント バーコード出力

フィールド名	説明
PostalBarCode	配達ポイント バーコードの配達ポイント部分
USBCCheckDigit	11桁の配達ポイント バーコードのチェック デジット部分

DPBC を作成するには、ValidateAddress 出力フィールドの値を次のように結合します。

PostalCode.Base + PostalCode.Addon + PostalBarcode + USBCCheckDigit

例えば、次のデータがあるとしてします。

- **PostalCode.Base** = 49423
- **PostalCode.Addon** = 4506
- **PostalBarcode** = 29
- **USBCCheckDigit** = 2

このデータから作成されるバーコードは、次のようになります。

494234506292

デフォルト オプション

以下の表に、住所のフォーマットと処理を制御するオプションの一覧を示します。これらのオプションはデフォルトですべての住所に適用されるので、"デフォルト オプション" と言います。これらのオプションのうちの一部は、カナダ住所に対してオーバーライドすることができます。詳細については、[カナダ住所のオプション](#)（162ページ）を参照してください。

表 61 : デフォルト オプション

オプション	説明
大文字小文字	<p>出力住所の大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。</p> <p>混在 出力に大文字と小文字を混在させます (デフォルト)。例:</p> <p style="padding-left: 40px;">123 Main St Mytown FL 12345</p> <p>大文字 出力に大文字を使用します。例:</p> <p style="padding-left: 40px;">123 MAIN ST MYTOWN FL 12345</p>
郵便番号区切り文字を挿入する	<p>ZIP™ Code またはカナダの郵便番号に区切り文字 (スペースまたはハイフン) を使用するかどうかを指定します。</p> <p>例えば、区切り文字ありの ZIP + 4® Code は 20706-1844、区切り文字なしは 207061844 になります。区切り文字ありのカナダの郵便番号は P5E"1S7、区切り文字なしは P5E1S7 になります。</p> <p style="padding-left: 40px;">注：カナダの郵便番号ではスペースが、米国のZIP + 4® コードではハイフンが使用されます。</p>
多国籍文字を出力	<p>ウムラウト記号やアクセント記号などの付加記号を含む多国籍文字を返すかどうかを指定します(米国住所ではサポートされません)。</p>
複数の住所を返す	<p>一致する可能性のある住所を複数持つ入力住所に対して複数の住所を返すかどうかを示します。</p> <p>詳細については、複数マッチを返す (148ページ) を参照してください。</p>

オプション

説明

セカンダリ住所の配置

米国住所の補助的な住所情報を配置する場所を指定します。補助的な住所情報とは、部屋番号やアパート番号などの指定子のことです。例えば、次の住所の補助的な住所情報は "Apt 10E" で、主要な住所情報は "424 Washington Blvd" です。

Apt 10E
424 Washington Blvd
Springfield MI 49423

住所と同じ行 主要な住所情報と補助的な住所情報の両方を AddressLine1に配置します (デフォルト)。

住所行を分割 主要な住所情報を AddressLine1に、補助的な住所情報を AddressLine2 に配置します。

二重住所を分割 主要な住所情報と補助的な住所情報の両方を AddressLine1に配置し、二重住所からドロップされた情報を AddressLine2 に配置します。二重住所とは、ストリート情報と、PO Box/地方配送路/幹線請負契約情報の両方を含む住所のことです。詳細については、[二重住所ロジックについて](#) (146ページ) を参照してください。

オプション

説明

都市フォーマット

短い都市名または非正式な都市名を代替名として持つ都市名を書式設定する方法を指定します。米国およびカナダの住所のみに適用されません。

短 USPS® が承認した都市の略称が 1 つある場合、それを返します。USPS® は、14 文字以上の都市名に対し、略称を定めています。都市の略称は 13 文字以下で、宛名ラベルのサイズが限られている場合に使用できます。短い都市名が存在しない都市に対しては、正式な都市名が返されます。

長 長い都市名を返します (デフォルト)。

標準 入力住所に省略された都市名が使用されている場合のみ、省略された都市名を返します。入力住所に短い都市名が使用されていない場合は、その都市に対する USPS® の規則によって、長い都市名または短い都市名が返されます。CASS™ テストを実行する場合は、このオプションを選択します。

Non-Mailing (非正式) 入力都市名が非正式な都市名の場合、非正式な都市名 (非正式名) を出力します。例えば、"Hollywood" は "Los Angeles" の非正式な都市名です。このオプションを選択せず、入力都市名が非正式な都市名の場合、長いバージョンの郵送都市名が返されます。

国フォーマット

Country 出力フィールドに返される国名に使用するフォーマットを指定します。例えば、英語を選択した場合、"Deutschland" という国名は "Germany" として返されます。

英語名 英語の国名を使用します (デフォルト)。

スペイン語名 スペイン語の国名を使用します。

フランス語名 フランス語の国名を使用します。

ドイツ語名 ドイツ語の国名を使用します。

ISO コード 国名の代わりにその国の 2 文字の ISO の略語を使用します。

UPU コード 国名の代わりにその国の万国郵便連合 (Universal Postal Union: UPU) の略語を使用します。

オプション

説明

デフォルト国 デフォルト国を指定します。大部分の住所が存在する国を指定してください。例えば、処理する住所の大部分がカナダにある場合は、カナダを指定します。ValidateAddress は、[StateProvince]、[PostalCode]、および [Country] の各住所フィールドから国を特定できなかった場合、指定された国を使用して、住所の検証を試みます。

二重住所ロジック 複数の空白ではない住所行があるか、複数の住所タイプが同じ住所行に設定されている場合にどのタイプの一致を返すかを指定します。(米国住所のみ)。

通常一致 (デフォルト) USPS®CASS™ の規則では、以下の優先順位に基づいて、返す住所を決定します。

1. PO Box
2. Firm
3. Highrise
4. Street
5. Rural Route
6. General Delivery

通りマッチング 住所行に関係なく、通り一致を返します。

PO Box 一致 住所行に関係なく、PO Box 一致を返します。

詳細については、[二重住所ロジックについて \(146ページ\)](#) を参照してください。

二重住所ロジックについて

米国住所に対しては、**[二重住所ロジック]** オプションは、通り情報と PO Box/地方配送路/幹線請負契約情報の両方が住所に含まれる場合に、Validate Address が通り一致を返すか、または PO Box/地方配送路/幹線請負契約一致を返すかを制御します。

注：通り情報が PO Box/地方配送路/幹線請負契約情報と別の住所行入力フィールドに含まれている場合、**[二重住所ロジック]** オプションは、効果を持ちません。

例えば、次の入力住所が与えられたとします。

AddressLine1: 401 N Main St Apt 1 POB 1
 City: Kemp
 StateProvince: TX
 PostalCode: 75143

ValidateAddress は、次のいずれかを返します。

- **[二重住所ロジック]** が **[通常一致]** または **[PO Box 一致]** のいずれかに設定されている場合は、次を返します。

AddressLine1: PO Box 1
City: Kemp
StateProvince: TX
PostalCode: 75143-0001

- **[二重住所ロジック]** が **[ストリート一致]** に設定されている場合は、次を返します。

AddressLine1: 401 N Main St Apt 1
City: Kemp
StateProvince: TX
PostalCode: 75143-4806

住所の正規化に使用されない住所データは、次の 2 カ所のいずれかに返すことができます。

- **AddressLine2** — **[セカンダリ住所の配置]** フィールドで **[二重住所を分割]** を選択した場合、住所の正規化に使用されない住所情報は **AddressLine2** フィールドに返されます。詳細については、[デフォルト オプション](#) (142ページ) を参照してください。例えば、二重住所に対してストリート一致を返すと選択すると、次のようになります。

AddressLine1: 401 N Main St Apt 1
AddressLine2: PO Box 1
City: Kemp
StateProvince: TX
PostalCode: 75143-0001

- **AdditionalInputData** — **[セカンダリ住所の配置]** フィールドで **[二重住所を分割]** を選択しない場合、住所の正規化に使用されない住所情報は **AdditionalInputData** フィールドに返されます。このオプションの詳細については、[デフォルト オプション](#) (142ページ) を参照してください。例えば、二重住所に対してストリート一致を返すと選択すると、次のようになります。

AddressLine1: 401 N Main St Apt 1
City: Kemp
StateProvince: TX
PostalCode: 75143-0001
AdditionalInputData: PO Box 1

ドロップされた住所情報を取得するには、**[セカンダリ住所の配置]** を **[二重住所を分割]** に設定します。詳細については、[デフォルト オプション](#) (142ページ) を参照してください。

複数マッチを返す

ValidateAddress が、入力住所に一致する可能性のある複数の住所を郵便データベース内で検出した場合、一致する可能性のある住所を ValidateAddress が返すよう設定できます。例えば、次の住所は米国郵便データベース内の複数の住所にマッチします。

PO BOX 1
New York, NY

オプション

複数マッチを返すには、次の表に示すオプションを使用します。

表 62 : 複数マッチのオプション

オプション名	説明
複数の住所を返す	一致する可能性のある住所を複数持つ入力住所に対して複数の住所を返すかどうかを示します。
結果の最大数	<p>【複数の住所を返す】 チェック ボックスの横に、返す住所の最大数を示す 1 ~ 10 の数字を入力します。</p> <p>デフォルト値は 1 です。</p> <p>注: 【複数の住所を返す】 のチェックをはずした場合と 【複数の住所を返す】 にチェックを入れ、結果の最大数として 1 を指定した場合の違いは、【複数の住所を返す】 のチェックをはずした場合は複数マッチによって失敗が返され、【複数の住所を返す】 にチェックを入れ、結果の最大数として 1 を指定した場合は複数マッチによって 1 つのレコードが返される点です。</p>
個々のフィールドの結果コードを含める	どの出力住所が候補住所かを特定するには、 【出力データ】 タブの 【個々のフィールドの結果コードを含める】 にチェックを入れる必要があります。このように設定すると、候補住所のレコードのフィールドレベルの結果インジケータに 1 つ以上の値 "M" が格納されます。

出力

複数マッチを返すよう選択した場合、住所は指定した住所フォーマットで返されます。住所フォーマットの指定については、[出力データオプション](#) (134ページ) を参照してください。どのレコードが候補住所であるかを特定するには、フィールドレベルの結果インジケータに複数の値 "M" があるかどうかを調べます。詳細については、[フィールドレベルの結果インジケータ](#) (192ページ) を参照してください。

米国住所のオプション

オプション名	説明
米国住所処理を有効にする	<p>米国住所を処理するかどうかを指定します。米国住所処理を有効にすると、ValidateAddress は米国住所の検証を試みます。米国住所処理を無効にすると、米国住所は失敗します。つまり、Status 出力フィールドに "F" が設定されて返されます。出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。米国住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに米国住所が含まれるか否かにかかわらず、米国住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：米国住所を正常に処理するには、米国住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。米国住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、米国住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。</p>
データベース	<p>米国の検証に使用するデータベースを指定します。Management Console の [米国データベース リソース] パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。</p>
トラベルライン	<p>Enhanced Line of Travel (eLOT) 処理は、トラベルライン シーケンス コードを住所に割り当てます。住所は eLOT 順でソートされませんが、住所を eLOT 順にソートするために使えるトラベルライン シーケンス コードが提供されます。</p> <p>eLOT 処理を実行するには、eLOT データベースをインストールしておく必要があります。</p> <p>このオプションで返される出力フィールドの一覧については、Enhanced Line of Travel 出力 (209ページ) を参照してください。</p>
Residential Delivery Indicator 処理	<p>Residential Delivery Indicator (RDI™) 処理は、住所が (企業住所ではなく) 個人住所であることを調べます。RDI™ 処理を実行するには、RDI™ データベースをインストールしておく必要があります。</p> <p>DPV® と RDI™ の両方の処理を有効にしている場合は、RDI™ 情報は、住所が有効な配達ポイントである場合のみ返されます。DPV® で住所の妥当性が確認されなかった場合は、RDI™ データは返されません。</p>

オプション名	説明
拡張ストリートマッチング	<p>Enhanced Street Matching (ESM) は、追加のマッチング ロジックを適用することにより、綴りに誤りがあるストリート名や複雑なストリート名を修正し、マッチ結果を得ます。ESM を使うと、より多くの住所の妥当性を確認できるようになりますが、パフォーマンスは低下します。ASM が有効な場合は、ESM を実行することはできません。</p>
すべてのストリートをマッチング	<p>All Street Matching (ASM) は、ESM 処理に加えて追加のマッチング ロジックを適用することにより、ストリート名の誤りを修正し、マッチ結果を得ます。ストリートの最初の文字が誤っている場合のストリートのマッチングに有効です。ASM は、最良の住所検証結果を提供しますが、パフォーマンスは低下します。</p>
Delivery Point Validation & CMRA	<p>Delivery Point Validation (DPV[®]) は、特定の住所が有効な住所の範囲内にあるかどうかを確認するのではなく、特定の住所が存在するかどうかを確認します。CMRA 処理は、住所が、Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱) と呼ばれる民間企業が貸し出す私書箱であるかどうかを確認します。</p> <p>DPV および CMRA 処理を実行するには、DPV データベースをインストールしておく必要があります。DPV データベースには、DPV と CMRA の両方のデータが含まれます。</p> <p>このオプションで返される出力フィールドの一覧については、DPV および CMRA 出力 (212ページ) を参照してください。</p>
LACS/Link 変換	<p>USPS[®] Locatable Address Conversion System (LACS) は、地方配送路の住所をストリート名に沿った住所に変換した場合、PO Box 番号の再割り当てがあった場合、またはストリート名に沿った住所が変更した場合に、それに伴って変更した住所を修正します。LACS^{Link} 処理を有効にした場合、妥当性が確認できなかった住所、または妥当性が確認され、LACS^{Link} 変換のフラグが付けられた住所に対し、その処理が実行されます。</p> <p>LACS^{Link} 処理を実行するには、LACS^{Link} データベースをインストールしておく必要があります。</p> <p>このオプションで返される出力フィールドの一覧については、LACSLink 出力 (210ページ) を参照してください。</p>

オプション名

説明

早期警告システム

Early Warning System (EWS) は、USPS® EWS ファイルを使用して、ZIP + 4® データベースには存在しない住所の妥当性を確認します。

EWS 処理を実行するには、EWS データベースをインストールしておく必要があります。

入力住所が、EWS ファイルの住所に一致する場合、次のレコード レベルの結果インジケータが返されます。

- Status="F"
- Status.Code="EWSFailure"
- Status.Description="Address found in EWS table"

オプション名

説明

企業名抽出

オプション名

説明

AddressLine1 ~ AddressLine4 から企業名を抽出し、FirmName 出力フィールドに入れるかどうかを指定します。このオプションは、入力レコードの FirmName フィールドが空白で、住所行が複数存在する場合に適用されます。

住所行の中の企業名を特定するため、住所行をスキャンし、どのフィールドが住所行で、どのフィールドが企業名の行であるかを特定するためのキーワードおよびパターンが検索されます。この処理はパターンに基づいて行われるため、フィールドが誤って認識される場合があります。最適な企業名抽出を行うためのヒントを、以下に示します。

- 可能ならば、主要な住所要素を AddressLine1、補助的な要素を AddressLine2、都市化名を AddressLine3、企業名を AddressLine4 に配置します。住所に都市化コードが存在しない場合は、企業名を AddressLine3 に配置し、AddressLine4 を空白にします。例を次に示します。

AddressLine1: 4200 Parliament Place

AddressLine2: Suite 600

AddressLine3: Pitney Bowes

AddressLine4: <空白>

- 住所行を 2 行だけ定義する場合は、ほとんどの場合 AddressLine2 には補助的な住所が入ります。AddressLine2 を企業名として処理する確率を上げるには、企業名を AddressLine3 に配置し、AddressLine2 は空白にします。
- 企業名に数字が含まれていると ("1 Stop Software" の "1" など)、そのフィールドが住所行として扱われる可能性が高くなります。

以下に、企業名抽出の例をいくつか示します。

- 次の例では、AddressLine2 が FirmName 出力フィールドに抽出されます。

FirmName: <空白>

AddressLine1: 4200 Parliament Place Suite 600

AddressLine2: International Goose Feathers inc.

- 次の例では、AddressLine3 が FirmName 出力フィールドに抽出されます。

FirmName: <空白>

AddressLine1: 4200 Parliament Place

AddressLine2: Suite 600

AddressLine3: Pitney Bowes

- 次の例では、AddressLine3 は AdditionalInputData 出力フィールドに配置されます。FirmName 入力フィールドが空白ではないため、企業名は抽出されません。

FirmName: International Goose Feathers Inc.

AddressLine1: 4200 Parliament Place

AddressLine2: Suite 600

AddressLine3: Pitney Bowes

- 次の例では、空白でない住所行が 1 行しかなく、その行は必ず主要な住所要素として処理されるため、企業名は抽出されません。

オプション名

説明

FirmName: <空白>

AddressLine1: 4200 Parliament Place Suite 600

- 次の例では、AddressLine2 は補助的な住所要素として処理されます。数字の "1" が含まれているために、そのフィールドが補助的な住所要素として扱われるためです。

FirmName: <空白>

AddressLine1: 4200 Parliament Place Suite 600

AddressLine2: 1 Stop Software

米国都市化名を抽出

AddressLine1 ~ AddressLine4 から都市化名を抽出し、USUrbanName 出力フィールドに入れるかどうかを指定します。このオプションは、入力レコードの USUrbanName フィールドが空白で、住所行が複数存在する場合に適用されます。

住所行の中の都市化名を特定するため、住所行をスキャンし、どのフィールドが住所行で、どのフィールドが都市化名の行であるかを特定するためのキーワードおよびパターンが検索されます。この処理はパターンに基づいて行われるため、フィールドを誤って認識する場合があります。最適な都市化名抽出を行うには、できる限り、主要な住所要素を AddressLine1、補助的な要素を AddressLine2、都市化名を AddressLine3、企業名を AddressLine4 に配置します。例を次に示します。

AddressLine1: A1 Calle A

AddressLine2:

AddressLine3: URB Alamar

AddressLine4: Pitney Bowes

オプション名

説明

Suite/Link サポート

Suite^{Link™} 処理を実行するかどうかを指定します。

Suite^{Link} は、補助的な住所情報の妥当性が確認できなかった米国の企業住所に対し、その補助的な住所情報を修正します。Suite^{Link} 処理が有効になっている場合、既知の企業名とその補助的な住所情報からなるデータベースに対して、企業名のマッチングが行われます。

例を次に示します。

企業名: Pitney Bowes
住所行 1: 4200 Parliament Place
Address Line 2: STE 1
郵便番号: 20706

この場合、Suite^{Link} は、Suite 番号を以下の正しい Suite番号に変更します。

企業名: Pitney Bowes
住所行 1: 4200 Parliament Place
Address Line 2: **STE 600**
Postal Code: 20706-1844

Suite^{Link™} 処理を実行するには、Suite^{Link™} データベースをインストールしておく必要があります。

このオプションで返されるフィールドの一覧については、[SuiteLink 出力](#) (214ページ) を参照してください。

オプション名

説明

通り名に対してよく使用されるエイリアスの処理

通り名に対してよく使用されるエイリアスを出力に使用するかどうかを指定します。

米国における通り名のエイリアスとは、通りの一部に付けられた別名のことです。通り名のエイリアスには、次の 4 種類があります。

- **よく使用される名前** — その地域でよく使用される通り名です。通常は、通り上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。
- **省略形** — 通り名の省略形です。AddressLine1 の長さが 31 文字以上になる場合に使用することができます。例えば、1234 BERKSHIRE VALLEY RD APT 312A という通り名は、1234 BERKSHIRE VLLY RD APT 312A と省略することができます。
- **変更名** — 通り名が正式に変更された場合に、新しい名前を表すエイリアスです。例えば、SHINGLE BROOK RD という通り名が CANNING DR に変更された場合、CANNING DR が変更済みのエイリアス タイプとなります。
- **その他の名前** — この通り名エイリアスには、通りの他の名前や、通りの一般的な省略形などがあります。

エイリアスではない通り名のことを、基本通り名と呼びます。

入力において、よく使用されるエイリアスが使用されている場合は、このオプションを選択しているかどうかにかかわらず、そのエイリアスが出力の通り名になります。

これは、Validate Address で通り名のエイリアスを処理する方法を制御する 3 つのオプションのうちの 1 つです。他の 2 つは **[通り名のエイリアスを返す]** と **[通り名に対する省略形エイリアスの処理]** です。

多くの場合、**[通り名に対してよく使用されるエイリアスの処理]** と **[通り名に対する省略形エイリアスの処理]** の両方が選択されており、ValidateAddress が、郵便データベース内でよく使用されるエイリアスと省略形エイリアスの両方を検出した場合は、省略形エイリアスが出力に使用されます。入力の通り名がよく使用されるエイリアスである場合は、例外になります。この場合は、よく使用されるエイリアスが出力に使用されます。

注: 入力住所に、"変更名"である通り名のエイリアスが含まれている場合は、指定したオプションにかかわらず、出力住所には必ず、基本通り名が使用されます。

オプション名	説明
通り名の省略形エイリアスの処理	<p>出力住所行の長さが 31 文字以上になる場合に、通り名に対する省略形エイリアスを出力に使用するかどうかを指定します。</p> <p>これは、Validate Address で通り名のエイリアスを処理する方法を制御する 3 つのオプションのうちの 1 つです。他の 2 つは [通り名のエイリアスを返す] と [通り名に対してよく使用されるエイリアスの処理] です。</p> <p>注: 入力において、よく使用されるエイリアスが指定されている場合は、通り名に対する省略形エイリアスの処理を有効にしても、出力の通り名は必ず、よく使用されるエイリアスになります。</p> <p>注: 入力住所に、"変更名"である通り名のエイリアスが含まれている場合は、指定したオプションにかかわらず、出力住所には必ず、基本通り名が使用されます。</p>
配達ポイントが郵便物受領可能かどうかを調べる	<p>住所の "no stat" ステータスを調べます。住所が存在するが、郵便物を受け取れない場合、その住所は "no stat" とみなされるため、配達ルートに関する配達統計としてカウントされません (そのため "no stat" という用語が使用されます)。例としては、建設中の建物や、郵便物を受け取る可能性が低いと郵便配達業者が識別した建物などがあります。</p> <p>注: このオプションを使用するには DPV 処理を有効にする必要があります。</p> <p>結果は DPVNoStat フィールドに返されます。詳細については、LACSLink 出力 (210ページ) を参照してください。</p>
住所が空家であるかを調べる	<p>そのロケーションがすくなくとも 90 日間使用されていないかどうかを調べます。</p> <p>注: このオプションを使用するには DPV 処理を有効にする必要があります。</p> <p>結果は DPVVacant フィールドに返されます。詳細については、LACSLink 出力 (210ページ) を参照してください。</p>
VeriMove 詳細データを返す	<p>出力に VeriMove 詳細データを返します。</p>

オプション名

説明

ZIP+4 キャリアルート R777 を抑制 キャリアルート R777 の住所を抑制するかどうかを指定します。これらの住所は疑似ルートであり、ストリート配達に使用できません。これらの住所には USPS® による ZIP + 4® コードが割り当てられているため、Validate Address はこれらの住所を配達可能と判定します。キャリアルート R777 の住所を配達可能と判定したくない場合は、このオプションを選択します。その場合は、次のように動作します。

- ZIP + 4 コードは割り当てられません
- 住所は USPS Form 3553 (CASS Summary Report) から除外されます
- DPV 補足コードとして R7 が返されます

通りマッチング

入力住所が郵便データベース内の住所にマッチするかどうかを調べる際に使用するアルゴリズムを指定します。次のいずれかです。

- 完全一致** 入力された通り名は、データベースに完全に一致する必要があります。
- 厳格** マッチングアルゴリズムは "厳格" です。
- 中** マッチングアルゴリズムは "中" です (デフォルト)。
- あいまい** マッチングアルゴリズムは "あいまい" です。

企業マッチング

入力住所が郵便データベース内の住所にマッチするかどうかを調べる際に使用するアルゴリズムを指定します。次のいずれかです。

- 完全一致** 入力された企業名は、データベースに完全に一致する必要があります。
- 厳格** マッチングアルゴリズムは "厳格" です。
- 中** マッチングアルゴリズムは "中" です (デフォルト)。
- あいまい** マッチングアルゴリズムは "あいまい" です。

オプション名	説明
道順マッチング	<p>入力住所が郵便データベース内の住所にマッチするかどうかを調べる際に使用するアルゴリズムを指定します。次のいずれかです。</p> <p>完全一致 123 N Main St. における "N" など、入力された道順がデータベースに完全に一致する必要があります。</p> <p>厳格 マッチングアルゴリズムは "厳格" です。</p> <p>中 マッチングアルゴリズムは "中" です。こちらがデフォルトです。</p> <p>あいまい マッチングアルゴリズムは "あいまい" です。</p>
DPV 成功条件	<p>DPV 結果がレコードの失敗の原因とならない一致条件を選択します。</p> <p>注：このオプションを使用するには DPV 処理を有効にする必要があります。</p>
CMRA との一致をマッチとみなさない	<p>民間私書箱 (CMRA) との一致をマッチとみなしませんか。</p> <p>注：このオプションを使用するには DPV 処理を有効にする必要があります。</p>
PMB 要素配置箇所	<p>私書箱 (PMB) の情報をどこに配置するかを指定します。</p> <p>どの住所行にも配置しない 標準住所出力に PMB 情報を含めません (デフォルト)。</p> <p>AddressLine1 PMB 情報を AddressLine1 に配置します。AddressLine1 を選択した場合は、[住所フォーマット] フィールドに [結合ユニット] または [二重住所を分割] をセットする必要があります。</p> <p>AddressLine2 PMB 情報を AddressLine2 に配置します。このオプションは、[3553 Form を作成] をオンにしている場合は選択できません。</p>

オプション名

説明

優先する都市

優先する最終行都市名を格納するかどうかを指定します。

ZIP+4 Last Line USPS ZIP+4 ファイルからの Preferred Last Line City Name を格納します (都市名を上書き)。

注：このオプションを選択すると、Validate Address は CASS 認定の設定と USPS 3553 レポートを生成します。

USPS City/State USPS City/State ファイルからの USPS-preferred City Name を格納します

注：このオプションを選択すると、Validate Address は CASS 認定の設定と USPS 3553 レポートを生成しません。

Primary USPS City/State ファイルからの Primary City Name を格納します

注：このオプションを選択すると、Validate Address は CASS 認定の設定と USPS 3553 レポートを生成しません。

CASS 認定処理

特定のオプションの組み合わせを有効にすると、ValidateAddress を CASS 認定™モードで動作させることができます。CASS 認定™処理を使用すると、USPS® の郵便料金値引きのための条件を揃えることができます。

CASS 認定™処理を使用すると、Validate Address が USPS CASS Form 3553 を生成します。このフォームを USPS に郵便物と一緒に渡さなければ、値引きを受けることができません。フォームには CASS 処理に使用したソフトウェアに関する情報、名前と住所のリストに関する情報、出力ファイルに関する情報、差出人に関する情報、およびその他の郵便物に関する統計が含まれます。USPS Form 3553 の詳細については、www.usps.com を参照してください。

また、CASS 認定™処理では USPS CASS 詳細レポートも生成されます。このレポートに含まれる情報は 3553 レポートと同じものですが、DPV、LACS、および SuiteLink に関する大幅に詳しい統計情報が含まれます。USPS CASS 詳細レポートは、郵便料金の値引きを受けるために必ずしも必要ではなく、郵便物と一緒に提出する必要はありません。

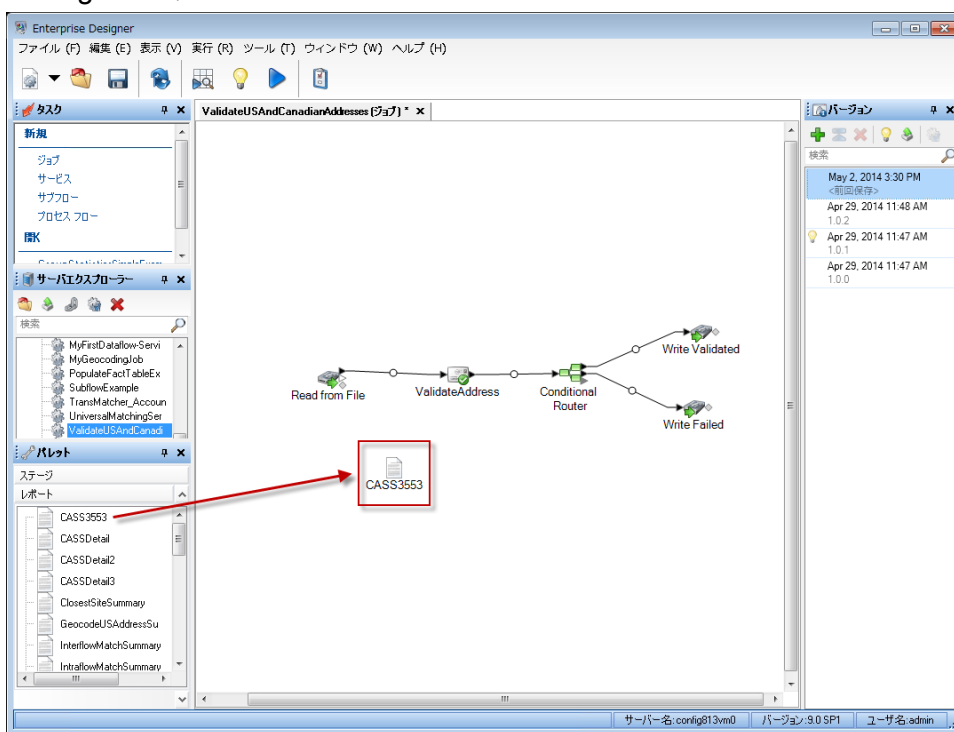
注：USPS CASS Form 3553 と USPS CASS 詳細レポートはバッチ処理でのみ使用できません。

Validate Address を CASS 認定™モードで実行するには、以下の手順に従います。

1. **Validate Address** を **CASS 認定™** モードにする必要があります。ウィンドウの一番上に**(CASS 認定でないもの)** と表示される場合は、**[CASS 有効]** ボタンをクリックしてください。**[CASS ルールを強制]** チェック ボックスが表示されます。
2. **[CASS 3553 を設定]** をクリックします。**[CASS レポート フィールド]** ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[リスト処理元]** の会社名、**[リスト名または ID 番号]**、およびこのジョブで処理する **[リスト数]** を入力します。
4. **[差出人名]**、**[住所]**、および**[都市]**、**[州]**、**[ZIP]** を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

生成された USPS® CASS Form 3553 のセクション B にリストの情報が、セクション D に差出人の情報が表示されます。

6. Enterprise Designer で、**CASS3553** レポートをレポートのパレットからキャンバスにドラッグ



します。

7. キャンバスの **[CASS3553]** アイコンをダブルクリックします。
8. **[ステージ]** タブで、**[Validate Address]** チェックボックスをオンにします。Validate Address ステージを何か別の名前に変更している場合は、住所検証ステージに指定した名前のチェックボックスをオンにする必要があります。
9. **[パラメータ]** タブで、レポートのフォーマットを選択します。PDF、HTML、またはプレーンテキストのフォーマットでレポートを作成できます。
10. **[OK]** をクリックします。
11. CASS 詳細レポートを生成する場合は、**CASSDetail** に対して手順 6 ~ 10 を繰り返します。

注：Validate Address ステージとレポートの間にコネクタを引く必要はありません。

カナダ住所のオプション

オプション名	説明
カナダ住所処理を有効にする	<p>カナダ住所を処理するかどうかを指定します。カナダ住所処理を有効にした場合、ValidateAddress はカナダ住所の検証を試みます。カナダ住所処理を無効にすると、Status 出力フィールドに"F" が設定されて返され、カナダ住所処理は失敗します。その際、出力フィールド Status.Code は、"DisabledCoder" となります。カナダ住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブにカナダ住所が含まれるか否かにかかわらず、カナダ住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。</p> <p>注：カナダ住所を正常に処理するには、カナダ住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。カナダ住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、カナダ住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。</p>
データベース	<p>カナダ住所の検証に使用するデータベースを指定します。カナダ住所検証用のデータベースを指定するには、【データベース】ドロップダウンリストからデータベースを選択します。Management Console の【カナダ データベース リソース】パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。</p>

オプション名

説明

使用言語判断対象

住所及び方向指示の書式設定に使用する言語 (英語またはフランス語) の判断方法を指定します。以下に、英語およびフランス語で書式設定された住所の例を示します。

英語: 123 Main St W

フランス語: 123 Rue Main O

このパラメータは、住所の書式設定を制御します。また、方向指示の綴りにも影響を与えますが、接尾語の綴りには影響を与えません。

ストリート接尾語 マッチング処理によって返されるストリート接尾語によって、言語を判断します。マッチング処理によって返されるストリート接尾語は、`ValidateAddress` が処理において内部で使用するもので、入力住所のものとは異なる場合があります。あいまいなレコードは、入力と同様に書式設定されます。こちらがデフォルトです。ケベック州の住所はすべて、フランス語で書式設定されます。

CPC データベース カナダ データベースによって、言語を判断します。カナダ データベースには、`Canada Post Corporation (CPC: カナダ郵政公社)`からのデータが含まれています。ケベック州の住所はすべて、フランス語で書式設定されます。

CanLanguage フィールド `CanLanguage` 入力フィールドによって、言語を判断します。このフィールドに空白以外の値が設定されている場合は、住所はフランス語で書式設定されます。

オプション名

説明

デフォルト英語アパートメント ラベル

英語の住所に対し、入力住所にアパートメント ラベルが存在しない場合に、出力に使用するデフォルト アパートメント ラベルを指定します。【セカンダリ住所フォーマット】フィールドで【先頭と番号のみ】を選択した場合、この設定は無視されます。

- Apt** ラベルとして "Apt" を使用します。こちらがデフォルトです。
- Apartment** ラベルとして "Apartment" を使用します。
- Suite** ラベルとして "Suite" を使用します。
- Unit** ラベルとして "Unit" を使用します。

デフォルト フランス語アパートメント ラベル

フランス語の住所に対し、入力住所にアパートメント ラベルが存在しない場合に、出力に使用するデフォルト アパートメント ラベルを指定します。【セカンダリ住所フォーマット】フィールドで【先頭と番号のみ】を選択した場合、この設定は無視されます。

- App** "App" をラベルとして使用します。こちらがデフォルトです。
- Appartement** ラベルとして "Appartement" を使用します。
- Bureau** ラベルとして "Bureau" を使用します。
- Suite** ラベルとして "Suite" を使用します。
- Unite** ラベルとして "Unite" を使用します。

オプション名

説明

LVR/Single-Single CPC データ レコードを強制的に修正

正式情報やスイート情報を変更して、Large Volume Receiver (LVR) または Single-Single レコードをマッチさせます (その郵便番号/ストリート名/ストリート タイプに対して1つしかレコードがない場合に使用します)。

N LVR または Single-Single レコードをマッチさせるために正式情報やスイート情報を変更しません。LVR レコードは、有効だが修正不可能なレコード (VN) としてマーク付けされます。Single-Single レコードは可能ならば修正されます。または、修正不可能なレコードとして処理されます。

Y LVR または Single-Single レコードをマッチさせるために正式情報やスイート情報を変更します。

注：このチェック ボックスをオンにする場合は、SERP 認定の設定 ではないため、Statement of Address Accuracy は印刷されません。

郵便番号の競合時に家番号を優先

家番号と郵便番号がともに有効だが競合するという場合、**[郵便番号の競合時に家番号を優先]**を選択することによって、家番号に合わせて郵便番号を強制的に修正することができます。このオプションを選択しない場合、郵便番号に合わせて家番号が変更されます。

都市名のエイリアスを返す

入力住所に都市名のエイリアスがある場合、そのエイリアスを返すかどうかを指定します。**[都市フォーマット]**フィールドで**[デフォルト オプションを使用]**を選択している場合は、このオプションは無効です。

正式住所ではないキーワードを短縮します。

出力において、正式住所ではないキーワードを短縮するかどうかを指定します。例えば、Post Office Box とPO Box のどちらを使用するかが決まります。

SERP 設定を有効にする

SERP オプションを使用するかどうかを指定します。

オプション名

説明

セカンダリ住所フォーマット

出力住所における、補助的な住所情報の配置場所を指定します。補助的な住所情報とは、部屋番号やアパート番号などの指定子のことです。

デフォルト オプションを使用 アパート情報を、[デフォルト オプション] タブの [セカンダリ住所フォーマット] フィールドで指定された場所に配置します。こちらがデフォルトです。

住所行の末尾 アパート情報を、AddressLine1 フィールドの末尾に配置します。

先頭と番号のみ アパート番号のみ (ラベルは除く) を、AddressLine1 フィールドの先頭に配置します。例えば、400-123 Rue Main とします。

先頭、番号、ラベル アパート番号とラベルを、AddressLine1 フィールドの先頭に配置します。例えば、Apt 400 123 Rue Main とします。

住所行を分割 アパート情報を別の行に配置します。

入力と同じ アパート情報を入力住所と同じ場所に配置します。

オプション名

説明

都市フォーマット

都市の名前が長い場合に、**long**、**medium**、もしくは**short**のどの都市名を使用するかを指定します。例を次に示します。

Long: BUFFALO HEAD PRAIRIE

Medium: BUFFALO-HEAD-PR

Short: BUFFALO-HD-PR

デフォルト **【デフォルト オプション】** タブの **【都市フォーマット オプション マット】** フィールドで指定されたデフォルト オプションを使用します。こちらがデフォルトです。 **【都市フォーマット】** フィールドで **【Non-Mailing (非正式)】** を選択した場合、都市は、このオプションで **【Long】** を選択し (以下を参照)、 **【都市名のエイリアスを返す】** ボックスをオンにした場合と同じように書式設定されます。

短 短い都市名を出力します。

長 長い都市名を出力します。

中 中間の長さの都市名を出力します。

入力と同じ 入力住所と同じ都市フォーマットを使用します。出力は、L、M、または S です。

地方集配路線情報配置箇所

地方配送路の配達情報を配置する場所を指定します。地方配送路の配達情報を含む住所の例を以下に示します。

36 GRANT RD RR 3

ANTIGONISH NS

この住所において、"RR 3" は地方配送路の配達情報です。

AddressLine1 地方配送路の配達情報を、住所と同一行の住所情報の後に配置します。こちらがデフォルトです。例を次に示します。

36 GRANT RD RR 3

AddressLine2 地方配送路の配達情報を、別の住所行に配置します。例を次に示します。

36 GRANT RD

RR 3

オプション名

説明

配達オフィス情報を配置

配達局情報の配置場所を指定します。配達局情報を含む住所の例を次に示します。

PO BOX 8625 STN A
ST.JOHN'S NL

入力と同じ 配達局情報を、入力住所と同じ場所に配置します。こちらがデフォルトです。

AddressLine1 配達局情報を、住所と同一行の住所情報の後に配置します。例を次に示します。

PO BOX 8625 STN A

AddressLine2 配達局情報を、別の住所行に配置します。例を次に示します。

PO BOX 8625
STN A

オプション名

説明

二重住所ロジック

住所に、正式情報と非正式情報の両方が含まれている場合に、**ValidateAddress** が通り一致と、**PO Box/非正式一致** のどちらを返すかを指定します。次のいずれかです。

デフォルト オプションを使用 **DualAddressLogic** のグローバル オプションを使用します。こちらがデフォルトです。

PO Box 一致 **PO Box** などストリート以外のデータとマッチングします。

通りマッチング 通りとマッチングします。

例えば、次の入力住所が与えられたとします。

AddressLine1: 36 GRANT RD
AddressLine2: RR 4
City: ANTIGONISH
StateProvince: NS

ValidateAddress は、次のいずれかを返します。

- **【二重住所ロジック】** が **【通り一致】** に設定されている場合、**ValidateAddress** は次を返します。

AddressLine1: 36 GRANT RD
AddressLine2: RR 3
City: ANTIGONISH
StateProvince: NS
PostalCode: B2G 2L1

- **【二重住所ロジック】** が **【PO Box 一致】** に設定されている場合、**ValidateAddress** は次を返します。

AddressLine1: RR 4
City: ANTIGONISH
StateProvince: NS
PostalCode: B2G 2L2

住所の正規化に使用されない住所データは、**AdditionalInputData** フィールドに返されます。詳細については、[出力データオプション](#) (134ページ) を参照してください。

SERP の処理

Validate Address は **Software and Evaluation Recognition Processing (SERP)** に対応しています。SERP 処理を使用すると、**Canada Post®** の郵便料金値引きのための条件を揃えることができま

す。Validate Address が PoCAD データを返し、これによって家番号とアパートのデータの精度を向上させることができます。

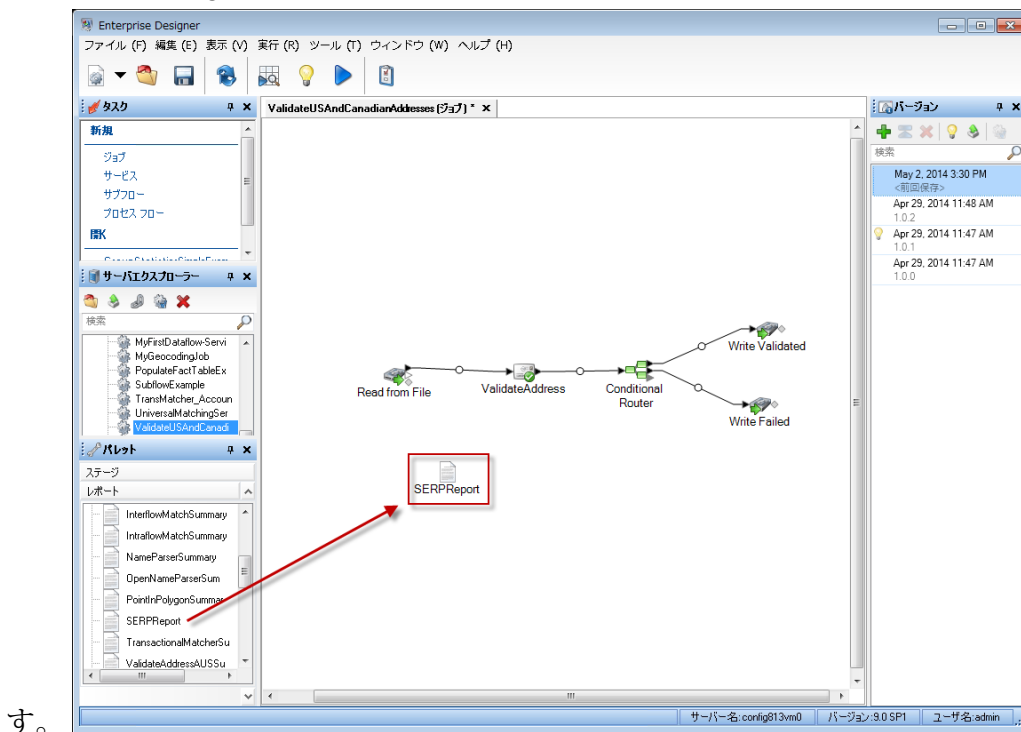
注：PoCAD データはバッチ モードでのみ返すことができます。PoCAD データをリアルタイムで返そうとすると、Validate Address がエラーを返します。

SERP 認定™処理を使用すると、Validate Address は Canada Post SERP Statement of Accuracy を生成します。このフォームを Canada Post に郵便物と一緒に渡さなければ、値引きを受けることができません。フォームには SERP 処理に使用したソフトウェアに関する情報、名前と住所のリストに関する情報、出力ファイルに関する情報、差出人に関する情報、およびその他の郵便物に関する統計が含まれます。Canada Post の Address Accuracy Statement について詳しくは、<http://www.canadapost.ca/cpo/mc/business/productsservices/atoz/addressaccuracy.jsf>を参照してください。

Validate Address を SERP 認定™モードで実行するには、以下の手順に従います。

1. Validate Address を SERP 認定™モードにする必要があります。ウィンドウの一番上に (SERP 認定でないもの) と表示される場合は、**[SERP 設定を有効にする]** ボタンをクリックしてください。**[SERP を設定]** ボックスが表示されます。
2. **[SERP を設定]** をクリックします。**[SERP レポート フィールド]** ダイアログ ボックスが表示されます。
3. 荷主の **[CPC 番号]** を入力します。
4. 差出人の **[名前]**、**[住所]**、および**[都市]**、**[州]**、**[郵便番号]** を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

6. Enterprise Designer で、SERP レポートをレポートのパレットからキャンバスにドラッグしま



す。

注：Validate Address ステージと CASS3553 レポートの間にコネクタを引く必要はありません。

7. キャンバスの **[SERPReport]** アイコンをダブルクリックします。
8. **[ステージ]** タブで、**[Validate Address]** チェックボックスをオンにします。Validate Address ステージを何か別の名前に変更している場合は、住所検証ステージに指定した名前のチェックボックスをオンにする必要があります。
9. **[パラメータ]** タブで、レポートのフォーマットを選択します。PDF、HTML、またはプレーンテキストのフォーマットでレポートを作成できます。デフォルトでは PDF フォーマットで作成されます。
10. **[OK]** をクリックします。

SERP リターン コードの取得

SERP リターン コードは、カナダ郵政公社の Software Evaluation and Recognition Program の規定によって定められる入力住所の品質を表します。

SERP リターン コードを取得するには、**[出力データ]** タブで、**[郵便情報を含める]** チェック ボックスを選択します。これにより、SERP リターン コードを含む、住所に関する様々なデータが返されます。このオプションによって返される具体的なデータについては、[郵便データ出力](#)（182ページ）を参照してください。

SERP リターン コードは、以下の出力フィールドに返されます。

表 63 : SERP リターン コード出力

フィールド名	説明
CanadianSERPCode	<p data-bbox="552 441 1031 472">検証/修正リターン コード (カナダ住所のみ)。</p> <p data-bbox="552 493 1404 556">V 入力は無効です。カナダ郵政公社は、以下のすべての条件を満たす住所を、「有効な」住所であると定義しています。</p> <p data-bbox="682 577 1404 640">注：一部例外があります。詳細については、CPC にお問い合わせください。</p> <ul data-bbox="600 672 1421 1050" style="list-style-type: none"> • 住所は、CPC の Postal Code Data Files に示されるとおりに、すべての必須コンポーネントを含む必要があります。 • 住所は、CPC の Postal Code Data Files の単一の住所のみに対し、すべてのコンポーネントにおいて完全に一致する必要があります。ただし、CPC Postal Code Data Files に示されている、許容される別の語および名前が使用されていてもかまいません。 • 住所コンポーネントは、あいまいな部分がなく、はっきりと認識できる形式である必要があります。一部のコンポーネントには、それらを識別するための "修飾子" が必要な場合があります。例えば、Route Service の住所には、同じ番号の "Suburban Service" または "SS" の住所と区別するために、"Rural Route" または "RR" のキーワードが必要です。 <p data-bbox="552 1081 1421 1186">I 入力は無効です。「無効な」住所とは、有効な住所に対する CPC の条件を満たさない住所のことです (上記を参照)。例としては、住所コンポーネントが欠落している、無効である、または矛盾が存在する場合は挙げられます。</p> <p data-bbox="552 1207 1421 1270">C 入力は修正可能です。「修正可能な」住所とは、修正することによって、単一の住所のみに一致させることのできる住所のことです。</p> <p data-bbox="552 1291 1421 1396">N 入力は修正不可能です。「修正不可能な」住所とは、複数の異なる修正方法があり得るために Validate Address が単一の修正住所を特定できない住所のことです。</p> <p data-bbox="552 1417 1047 1449">F 入力住所は外国 (カナダ以外) の住所です。</p>

国際住所オプション

米国とカナダ以外の住所は "国際" 住所と呼ばれます。以下に、国際住所の処理をコントロールするオプションについて説明します。

オプション名

説明

国際住所処理を有効にする

国際住所(米国およびカナダ以外の住所)を処理するかどうかを指定します。国際住所処理を有効にした場合、**Validate Address** は国際住所の妥当性を確認します。国際住所処理を無効にした場合、**Status** フィールドに "F" が設定され国際住所は失敗します。出力フィールド **Status.Code** は、"DisabledCoder" となります。国際住所処理のライセンスを取得していない場合は、ジョブに国際住所が含まれるか否かにかかわらず、国際住所処理を無効にしなければ、ジョブを正常に実行することはできません。

注：国際住所を正常に処理するには、国際住所処理の有効なライセンスを取得する必要があります。国際住所処理のライセンスを取得していないか、ライセンスの期限が切れているにもかかわらず、国際住所処理を有効にすると、ジョブ全体が失敗します。

データベース

国際住所の妥当性の確認に使用するデータベースを指定します。国際住所検証用のデータベースを指定するには、**[データベース]** ドロップダウンリストからデータベースを選択します。**Management Console** の **[国際データベースリソース]** パネルで定義されたデータベースのみが使用可能です。

オプション名

説明

世界の都市および通りの検索

デフォルトでは、**Validate Address** は、住所マッチングの精度とパフォーマンスのバランスをうまくとります。マッチング精度を犠牲にしてパフォーマンスを向上させる場合は、**【世界の都市および通りの検索】** フィールドを使用して、処理速度を上げます。これを実行すると、精度はやや低下します。このオプションは、米国およびカナダ以外の住所のパフォーマンスのみを制御します。この設定が影響を与えるレコードの割合は少なく、大部分が英国の住所です。米国およびカナダ住所処理のパフォーマンスは制御できません。

Get Candidate Addresses を使用した場合に **Get Candidate Addresses** が返す候補住所は、国際住所のパフォーマンスチューニング オプションを 100 以外の任意の値に設定した場合に **Validate Address** が返す複数マッチと異なることがあります。

米国およびカナダ以外の住所のパフォーマンスを制御するには、**【世界の都市および通りの検索】** スライダーを使用します。マッチング精度を上げるには、スライダーを右に動かします。値 100 が最高精度になります。処理速度を上げるには、スライダーを左に動かします。値を 0 にすると、処理速度が最速になります。

失敗時に住所行を検索

このオプションにより、**Validate Address** において、**City**、**StateProvince**、および **PostalCode** の各入力フィールドの値を使用して住所にマッチする結果が得られなかった場合に、**AddressLine** 入力フィールドで都市、州/省、郵便番号、および国を検索することができます。

入力住所において、**AddressLine** フィールドに都市、州/省、および郵便番号の情報が存在する場合は、このオプションを有効にすることを検討してください。

入力住所において、**City**、**State/Province**、および **PostalCode** フィールドが使用されている場合は、このオプションを無効にしてください。このオプションを有効にしてこれらのフィールドを使用すると、**Validate Address** がこれらのフィールド値の修正 (例えば、スペルミスのある都市名など) に失敗する可能性が高くなります。

出力

Validate Address からの出力には、選択した出力カテゴリに応じて異なる情報が含まれます。

標準住所出力

標準住所出力は、宛名ラベルに表記される住所に対応する 4 行の住所で構成されます。都市、州/省、郵便番号などのデータも、標準住所出力に含まれます。**【標準住所を含める】** チェック ボックスを選択した場合、妥当性を確認した住所に対し、標準住所出力が返されます。妥当性が確認できなかった住所に対しては、標準住所フィールドが必ず返されます。妥当性が確認されなかった住所に対しては、標準住所出力フィールドには、入力住所がそのまま含まれます ("パス スルー" データ)。妥当性が確認できなかった場合に、郵便当局の規格に従って住所を正規化するには、**【マッチしなかった場合に正規化データを含める】** チェック ボックスを選択します。

表 64 : 標準住所出力

フィールド名	説明
AdditionalInputData	住所検証プロセスで使用されない入力データ。詳細については、 AdditionalInputData について (215 ページ) を参照してください。
AddressLine1	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 1 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 1 行目がそのまま出力されます。
AddressLine2	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 2 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 2 行目がそのまま出力されます。
AddressLine3	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 3 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 3 行目がそのまま出力されます。
AddressLine4	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 4 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 4 行目がそのまま出力されます。
AddressLine5	英国住所にのみ適用されます。住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 5 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 5 行目がそのまま出力されます。

フィールド名	説明
City	妥当性が確認された都市名。
Country	[国フォーマット] で選択した、以下のいずれかのフォーマットで示された国。 <ul style="list-style-type: none"> • ISO コード • UPU コード • 英語 • フランス語 • ドイツ語 • スペイン語
DepartmentName	企業内の下位区分(英国住所においてのみ)。例えば、エンジニアリング部門などです。
FirmName	妥当性が確認された企業名。
PostalCode	妥当性が確認された ZIP Code™ または郵便番号。
PostalCode.AddOn	ZIP Code™ の 4 桁のアドオン部分。例えば、60655-1844 という ZIP Code™ において、4 桁のアドオン部分は 1844 になります(米国住所のみ)。
PostalCode.Base	5 桁の ZIP Code™。住所のみ)。
StateProvince	妥当性が確認された州または省の略称。
USUrbanName	妥当性が確認された都市の都市化名。(米国住所のみ)。主にプエルトリコの住所で使用されます。

パース済み住所要素出力

[一致した住所要素を含める] チェック ボックスを選択した場合、出力住所は、パース済み住所の形式で書式設定されます。ValidateAddress で、妥当性が確認できなかった場合に、パース済み住

所形式で書式設定されたデータ (正規化済み住所) を返すには、**[マッチしなかった場合に正規化データを返す]** チェック ボックスを選択します。

注：妥当性が確認できたかどうかにかかわらず、常にパースした入力データを返すには、**[正規化された入力住所要素を含める]** を選択します。詳細については、[パース済み入力 \(180ページ\)](#) を参照してください。

表 65 : パース済み住所出力

フィールド名	説明
AdditionalInputData	ValidateAddress で使用されない入力データ。詳細については、 AdditionalInputData について (215ページ) を参照してください。
AdditionalInputData.Base	ValidateAddress によって正規化済み住所に出力されなかった入力データ。詳細については、 AdditionalInputData について (215ページ) を参照してください。
AdditionalInputData.Unmatched	マッチャーに引き渡されたが、ValidateAddress による検証に使用されなかった入力データ。詳細については、 AdditionalInputData について (215ページ) を参照してください。
ApartmentLabel	アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St APT 3
ApartmentLabel2	補助的なアパート指定子。例: 123 E Main St Apt 3, 4th Floor 注：このリリースでは、このフィールドは常に空白になります。
ApartmentNumber	アパート番号。例: 123 E Main St APT 3

フィールド名	説明
ApartmentNumber2	補助的なアパート番号。例: 123 E Main St APT 3, 4th Floor 注: このリリースでは、このフィールドは常に空白になります。
CanadianDeliveryInstallationAreaName	配達施設名 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallationQualifierName	配達施設の修飾子 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallationType	配達施設の種類 (カナダ住所のみ)
City	妥当性が確認された都市名
Country	国。フォーマットは、【国フォーマット】で選択したものに なります。 • ISO コード • UPU コード • 英語
DepartmentName	英国(英国住所においてのみ)。例えば、エンジニアリング 部門などです。
FirmName	妥当性が確認された企業名
HouseNumber	家番号 1。例: 123 E Main St Apt 3
LeadingDirectional	接頭方向指示。例: 123 E Main St Apt 3
POBox	私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配 送路の私書箱番号がここに表示されます。

フィールド名	説明
POBox-OnlyZIPCode	<p>私書箱のみの ZIP Code インジケータ。私書箱のみの配達区域に所在する住所は、私書箱を使用した郵便配達サービスしか受けられません。これらの住所には、他の配達方法は提供されません。</p> <p>Y 住所は、私書箱のみの ZIP Code です。</p> <p>NULL 住所は、私書箱のみの ZIP Code ではありません。</p>
PostalCode	<p>妥当性が検証された郵便番号。米国住所に対しては、ZIP Code と呼びます。</p>
PrivateMailbox	<p>私設私書箱のインジケータ。</p>
PrivateMailbox.Type	<p>私設私書箱の種別。次のような値があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Standard • Non-Standard <p>注：PrivateMailboxType (フィールド名にピリオドなし) に換わるものです。これに従って API 呼び出しを修正してください。</p>
RRHC	<p>地方配送路/幹線請負契約のインジケータ</p>
StateProvince	<p>妥当性が確認された州または省の名前</p>
StreetName	<p>ストリート名。例: 123 E Main St Apt 3</p>
StreetSuffix	<p>ストリート接尾語。例: 123 E Main St Apt 3</p>
TrailingDirectional	<p>接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave NW</p>

フィールド名	説明
USUrbanName	USPS® 都市化名。プエルトリコ住所のみ。

パース済み入力

出力には、パース済み形式で入力住所を含めることができます。このようなタイプの出力は、"パース済み入力" と呼ばれます。パース済み入力フィールドには、**ValidateAddress** が住所の妥当性を検証したかどうかにかかわらず、入力として使用される住所データが含まれます。パース済み入力は、住所の妥当性を検証できた場合にパース済み住所要素に妥当性が検証された住所が含まれ、オプションで、住所の妥当性が検証できなかった場合には入力データが含まれるという点で、"パース済み住所要素" 出力と異なります。パース済み入力には、**ValidateAddress** が住所の妥当性を検証したかどうかにかかわらず、常に入力住所が含まれます。

パース済み入力フィールドを出力に含めるには、**[パースした入力データを返す]** チェック ボックスを選択します。

表 66 : パース済み入力

フィールド名	説明
ApartmentLabel.Input	アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St APT 3
ApartmentNumber.Input	アパート番号。例: 123 E Main St APT 3
CanadianDeliveryInstallationAreaName.Input	配達施設名 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallationQualifierName.Input	配達施設の修飾子 (カナダ住所のみ)
CanadianDeliveryInstallationType.Input	配達施設の種類 (カナダ住所のみ)
City.Input	妥当性が確認された都市名

フィールド名	説明
Country.Input	<p>国フォーマットは、[国フォーマット]で選択したものになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO コード • UPU コード • 英語 • フランス語 • ドイツ語 • スペイン語
FirmName.Input	<p>妥当性が確認された企業名</p>
HouseNumber.Input	<p>家番号。例: 123 E Main St Apt 3</p>
LeadingDirectional.Input	<p>接頭方向指示。例: 123 E Main St Apt 3</p>
POBox.Input	<p>私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配送路の私書箱番号がここに表示されます。</p>
PostalCode.Input	<p>妥当性が検証された郵便番号。米国住所に対しては、ZIP Code と呼びます。</p>
PrivateMailbox.Input	<p>私設私書箱のインジケータ</p>
PrivateMailbox.Type.Input	<p>私設私書箱の種別。次のような値があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準 • 非標準
RRHC.Input	<p>地方配送路/幹線請負契約のインジケータ</p>
StateProvince.Input	<p>妥当性が確認された州または省の名前</p>

フィールド名	説明
StreetName.Input	ストリート名。例: 123 E Main St Apt 3
StreetSuffix.Input	ストリート接尾語。例: 123 E Main St Apt 3
TrailingDirectional.Input	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave NW
USUrbanName.Input	USPS® 都市化名

郵便データ出力

[郵便情報を含める] を選択した場合、以下のフィールドが出力として返されます。

表 67 : 郵便データ出力

フィールド名	説明
CanadianSERPCode	検証/修正リターン コード (カナダ住所のみ)。詳細については、 SERP リターンコードの取得 (171ページ) を参照してください。
IntHexaviaCode	ストリートを表す数値コード (フランスの住所の場合のみ)。Hexavia コードの詳細については、 www.laposte.fr を参照してください。
IntINSEECODE	都市を表す数値コード (フランスの住所の場合のみ)。INSEE コードの一覧については、 www.insee.fr を参照してください。
PostalBarCode	配達ポイント バーコードの 2 桁の配達ポイント部分 (米国住所のみ)。詳細については、 配達ポイント バーコードの作成 (141ページ) を参照してください。

フィールド名	説明
USAltAddr	<p>他の住所マッチング ロジックを使用したかどうか、使用した場合はどのロジックを使用したかを表します (米国住所のみ)。次のいずれかです。</p> <p>NULL 他の住所スキームを使用していません。</p> <p>D 別の配達ポイント ロジックを使用しました。</p> <p>E 別の高層マッチ ロジックを使用しました。</p> <p>S 小都市デフォルト ロジックを使用しました。</p> <p>U ユニークな ZIP Code ロジックを使用しました。</p>
USBCCheckDigit	<p>11 桁の配達ポイント バーコードのチェック デジット部分 (米国住所のみ)。詳細については、配達ポイント バーコードの作成 (141ページ) を参照してください。</p>
USCarrierRouteCode	<p>配達ルート コード (米国住所のみ)。詳細については、配達ルート コードの取得 (141ページ) を参照してください。</p>
USCongressionalDistrict	<p>下院選挙区出力 (米国住所のみ)。詳細については、下院選挙区の取得 (139ページ) を参照してください。</p>
USCountyName	<p>郡名出力 (米国住所のみ)。詳細については、郡名の取得 (140ページ) を参照してください。</p>
USFinanceNumber	<p>住所の所在地の Finance Number (米国住所のみ)。Finance Number とは、複数の ZIP Code を含む地域に USPS が割り当てた番号です。住所の Finance Number が米国データベースの候補住所の Finance Number に一致した場合のみ、住所の妥当性確認に成功します。</p>
USFIPSCountyNumber	<p>FIPS (連邦情報処理標準) 郡番号 (米国住所のみ)。詳細については、FIPS 郡番号の取得 (140ページ) を参照してください。</p>

フィールド名	説明
USLACS	<p>住所が、LACS^{Link} 変換の候補であるかどうかを表します (米国住所のみ)。次のいずれかです。</p> <p>Y 住所は LACS^{Link} 処理の候補です。LACS^{Link} が有効である場合、LACS^{Link} データベースを使用して住所を変換しようとします。変換に成功した場合、出力住所は LACS^{Link} データベースから取得した新しい住所になります。変換できなかった場合は、住所は変換されません。</p> <p>N 住所は LACS^{Link} 処理の候補ではありません。ただし、LACS^{Link} 処理が要求され、LACS^{Link} データベースがインストールされており、かつ、次の条件のいずれかが満たされている場合は、LACS^{Link} 処理が行われる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所が地方配送路住所にマッチし、RecordType.Default フィールドで Y が返された場合。 入力住所が、米国郵便データベースのいずれの住所にもマッチしなかった場合 (複数にマッチしたことによる失敗は、LACS^{Link} の候補にはなりません)。
USLastLineNumber	<p>主要都市が同一である複数の ZIP Code を同一グループにまとめる 6 文字の英数字の値。例えば、最終行が次の 2 つのいずれかである住所は、最終行番号が同一になります。</p> <p>Chantilly VA 20151 Chantilly VA 20152</p>

結果インジケータ

結果インジケータは、住所に対して実行した処理の種類に関する情報を提供します。結果インジケータには、次の 2 種類があります。

レコード レベルの結果インジケータ

レコード レベルの結果インジケータは、各レコードに対する ValidateAddress 処理の結果に関するデータを提供します。例えば、マッチングの成功または失敗、住所を処理したコーダーなどの詳細情報を示します。以下の表に、ValidateAddress が返すレコード レベルの結果インジケータの一覧を示します。

表 68 : レコード レベル インジケータ

フィールド名	説明
AddressFormat	返された住所データのタイプ。 F フランス語フォーマット (例: 123 Rue Main) E 英語フォーマット (例: 123 Main St)
Confidence	返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は 0 ~ 100 です。0 は失敗を表し、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。複数のマッチ結果がある場合、確信レベルは 0 です。この数値の計算方法については、 Validate Address 確信アルゴリズムの概要 (289ページ) を参照してください。
CouldNotValidate	マッチしなかった場合の、妥当性が確認できなかった住所コンポーネント。 <ul style="list-style-type: none"> • ApartmentNumber • HouseNumber • StreetName • PostalCode • City • Directional • StreetSuffix • Firm • POBoxNumber • RuralRoute <p>注：複数のコンポーネントがカンマ区切りリストとして返されることがあります。</p>

フィールド名	説明
CountryLevel	<p>利用可能な住所マッチングのカテゴリ。米国およびカナダの住所に対しては、常に「A」です。次のいずれかです。</p> <p>A 住所は非常に詳細な郵便データを利用できる国にあります。このマッチレベルにある住所では、以下の住所要素を検証および修正でき、入力から欠落している場合は追加できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 郵便番号 • 都市名 • 州/郡名 • ストリート住所要素 • 国名 <p>B 住所は中程度の詳細さの郵便データを利用できる国にあります。このマッチレベルにある住所では、以下の住所要素を検証および修正でき、入力から欠落している場合は追加できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 郵便番号 • 都市名 • 州/郡名 • 国名 <p>C 住所は郵便データが詳細ではない国にあります。このマッチレベルにある住所に対して、以下のアクションを実行することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 国名の検証および修正 (欠落している国名を補うことはできません) • 郵便番号のフォーマットの検証 (欠落している郵便番号を補ったり、番号を検証することはできません)

フィールド名

説明

MatchScore

MatchScore は、出力住所がどの程度正しいかを示します。**MatchScore** は、マッチ結果を得るために入力住所をどれだけ変更したかを表す **Confidence** とはまったく異なるものです。**MatchScore** の意味は米国住所と米国以外の住所で異なります。

米国住所に対しては、**MatchScore** は 0～9 の段階に対応する 1 桁のスコアで、ストリート名マッチの近さを反映します (**ValidateAddress** による変換があれば実行後)。0 は完全一致を意味し、9 は最も可能性の低い一致を意味します。マッチしなかった場合、このフィールドは空白です。

米国とカナダ以外の住所では、**MatchScore** は 5 桁のスコアで、最大値は 00999 です。数字が大きいくほど、より近い一致を意味します。

このフィールドは、カナダの住所には適用されません。

米国住所のマッチ スコアと米国以外の住所のマッチ スコアは、同等と見なすことはできないことに注意してください。例えば、米国住所に対するマッチスコア 4 は、米国以外の住所に対する 00004 と同じマッチ レベルを意味するものではありません。

注： **Validate Address** および **Advanced Matching** モジュールのコンポーネントは、どちらも **MatchScore** フィールドを使用します。データフローの出力の **MatchScore** フィールドの値は、出力ステージに送られる前に最後に値を変更したステージによって決まります。データフローに **Validate Address** および **Advanced Matching** モジュールのコンポーネントが含まれ、各ステージの **MatchScore** 出力フィールドを確認したい場合は、**Transformer** ステージを使用して、**MatchScore** 値を他のフィールドにコピーしてください。例えば、**Validate Address** によって **MatchScore** という出力フィールドが作成され、**Transformer** ステージによって **Validate Address** の **MatchScore** フィールドが **AddressMatchScore** というフィールドにコピーされます。マッチャー ステージを実行すると、マッチャーから得た値が **MatchScore** フィールドに設定され、**Validate Address** から得た **AddressMatchScore** の値が引き渡されます。

MultimatchCount

複数のマッチが検出された場合、一致する可能性のあるレコードの数を示します。

フィールド名	説明
MultipleMatches	<p>複数のマッチが検出された場合に、複数のマッチを持つ次の住所コンポーネントを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Firm • LeadingDirectional • PostalCode • StreetName • StreetSuffix • TrailingDirectional • Urbanization <p>注：複数のコンポーネントがカンマ区切りリストとして返されることがあります。</p>
ProcessedBy	<p>住所を処理した住所コーダーです。</p> <p>USA 米国住所コーダー</p> <p>CAN カナダ住所コーダー</p> <p>INT 国際住所コーダー</p>
RecordType	<p>米国およびカナダの郵政当局が定義した住所レコードのタイプ (米国およびカナダの住所のみサポート):</p> <ul style="list-style-type: none"> • FirmRecord • GeneralDelivery • HighRise • PostOfficeBox • RRHighwayContract • Normal
RecordType.Default	<p>"デフォルト" マッチを示すコード</p> <p>Y 住所はデフォルト レコードにマッチしています。</p> <p>NULL 住所はデフォルト レコードにマッチしていません。</p>

フィールド名	説明				
Status	<p>マッチの成功または失敗。複数のマッチがある場合、一致する可能性のあるすべてのものに対してこのフィールドが "F" になります。</p> <table><tbody><tr><td>NULL</td><td>成功</td></tr><tr><td>F</td><td>失敗</td></tr></tbody></table>	NULL	成功	F	失敗
NULL	成功				
F	失敗				
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。複数のマッチがある場合、一致する可能性のあるすべてのものが "MultipleMatchesFound" になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• CMRA Match Failure• DatabaseError• DisabledCoder• EWSFailure• InsufficientInputData• MultipleMatchesFound• ProductViolation• SeedRecordViolation• UnableToDPVConfirm• UnableToValidate				

フィールド名	説明
--------	----

Status	Description
--------	-------------

フィールド名

説明

問題の説明 (ある場合)。

Failed on CMRA Match	Status.Code=CMRA Match Failure の場合にこの値が表示されます。
Database Expired	Status.Code=DatabaseError の場合にこの値が表示されます。
File not Present	Status.Code=DatabaseError の場合にこの値が表示されます。
PerformUSProcessing disabled	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。
PerformCanadianProcessing disabled	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。
PerformInternationalProcessing disabled	Status.Code=DisabledCoder の場合にこの値が表示されます。
Address not found in EWS table	Status.Code=EWSFailure の場合にこの値が表示されます。
Possible Multiple Addresses Found	Status.Code=MultipleMatchesFound の場合にこの値が表示されます。
DPV Seed Record Violation + Address + SeedCode	Status.Code=SeedRecordViolation の場合にこの値が表示されます。
LACS Seed Record Violation + Address + SeedCode	Status.Code=SeedRecordViolation の場合にこの値が表示されます。
Invalid Apt/Suite Number	Status.Code=UnableToDPVConfirm の場合にこの値が表示されます。
Invalid Apt/Suite Number	Status.Code=UnableToDPVConfirm の場合にこの値が表示されます。
Invalid Rural Route Number	Status.Code=UnableToDPVConfirm の場合にこの値が表示されます。
Missing Rural Route Number	Status.Code=UnableToDPVConfirm の場合にこの値が表示されます。
Missing Apt/Suite Number	Status.Code=UnableToDPVConfirm の場合にこの値が表示されます。
Address Not Deliverable	Status.Code=UnableToDPVConfirm の場合にこの値が表示されます。
Unable to Resolve Multiple Condition	Status.Code=UnableToDPVConfirm の場合にこの値が表示されます。

フィールド名	説明
Address Not Found	Status.Code=UnableToValidate の場合にこの値が表示されます。

フィールドレベルの結果インジケータ

フィールドレベルの結果インジケータは、**ValidateAddress**が各住所要素をどのように処理したかを示します。フィールドレベルの結果インジケータは、修飾子 "Result" で返されます。例えば、**HouseNumber** のフィールドレベルの結果インジケータは **HouseNumber.Result** に格納されます。

フィールドレベルの結果インジケータを有効にするには、**[個々のフィールドの結果コードを含める]**チェックボックスをオンにします。詳細については、[出力データオプション](#)（134ページ）を参照してください。

次の表に、フィールドレベルの結果インジケータの一覧を示します。特定のフィールドが住所に適用されない場合、結果インジケータが空白になる場合があります。

表 69 : フィールドレベルの結果インジケータ

フィールド名	説明
AddressRecord.Result	<p>これらの結果コードは国際住所のみに適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。 S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。 U マッチしない。 V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名

説明

ApartmentLabel.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。詳細については、[AdditionalInputData について \(215ページ\)](#) を参照してください。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。米国とカナダの住所のみ。
- R** アパートラベルが必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
- U** マッチしない。カナダの住所には適用されません。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名

説明

ApartmentNumber.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。カナダの住所のみ。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、[AdditionalInputData](#) [について](#) (215ページ) を参照してください。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国EWSにマッチする米国の住所には、Pの値が割り当てられます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- R** アパート番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名

説明

City.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- F** ハイフンの欠落または句読文字エラー。カナダの住所のみ。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。
- R** 都市名が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。
- U** マッチしない。カナダの住所には適用されません。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

Country.Result

これらの結果コードは、米国またはカナダの住所には適用されません。

- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名

説明

FirmName.Result

- C** 修正済み。米国住所にのみ適用されます。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- U** マッチしない。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。米国住所にのみ適用されます。

HouseNumber.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。
- C** 修正済み。カナダの住所のみ。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、[AdditionalInputData](#) について (215ページ) を参照してください。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- O** 範囲外。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。カナダの住所のみ。
- R** 家番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。カナダの住所のみ。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国またはカナダの住所には適用されません。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名

説明

LeadingDirectional.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
 - C** 修正済み。空白のない入力、空白のない値に修正されました。米国住所にのみ適用されます。
 - D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、[AdditionalInputData](#) [について](#) (215ページ) を参照してください。
 - F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
 - M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されません。
 - P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。
 - S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
 - U** マッチしない。
 - V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。カナダの住所には適用されません。
-

フィールド名	説明
POBox.Result	<p>A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。</p> <p>C 修正済み。カナダの住所のみ。</p> <p>D ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、AdditionalInputData について (215ページ) を参照してください。</p> <p>F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>M 複数マッチ。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。</p> <p>R 私書箱番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p>U マッチしない。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>

フィールド名

説明

PostalCode.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。カナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたが、出力に保持されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- R** 郵便番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国またはカナダの住所には適用されません。
- U** マッチしない。例えば、ストリート名と郵便番号が一致しない場合、**StreetName.Result** と **PostalCode.Result** の両方に **U** が割り当てられます。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名	説明
PostalCodeCity.Result	<p>これらの結果コードは国際住所のみに適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。 P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。 S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。 U マッチしない。 V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。
PostalCode.Source	<p>これらの結果コードは米国住所にのみ適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> FinanceNumber 入力の ZIP Code™ は、USPS® Finance Number グループを使って検証されました。 ZIPMOVE 入力住所の ZIP Code™ は、USPS® が改訂した ZIP Code™ 境界に基づいて修正され、住所に別の ZIP Code™ が設定されました。
PostalCode.Type	<ul style="list-style-type: none"> P ZIP Code™ には、PO Box 住所のみが含まれます。米国住所にのみ適用されます。 U ZIP Code™ は、特定の会社または場所に割り当てられたユニークな ZIP Code™ です。米国住所にのみ適用されます。 M ZIP Code™ は、軍施設の住所です。米国住所にのみ適用されます。 NULL ZIP Code™ は、標準 ZIP Code™ です。

フィールド名

説明

RRHC.Result

- C** 修正済み。カナダの住所のみ。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、[AdditionalInputData](#) **について** (215ページ) を参照してください。
- M** 複数マッチ。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。カナダの住所のみ。
- R** 地方配送路/幹線請負契約が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- U** マッチしない。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。米国およびカナダの住所のみをサポートします。

RRHC.Type

これらの結果コードは米国住所にのみ適用されます。

- HC** 住所は、幹線請負契約住所です。
- RR** 住所は、地方配送路住所です。

フィールド名

説明

StateProvince.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国住所にのみ適用されます。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国またはカナダの住所には適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。
- R** アパート ラベルが必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。
- U** マッチしない。カナダの住所には適用されません。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

Street.Result

これらの結果コードは国際住所のみに適用されます。

- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたでしたが、出力に保持されました。
- R** ストリートが修正済みです。家番号が範囲外にあります。フランス、英国、および日本のレコードのみに適用。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名	説明
StreetName.AbbreviatedAlias.Result	<p data-bbox="808 380 1427 443">省略形エイリアス処理の結果を示します。次のいずれかです。</p> <ul data-bbox="808 464 1427 875" style="list-style-type: none"><li data-bbox="808 464 1427 497">NULL 省略形エイリアス処理が実行されませんでした。<li data-bbox="808 518 1427 581">B StreetName フィールドに基本ストリート名が格納されています。<li data-bbox="808 602 1427 707">L 正規化された住所長が 31 文字未満なので、StreetName フィールドに基本名が格納されています。<li data-bbox="808 728 1427 762">N 省略形エイリアスが見つかりませんでした。<li data-bbox="808 783 1427 875">Y 省略形エイリアスが入力住所に見つかりました。StreetName フィールドに省略形エイリアスが格納されています。

フィールド名

説明

StreetName.Alias.Type

この結果コードは米国住所にのみ適用されます。

注：以前のリリースでは、このフィールドは "Alias" と "Type" の間に "." がない StreetName.AliasType という名前でした。この古い名前は廃止されました。新しい名前 StreetName.Alias.Type を使用するよう、プロセスを更新してください。

Abbreviated エイリアスはストリート名の省略形です。例えば、HARTS-NM RD は HARTSVILLE NEW MARLBORO RD の省略形エイリアスです。

Changed ストリート名が正式に変更された場合に、新しい名前を表すエイリアスです。例えば、SHINGLE BROOK RD というストリート名が CANNING DR に変更された場合、CANNING DR が変更済みのエイリアス タイプとなります。

Other このストリート名エイリアスには、ストリートの他の名前や、ストリートの一般的な省略形などがあります。

Preferred ストリート名エイリアスはその地域でよく使用されるエイリアスです。例えば、あるストリートが "South Shore Dr." という名前なのは、湖の南岸を通っているためで、地方自治体の境界線の南にあるからではありません。この場合、"South" は前置方位記号ではないので、"S" と短縮してはいけません。したがって、"South Shore Dr." がよく使用されるエイリアスになります。

フィールド名	説明
StreetName.PreferredAlias.Result	<p data-bbox="795 378 1429 451">よく使用されるエイリアス処理の結果を示します。次のいずれかです。</p> <ul data-bbox="795 462 1429 940" style="list-style-type: none"><li data-bbox="795 462 1429 535">NULL よく使用されるエイリアス処理が実行されませんでした。<li data-bbox="795 546 1429 693">A 入力住所がエイリアスにマッチしたため、よく使用されるエイリアス処理が実行されませんでした。よく使用されるエイリアス処理は、基本住所に対してのみ実行されます。<li data-bbox="795 703 1429 777">N よく使用されるエイリアスが見つかりませんでした。<li data-bbox="795 787 1429 940">Y 入力住所に対してよく使用されるエイリアスが見つかりました。StreetName フィールドによく使用されるエイリアスが格納されています。

フィールド名

説明

StreetName.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。
 - C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
 - D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国住所にのみ適用されます。詳細については、[AdditionalInputData について \(215ページ\)](#) を参照してください。
 - F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
 - M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されません。
 - P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国とカナダの住所のみ。
 - S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
 - U** マッチしない。
 - V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。
-

フィールド名

説明

StreetSuffix.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。詳細については、[AdditionalInputData について](#) (215ページ) を参照してください。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
- U** マッチしない。米国住所には適用されません。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名

説明

TrailingDirectional.Result

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- C** 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
- D** ドロップ済み入力に与えられたフィールドが削除されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。詳細については、[AdditionalInputData について](#) (215ページ) を参照してください。
- F** 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されません。
- P** パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでしたが、出力に保持されました。カナダの住所のみ。
- S** 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
- U** マッチしない。カナダの住所には適用されません。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

USUrbanName.Result

これらの結果コードは米国住所にのみ適用されます。

- A** 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。
- C** 修正済み。
- M** 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。
- U** マッチしない。
- V** 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

オプションによる出力

ValidateAddress は、選択したオプションに応じて、追加のデータを返します。各オプションによって生成される出力については、以下のセクションのオプションの一覧を参照してください。

Enhanced Line of Travel 出力

Enhanced Line of Travel 処理では、以下の出力を生成します。

フィールド名	説明
USLOTCode	<p>Line of Travel の順序コードと、USPS® LOT 順序を表すインジケータ。このフィールドは、"nnnnY" という形式で、以下の要素で構成されます。</p> <p>nnnn 4桁の LOT コード。</p> <p>Y 次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • A — 昇順の LOT 順序 • D — 降順の LOT 順序
USLOTHex	<p>昇順でのみファイルのソートが可能な 16 進値です。16 進値の範囲は、昇順で 0 ~ FF に続き、降順で FF ~ 0 です。</p>
USLOTSequence	<p>アドオンの DPC の代わりに最終仕分けに使用される 2 バイトの値。大文字 1 文字の後に 0 ~ 9 の数字が 1 つ続きます。値の範囲は、A0 (99 降順) ~ J9 (00 降順)、および K0 (00 昇順) ~ T9 (99 昇順) です。</p>

LACS^{Link} 出力

フィールド名	説明
USLACS	<p>住所が、LACS^{Link} 変換の候補であるかどうかを表します (米国住所のみ)。次のいずれかです。</p> <p>Y 住所は LACS^{Link} 処理の候補です。LACS^{Link} が有効である場合は、Validate Address は、LACS^{Link} データベースを使用して住所を変換します。変換に成功した場合、出力住所は LACS^{Link} データベースから取得した新しい住所になります。変換できなかった場合は、住所は変換されません。</p> <p>N 住所は LACS^{Link} 処理の候補ではありません。ただし、LACS^{Link} 処理が要求され、LACS^{Link} データベースがインストールされており、かつ、次の条件のいずれかが満たされている場合は、LACS^{Link} 処理が行われる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所が地方配送路住所にマッチし、RecordType.Default フィールドで Y が返された場合。 入力住所が、米国郵便データベースのいずれの住所にもマッチしなかった場合 (複数にマッチしたことによる失敗は、LACS^{Link} の候補にはなりません)。
USLACS.ReturnCode	<p>LACS^{Link} 処理の成功または失敗を表します(米国住所のみ)。</p> <p>A LACS^{Link} 処理は成功しました。LACS^{Link} 処理によってレコードがマッチしました。</p> <p>00 LACS^{Link} 処理は失敗しました。LACS^{Link} 処理において、マッチするレコードは見つかりませんでした。</p> <p>09 LACS^{Link} 処理において、入力住所は、古い高層のデフォルト住所にマッチしました。住所は変換されています。不明確な住所の提供を避け、LACS^{Link} 処理では、新しい住所を提供しません。</p> <p>14 LACS^{Link} 処理は失敗しました。LACS^{Link} 処理において、マッチする結果が検出されましたが、他の USPS[®] の規則に基づき、変換は行われませんでした。</p> <p>92 LACS^{Link} 処理は成功しました。LACS^{Link} 処理によってレコードがマッチしました。入力のユニット番号はドロップされました。</p> <p>NULL LACS^{Link} はレコードを処理しなかったか、または LACS^{Link} 処理が実行されませんでした。</p>

RDI 出力

フィールド名	説明
RDI	住所の種類を表す値を返します。 B 住所は、企業住所です。 R 住所は、個人住所です。 M 住所は、個人住所であるとともに企業住所でもあります。 NULL 住所が ZIP + 4 [®] レベルでコード化されなかったか、または RDI™ が実行されなかったため、確認されていません。

DPV および CMRA 出力

フィールド名	説明
DPV	<p data-bbox="552 462 1425 504">Delivery Point Validation (DPV) 処理の結果を表します。</p> <p data-bbox="552 514 1425 556">Y DPV の確認済みです。この住所に郵便物を配達できます。</p> <p data-bbox="552 567 1425 609">N この住所に郵便物を配達できません。</p> <p data-bbox="552 619 1425 766">S 建物番号の妥当性は確認できましたが、ユニット番号は確認できませんでした。建物番号は、建物の主要な住所番号です。ユニット番号は、建物内のアパート、スイート、階など、各ユニットの郵便住所番号です。例えば、以下の住所の場合、424 は建物番号、12 はユニット番号です。</p> <p data-bbox="617 777 941 871">424 Washington Blvd.Apt.12 Oak Park IL 60302 USA</p> <p data-bbox="552 903 1425 1050">D 建物番号の妥当性は確認できましたが、ユニット番号は入力から欠落していました。建物番号は、建物の主要な住所番号です。ユニット番号は、建物内のアパート、スイート、階など、各ユニットの郵便住所番号です。例えば、以下の住所の場合、424 は建物番号、12 はユニット番号です。</p> <p data-bbox="617 1060 941 1155">424 Washington Blvd.Apt.12 Oak Park IL 60302 USA</p> <p data-bbox="552 1186 1425 1228">M 住所は複数の有効な配達ポイントにマッチします。</p> <p data-bbox="552 1239 1425 1312">U 住所は、ZIP + 4[®] レベルでコード化されなかったため、確認できませんでした。</p> <p data-bbox="552 1323 1425 1365">V 住所は、誤検出違反を起こしました。</p>
CMRA	<p data-bbox="552 1438 1425 1512">住所が Commercial Mail Receiving Agency (CMRA: 民間私書箱) であることを表します。</p> <p data-bbox="552 1522 1425 1564">Y 住所は CMRA です。</p> <p data-bbox="552 1575 1425 1617">N 住所は CMRA ではありません。</p> <p data-bbox="552 1627 1425 1669">U 確認できません。</p>

フィールド名	説明
DPVFootnote	<p>DPV 補足コード。</p> <p>AA 入力住所は、ZIP + 4[®] ファイルにマッチしました。</p> <p>A1 入力住所は、ZIP + 4[®] ファイルにマッチしませんでした。</p> <p>BB 入力住所は、DPV にマッチしました (すべてのコンポーネント)。</p> <p>CC 入力住所の主要な番号は DPV にマッチしましたが、補助的な番号はマッチしませんでした (存在しましたが有効ではありませんでした)。</p> <p>F1 入力住所は軍関係の住所。DPV は省かれます。</p> <p>G1 入力住所は一般的な配達住所。DPV は省かれます。</p> <p>M1 入力住所の主要な番号が欠落しています。</p> <p>M3 入力住所の主要な番号が無効です。</p> <p>N1 入力住所の主要な番号は DPV にマッチしましたが、高層住所に補助的な番号が欠落しています。</p> <p>P1 入力住所に、RR または HC Box 番号がありません。</p> <p>P3 入力住所に、PO、RR、または HC Box 番号がありません。</p> <p>RR 入力住所は、CMRA にマッチしました。</p> <p>R1 入力住所は CMRA にマッチしましたが、補助的な番号が存在しません。</p> <p>U1 入力住所はユニーク ZIP。DPV は省かれます。</p>
DPVVacant	<p>建物が空家 (90 日間使用されていない)かどうかを表します。次のいずれかです。</p> <p>Y 建物は空家です。</p> <p>N 建物は空家ではありません。</p> <p>NULL [住所が空家であるかを調べる]オプションが選択されていません。</p>
DPVNoStat	<p>建物が、郵便物を受け取ることのできない "no stat" の建物であるかどうかを表します。次のいずれかです。</p> <p>Y 建物は、郵便物を受け取ることのできない "no stat" の建物です。</p> <p>N 建物は、郵便物を受け取ることのできない "no stat" の建物ではありません。</p> <p>NULL [配達ポイントが郵便物受領可能かどうかを調べる]オプションが選択されていません。</p>

Suite^{Link} 出力

フィールド名	説明
SuiteLinkReturnCode	<p>ValidateAddress が、補助的な住所情報を修正したかどうかを表します (米国住所のみ)。次のいずれかです。</p> <p>A Validate Address は、補助的な住所情報を修正しました。</p> <p>00 Validate Address は、補助的な住所情報を修正しませんでした。</p> <p>NULL Suite^{Link} は実行されませんでした。</p> <p>XX Suite^{Link} 処理においてエラーが発生しました。例えば、Suite^{Link} データベースの有効期限が切れている場合にエラーが発生します。</p>
SuiteLinkMatchCode	<p>Suite^{Link} のマッチング処理に関する追加情報を提供します(米国mail stop (郵便物集配所)(米国住所のみ))</p> <p>A Validate Address は、補助的な住所情報を修正しました。</p> <p>B Validate Address は、補助的な住所情報を修正しませんでした。マッチング処理に関するその他の詳細情報はありません。</p> <p>C FirmName フィールドの語はすべて、「ノイズ」語です。ノイズ語は、USPS[®] によって定義されており、企業名のマッチングの際には無視されます。ノイズ語の例としては、"company" や "corporation" があります。Validate Address は、ノイズ語のみで構成される企業名に対し、補助的な住所情報を修正できません。例えば、"Company and Corporation" という表記は、ノイズ語のみで構成されています。</p> <p>D 住所は、高層のデフォルト住所ではありません。Suite^{Link} マッチングは、高層のデフォルト住所に対してのみ行われます。高層デフォルトとは、住所に有効な補助的な情報が含まれていない (アパート番号やアパート種別が欠落している) 場合に使用されるデフォルトです。</p> <p>E Suite^{Link} データベースの有効期限が切れているため、Suite^{Link} 処理は失敗しました。</p> <p>NULL Suite^{Link} は実行されなかったか、エラーが発生しました。</p>

フィールド名	説明
SuiteLinkFidelity	<p>Validate Address における、Suite^{Link} データベースの企業名に対するマッチング精度を表します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 企業名は、Suite^{Link} データベースに完全に一致しました。 2 精度の高いマッチです。企業名に含まれる語が、1 語を除いてすべて Suite^{Link} データベースの企業名に一致しました。 3 精度の低いマッチです。企業名の中の複数の語が、Suite^{Link} データベースの企業名に一致しませんでした。 <p>NULL Suite^{Link} が企業名のマッチングに失敗したか、実行されなかったか、またはエラーが発生しました。</p>

VeriMove 出力

フィールド名	説明
VeriMoveDataBlock	<p>Validate Address が、VeriMove Express に渡される入力データを含む 250 バイトのフィールドを返すかどうかを示します。このフィールドには、VeriMove で必要とされる詳細結果インジケータ データが含まれます。このフィールドの内容については、VeriMove のユーザー ガイドを参照してください。次のいずれかです。</p> <p>Y フィールド VeriMoveDataBlock を返します。</p> <p>N フィールド VeriMoveDataBlock を返しません。</p>

AdditionalInputData について

ValidateAddress は、住所正規化プロセスにおいて、一部の入力データを無視します。この余分なデータ ("ドロップ データ" と呼ばれることもあります) は、AdditionalInputData フィールドに返されます。ドロップ データの例としては、次のものがあります。

- 配達指示 ("勝手口に置いてください" など)
- 電話番号 ("555-135-8792" など)
- 注意書き ("Attn: John Smith" など)

このようなデータは通常、住所に混在していることはありません。混在している場合、ValidateAddress はほとんどの場合にこの余分なデータを認識することができ、AdditionalInputData フィールドに返します。

注: `ValidateAddress` は、`split indicia` 住所からのドロップデータを返しません。`split indicia` 住所とは、主要な住所が複数の住所行に分割されている住所のことです。例えば、主要な住所が "1 Green River Valley Rd" である場合、次のようになります。

1 Green River
Valley Rd
01230

住所に複数のドロップ データがある場合、各データは、米国住所の場合はセミコロンと空白 ("; ")、米国外の住所の場合は空白で区切られます。`AdditionalInputData` におけるドロップ データの順序は、次のようになります。

1. care of (気付)、mail stop (郵便物集配所)(米国住所のみ)
2. 住所行に検出されたその他の余分なデータ
3. まったく未使用のデータ行

例えば、入力住所が次のとおりであるとします。

123 Main St C/O John Smith
Apt 5 Drop at back dock
jsmith@example.com
555-123-4567
05674

この場合、`AdditionalInputData` には次のデータが含まれます。

C/O John Smith; Apt 5 Drop At Back Dock; 555-123-4567; Jsmith@g1.Com; 555-123-4567

`ValidateAddress` では、以下の種類の余分なデータを処理できます。

Care Of (気付) データ

米国住所に対しては、"care of" データが `AdditionalInputData` に返されます。以下の住所には、"care of" データの例が含まれています。

123 Main St C/O John Smith
Apt 5
05674

123 Main St
Apt 5 ATTN John Smith
05674

123 Main St Apt 5
MailStop 2
05674

独立した住所行に存在する余分なデータ

`ValidateAddress` は、米国およびカナダの住所に対し、独立した住所行に余分なデータを返します。

米国住所に対しては、住所行の空白でない最初の 2 行を使用して、住所の正規化を行います。ただし、企業名抽出または都市化コード抽出のオプションが有効である場合を除きます (詳細については、「[米国住所の住所行処理 \(134ページ\)](#)」を参照してください)。他の住所行に存在するデータは、`AdditionalInputData` に返されます。以下の住所において、"John Smith" は `AdditionalInputData` に返されます。"John Smith" は空白でない 3 つめの住所行に存在しており、`ValidateAddress` は米国住所に対して、空白でない最初の 2 つの住所行のみを使用するためです。

```
123 Main St  
Apt 5  
John Smith  
05674
```

空白でない最初の 2 つの住所行に余分なデータが含まれる場合、そのデータは `AdditionalInputData` に返されます。例えば、以下の住所において、"John Smith" は `AdditionalAddressData` に返されません。

```
123 Main St  
John Smith  
05674
```

```
John Smith  
123 Main St  
05674
```

以下の住所では、"John Smith" と "Apt 5" の両方が `AdditionalAddressData` に返されます。"John Smith" が返されるのは、これが、最初の 2 つの住所行の 1 つに存在する余分なデータであるためです。"Apt 5" が返されるのは、米国住所データは、空白でない最初の 2 行に記載しなければならないためです。

```
John Smith  
123 Main St  
Apt 5  
05674
```

住所行に混在する余分なデータ

住所行に混在する余分なデータは、`AdditionalInputData` に返されます。例えば、以下の住所において、"John Smith" は `AdditionalInputData` に返されます。

```
123 Main St John Smith  
05674
```

```
123 Main St Apt 5 John Smith  
05674
```

123 Main St John Smith
Apt 5
05674

123 Main St
Apt 5 John Smith
05674

米国住所に対しては、住所行の末尾に存在する余分なデータのみが **AdditionalInputData** に返されます。米国住所において、住所行の末尾以外に存在する余分なデータは返されません。例えば、以下の住所において、"John Smith" は返されません。

John Smith 123 Main St
05674

123 Main John Smith St
05674

マッチさせるためにストリート名が変更され、ストリート名または接尾語が行の末尾にあった場合は、**AdditionalInputData** フィールドには、元のストリート名や接尾語が含まれることがあります。例えば、次の住所があるとします。

Pitney Bowes
4200 Parliament
Lanham MD

ValidateAddress は、ストリート名の綴りを修正し、接尾語を追加して、修正済みのストリーットの住所として "4200 Parliament Pl" を返し、"Parliament" を **AdditionalInputData** に返します。

二重住所

二重住所とは、ストリート情報と、PO Box/地方配送路/幹線請負契約情報の両方を含む住所のことです。選択した処理オプションに応じて、住所の正規化に使用されない二重住所の一部が、**AdditionalInputData** に返される場合があります。詳細については、[二重住所ロジックについて](#) (146ページ) を参照してください。

レポート

USPS CASS 3553 レポート

USPS から値引きを受けるには、USPS CASS 3553 レポートを郵便物と一緒に渡す必要があります。レポートには CASS 処理に使用したソフトウェアに関する情報、名前と住所のリストに関する情報、出力ファイルに関する情報、差出人に関する情報、およびその他の郵便物に関する統計が含まれます。USPS Form 3553 の詳細については、www.usps.com を参照してください。

CASS 設定の詳細については、[CASS 認定処理](#) (160ページ) を参照してください。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology Platform Dataflow Designer* ガイド』を参照してください。

USPS CASS 詳細レポート

USPS CASS 詳細レポートは、何かの値引きを受けるための条件として必ずしも USPS に提出する必要はありません。このレポートに含まれる情報の一部は 3553 レポートと同じものですが、DPV、LACS、および SuiteLink に関する大幅に詳しい統計情報が含まれます。

CASS 設定の詳細については、**CASS 認定処理** (160ページ) を参照してください。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology PlatformDataflow Designer ガイド*』を参照してください。

Validate Address サマリ レポート

Validate Address サマリ レポートには、処理されたレコードの合計数や、検証された住所の数など、ジョブに関する統計が一覧表示されます。

レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology PlatformDataflow Designer ガイド*』を参照してください。

Validate Address AUS

ValidateAddressAUS は、オーストラリア郵便公社の住所データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。また、郵便番号、都市名、州/準州名など、欠落している郵便情報を追加します。

ValidateAddressAUS は、ValidateAddressAUS が住所の妥当性を確認したかどうかや、住所の妥当性が確認できなかった場合はその理由など、バリデーション処理に関する結果インジケータも返します。

ValidateAddressAUS は、住所のマッチングと正規化において、住所行をコンポーネントに分割し、それらを Universal Addressing モジュールのデータベースの内容と比較します。マッチを検出した場合、入力住所をデータベース情報に合わせて正規化します。

Validate Address AUS は、Universal Addressing モジュールに含まれています。

入力

ValidateAddressAUS は、入力として標準住所を受け取ります。すべての住所がこのフォーマットを使用します。

表 70 : 入力フォーマット

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列 [288]	最初の住所行。
AddressLine2	文字列 [288]	2 行目の住所行。
AddressLine3	文字列 [288]	3 行目の住所行。
AddressLine4	文字列 [288]	4 行目の住所行。
City	文字列 [48]	都市/地方/郊外の名前。これは、省や郵便番号とともに、AddressLine フィールドのいずれかにオプションで入力できます。
StateProvince	文字列 [4]	州。これは、都市や郵便番号とともに、AddressLine フィールドのいずれかにオプションで入力できます。
PostalCode	文字列 [8]	郵便番号。これは、州や都市とともに、AddressLine フィールドのいずれかにオプションで入力できます。

オプション

ValidateAddressAUS には、住所の処理方法と返す情報のタイプを制御するオプションがいくつかあります。

表 71 : オプション

オプション	説明
データベース	国際住所処理に使用するデータベースを指定します。指定できるのは、 Management Console の [Australia Database リソース] パネルで定義されたデータベースに限られます。
個々のフィールドの結果コードを含める	特定の出力要素に関連付けられている結果フィールドを出力します。 結果コード (223ページ) を参照してください。
元の入力データを含める	元の入力データを返します。 元の入力データ (225ページ) を参照してください。
パース済み住所要素を含める	パース済み住所要素を返します。 パース済み住所要素 (224ページ) を参照してください。
AMAS 表記を使用してデータをフォーマット	<p>Address Matching Approval System (AMAS) 表記を使用して出力住所データをフォーマットすることを指定します。</p> <p>このオプションを使用すると、Validate Address AUS は、住所を正規化するときに AMAS ルールを使用するようになります。AMAS は、オーストラリア郵政公社が定める、住所規格を徹底するためのプログラムです。AMAS 書式設定表記の詳細については、『Address Matching Approval System (AMAS) Handbook』を参照してください。</p> <p>このオプションを使用すると、出力データは次のように変更されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数値フィールドにはゼロが付加されます。この影響を受けるのは、HouseNumber、HouseNumber2、PostalDeliveryNumber、および DPID の各出力フィールドです。例えば、入力フィールドが 298 New South Head Rd Double Bay NSW 2028 の場合、HouseNumber フィールドの形式は 298 から 00298 に変更されます。 • 一致しない場合、DPID フィールドの桁はすべてゼロになります。例えば、00000000 などです。 • 一致しない場合、すべてゼロを含む数値フィールドを除き、すべてのリターンフィールド (パース済み住所要素) が空白になります。 • CCD フィールドは出力されません。

出力

最小限、Validate Address AUS の出力は、[標準出力フィールド](#) (222ページ) に示す標準出力フィールドで構成されます。これらの標準フィールドに加えて、出力には、選択した出力オプションに応じて他の情報も含まれることがあります。オプションの出力フィールドの詳細については、[結果コード](#) (223ページ)、[パース済み住所要素](#) (224ページ)、および[元の入力データ](#) (225ページ) を参照してください。

標準出力フィールド

次の表に、ValidateAddressAUS が出力する標準フィールドを示します。

表 72 : 出力フィールド

フィールド名	説明
AddressLine1	フォーマット済みの住所行。
BuildingName	建物名。
City	都市/地方/郊外の名前 1。
City2	都市/地方/郊外の名前 2 - 分割された名前 (VIA など)。
StateProvince	州。
PostalCode	郵便番号。
CCD	Census 収集区。Census データのコレクション、処理、および出力用の地理的な基本単位。一般的に、CCD あたり約 200 ~ 250 の世帯と、オーストラリア全体で約 37,000 の CCD があります。
DPID	配達ポイント識別子。ストリート住所などの郵便物配達ポイントを一意に識別する 8 桁の数字。オーストラリア郵政公社郵便住所ファイルに規定されています。

フィールド名	説明
Status	<p>マッチング試行の成功または失敗。</p> <p>F 失敗 (DPID または CCD が見つからない)</p> <p>NULL 成功</p>
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。</p> <ul style="list-style-type: none"> • UnableToValidate • InsufficientInputData
Status.Description	<p>問題の説明 (ある場合)。</p>
AMAS.ResultCode	<p>基本エンジンが返す結果コード。</p>
AMAS.ResultMessage	<p>基本エンジンが返す任意の結果メッセージ。</p>

結果コード

このオプションは、各結果フィールドの結果コードのほか (該当する場合)、特定の出力要素に関連付けられた結果フィールドを出力します。結果フィールドに付属の結果コードが含まれていない場合は、次のいずれかを示していると考えられます。

- パース済み要素に対して変更は行われていない。
- パース済み要素が正規化された (例えば、'Street' が 'ST' に変更された)。
- 対応するパース済み住所要素に対してデータはパースされていない。

表 73 : 結果コード

フィールド名	結果コード
City.Result	C 修正済み
HouseNumber.Result	U マッチしない、欠落、あいまい

フィールド名	結果コード	
PostalCode.Result	C	修正済み
PostalDelivery.Result	C	修正済み
	D	ドロップ済み
	U	マッチしない
StateProvince.Result	C	修正済み
StreetName.Result	C	修正済み
	U	マッチしない、欠落、あいまい
StreetSuffix.Result	C	修正済み

パース済み住所要素

このオプションは、パース済み住所要素を出力します。

表 74 : パース済み住所要素

フィールド名	説明
ApartmentLabel	フラットまたはユニット タイプ (STE や APT など)。例: 123 E Main St Apt 3
ApartmentNumber	フラットまたはユニット 番号。例: 123 E Main St Apt 3
FloorLabel	フロアレベル タイプ。例: 123 E Main St Apt 3, 4th Floor
FloorNumber	フロアレベル 番号。例: 123 E Main St Apt 3, 4th Floor

フィールド名	説明
LotNumber	敷地番号。例: Lot 7 Caldwell Hwy
PostalDeliveryLabel	郵便配達タイプ。例: PO Box 42
PostalDeliveryNumber	郵便配達番号。例: PO Box 42
PostalDeliveryPrefix	郵便配達番号接頭語。例: PO Box A42
PostalDeliverySuffix	郵便配達番号接尾語。例: PO Box 42B
HouseNumber	家番号 1。例: 298A-1B New South Head Rd
HouseSuffix	家番号 1 接尾語。例: 298A-1B New South Head Rd
HouseNumber2	家番号 2。例: 298A-1B New South Head Rd
HouseSuffix2	家番号 2 接尾語。例: 298A-1B New South Head Rd
StreetName	建物が存在するストリートの名前。例: 123 E Main St Apt 3
StreetSuffix	ストリート接尾語。例: 123 E Main St Apt 3
TrailingDirectional	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave NW

元の入力データ

このオプションは、元の入力データを <フィールド名>.Input フィールドに出力します。

表 75 : 入力データ

フィールド名	説明
AddressLine1.Input	入力に渡される 1 番目の住所行。
AddressLine2.Input	入力に渡される 2 番目の住所行。
AddressLine3.Input	入力に渡される 3 番目の住所行。
AddressLine4.Input	入力に渡される 4 番目の住所行。
City.Input	入力に渡される都市/地方/郊外の名前。
StateProvince.Input	入力に渡される州。
PostalCode.Input	入力に渡される郵便番号。

Validate Address Global

Validate Address Global は、米国およびカナダ以外の住所のパフォーマンスのみを制御します。Validate Address Global は、米国およびカナダの住所の妥当性も確認できますが、その他の国の住所の妥当性を確認する能力に優れています。米国およびカナダ以外の住所を大量に処理する場合は、Validate Address Global の使用を検討してください。

Validate Address Global は Universal Addressing モジュールの一部です。

ValidateAddressGlobal は、書き直し、パーシング、バリデーション、書式設定など、いくつかの手順を実行して、住所の品質を高めています。

文字セットのマッピングと書き直し

ValidateAddressGlobal は他国の文字列と、それらの複雑な問題を処理します。Unicode に完全対応の文字列処理を使用するため、アルファベット以外の文字をラテン文字セットに書き直したり、異なる文字セット間でマッピングしたりできます。

文字セットのマッピング、および書き直しについて、以下の機能があります。

- UTF-8、ISO 8859-1、GBK、BIG5、JIS、EBCDIC など、30 以上の文字セットをサポート
- 言語のルールに従って、付加記号を正しく "除去"
- さまざまなアルファベットをラテン スクリプトに書き直し
- ギリシャ文字 (BGN/PCGN 1962、ISO 843 - 1997)
- キリル文字 (BGN/PCGN 1947、ISO 9 - 1995)
- ヘブライ語
- 日本語の片仮名、平仮名、漢字
- 中国語のピンイン (標準中国語、 広東語)
- 韓国語のハングル文字

住所のパーシング、書式設定、および正規化

住所データのフィールド入力の誤りを再構成することは、特に他国の住所で行う場合、複雑で難しい作業です。住所データをコンピュータのシステムに入力する際、曖昧になってしまう部分が多いからです。特に問題なのが、(企業や個人名をストリークの住所フィールドに入力するなど) 要素を誤ったフィールドに入力したり、省略形を使用する場合に、言語固有だけでなく、国固有の省略形に変えてしまうケースです。ValidateAddressGlobal は住所行の住所要素を識別し、正しいフィールドに割り当てます。これは実際の検証前に行う重要な作業です。再構成を行わなければ、"一致が見つからない" という結果になる可能性があります。

住所要素の正しい識別は、特定のフィールド長要件に合わせて住所を切り捨てたり、短縮しなければならない場合にも重要です。正しい情報が正しいフィールドに割り当てられていれば、特定の切り捨てルールを適用することができます。

- 住所行をパースおよび解析し、個々の住所要素を識別
- 30 を越える文字セットを処理
- 宛先国の郵便ルールに従って住所の書式を整える
- 住所要素を正規化 (AVENUE を AVE に変更するなど)

Global Address 検証

住所の検証は、正しくパースされた住所データを郵便組織または他のデータ プロバイダが提供する参照データベースと比較する訂正処理です。ValidateAddressGlobal は、洗練されたファジー マッチング テクノロジーを使用して個々の住所要素を検証し、正しいことを確認するとともに、郵便規格とユーザの優先設定に基づいて出力を正規化および書式設定します。FastCompletion 検証タイプは、簡易住所入力アプリケーションに使用できます。いくつかの住所フィールドには切り捨てられたデータを入力することができ、この入力に基づいて提案を生成します。

住所を完全に検証できない場合もあります。ValidateAddressGlobal には、配達可能性によって住所を分類する、ユニークな配達可能性評価機能があります。

入力

ValidateAddressGlobal は、入力として標準住所を受け取ります。どの国の住所であるかにかかわらず、すべての住所がこのフォーマットを使用します。

表 76 : ValidateAddress Global の入力

フィールド名	書式	説明
AddressLine1 から AddressLine6	文字列	<p>これらのフィールドには住所行データが格納されます。AddressLine1 には最初の住所行、AddressLine2 には 2 行目の住所行が格納されます。以降もこれと同様になります。都市、州/省、および郵便番号情報は、住所行フィールドではなく、それぞれのフィールドに配置する必要があります。例:</p> <p>AddressLine1: 17413 Blodgett Road AddressLine2: PO Box 123 City: Mount Vernon StateProvince: WA PostalCode: 97273 Country: USA</p> <p>入力住所が適切な住所行および City、StateProvince、PostalCode フィールドにまだパースされていない場合は、住所行フィールドの代わりに UnformattedLine フィールドを使用してください。</p>
City	文字列	都市名
StateProvince	文字列	州または省。
PostalCode	文字列	<p>住所の郵便番号。米国では、ZIP Code®になります。</p> <p>99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999</p>
Contact	文字列	受取人の名前。例えば、"Mr.Jones"。

フィールド名	書式	説明
Country	文字列	国名。[強制国 (ISO3 形式)] または [デフォルト国 (ISO3 形式)] オプションに値が指定されていない場合、国を指定する必要があります。
FirmName	文字列	会社名または企業名。
Street	文字列	ストリート
Number	Building [79]	番号
Building	文字列	建物
SubBuilding	文字列	従属する建物
DeliveryService	文字列	配送サービス

フィールド名	書式	説明
UnformattedLine1 から UnformattedLine10	文字列	<p>入力住所が完全にパースされていない場合、かつ <code>ValidateAddressGlobal</code> によって住所を適切なフィールドにパースしたい場合は、このフィールドを使用してください。例:</p> <p>UnformattedLine1: 17413 Blodgett Road UnformattedLine2: PO Box 123 UnformattedLine3: Mount Vernon WA 97273 UnformattedLine4: USA</p> <p>この住所は、以下の出力フィールドにパーシングされます。</p> <p>AddressLine1: 17413 Blodgett Road AddressLine2: PO Box 123 City: Mount Vernon StateProvince: WA PostalCode: 97273 Country: USA</p> <p>注：フォーマットされていない行フィールドへの入力を指定した場合は、住所全体をフォーマットされていない行フィールドだけを使用して指定する必要があります。City や StateProvince など、その他のフィールドを、フォーマットされていない行フィールドと合わせて使用することはできません。</p>

オプション

入力オプション

表 77 : `Validate Address Global` の入力オプション

オプション	説明/有効値
データベース	住所検証で使用する郵便データを含むデータベース リソースを指定します。指定できるのは、Management Console の [グローバル データベース リソース] パネルで定義されたデータベースに限られます。詳細については、『 <i>Spectrum™ Technology Platform 管理ガイド</i> 』を参照してください。

オプション

説明/有効値

デフォルト国 (ISO3 フォーマット) 入力レコードに明示的な国情報が含まれない場合に使用するデフォルト国を指定します。指定する際、ISO3 の国コードを使用してください。デフォルト国を指定しない場合、各入力レコードの Country 入力フィールドに国を指定する必要があります。ISO コードの一覧は、「[ISO 国コードとモジュール サポート](#)」を参照してください。

強制国 (ISO3 フォーマット) 住所レコードが、常にここで指定された国から発送されたものとして扱われるようになります。住所レコードの国やデフォルト国は上書きされます。指定する際、ISO3 の国コードを使用してください。ISO コードの一覧は、[ISO 国コードとモジュール サポート](#)を参照してください。

書式区切り記号 入力ファイルで複数行の住所に標準以外の書式設定を使用できます。このフィールドで指定できる値を次に示します。

- CRLF (デフォルト)
- LF
- CR
- SEMICOLON (2101 MASSACHUSETTS AVE NW ; WASHINGTON DC 20008)
- COMMA (2101 MASSACHUSETTS AVE NW , WASHINGTON DC 20008)
- TAB (2101 MASSACHUSETTS AVE NW WASHINGTON DC 20008)
- PIPE (2101 MASSACHUSETTS AVE NW | WASHINGTON DC 20008)
- SPACE (2101 MASSACHUSETTS AVE NW WASHINGTON DC 20008)

注：入力オプションと出力オプションの両方に同じ値を選択する必要があります。

出力オプション

表 78 : ValidateAddress Global の出力オプション

オプション

説明

返される結果の最大数

このオプションには、返される候補住所の最大数を指定します。このフィールドは、バッチ処理には無効です。それ以外の処理モードの場合、デフォルト値は1、最大値は99です。FastCompletion モードを使用している場合は、1 よりも大きい数を入力して、フィールド入力のための選択肢が複数返されるようにすると良いでしょう。

オプション

説明

入力データを結果とともに返す 出力の中に、入力データを含めるかどうかを指定します。有効にすると、`.Input` で終わるフィールド (対応する入力フィールドを含む) が出力に含まれます。例えば、出力フィールドの `AddressLine1.Input` に、入力フィールドの `AddressLine1` に指定したデータが含まれます。

州/省 `StateProvince` フィールドのフォーマットを指定します。次のいずれかを選択します。

略語 州または省の省略形を返します。例えば、`North Carolina` であれば `"NC"` が返ります。

国標準 その国の郵便当局で使用されるフォーマットに応じて、省略形または完全な名前が返ります (デフォルト)。

拡張 州または省の (省略形ではなく) 完全な名前が返ります (例えば、`"North Carolina"` など)。

国フォーマット

`ValidateAddressGlobal` から返される国名で使用する言語またはコードを指定します。

- 中国語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語 (デフォルト)
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ギリシャ文字
- ハンガリー語
- ISO 番号 (国の ISO 番号を返します)
- ISO2 (2 文字の ISO 国コードを返します)
- ISO3 (3 文字の ISO 国コードを返します)
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ポーランド語
- ポルトガル語
- ロシア語
- サンスクリット語
- スペイン語
- スウェーデン語

オプション

説明

スクリプト/アルファベット

出力がどのアルファベットで返されるかを指定します。データがどのアルファベットで返されるかは、国によって異なります。言語の設定で何を選択したかに関わらず、ほとんどの国で出力は **Latin I** になります。

ASCII 拡張	特殊文字 (Ã = OE など) で拡張された ASCII 文字
ASCII 簡易	ASCII 文字
データベース	(デフォルト) Latin I または ASCII 文字 (参照データベースの標準による)
ラテン文字	Latin I 文字
Latin alternate	Latin I 文字 (代替の書き直し)
Postal admin alternate	Latin I または ASCII 文字 (現地郵便局の代替)
Postal admin preferred	Latin I または ASCII 文字 (現地郵便局の選択による)

Latin I 以外のアルファベットを使用する国の場合、返されるアルファベットは国によって異なります。詳細については、[Latin I 以外のアルファベットを使用する国](#) (234ページ) を参照してください。

言語

出力がどの言語で返されるかを指定します。データがどのアルファベットで返されるかは、国によって異なりますが、ほとんどの国で、言語の設定に何を選択したかに関わらず、出力は **Latin I** になります。

データベース	各住所の参照データから得られた言語で返されます。こちらがデフォルトです。
英語	地方および州/省の名前が (可能であれば) 英語で出力されません。

大文字小文字

出力の大文字と小文字の区別を指定します。

ネイティブ	参照データベースの標準に基づいて出力されます。
大文字	すべての国で、大文字で出力されます。
小文字	すべての国で、小文字で出力されます。
混在	国固有のルールに従って大文字と小文字が判断されます。
変更なし	パース モードの場合、データは入力された方法で返されます。バリデーション モードの場合、大文字と小文字の区別には参照データに見つかったものや、郵便のルールに従ったものを使用します。参照データを使用してチェックできなかった値は、入力時の大文字と小文字の区別を保持します。

オプション

説明

書式区切り記号

出力で複数行の住所に標準以外の書式設定を使用できます。このフィールドで指定できる値を次に示します。

- CRLF (デフォルト)
- LF
- CR
- SEMICOLON (2101 MASSACHUSETTS AVE NW ; WASHINGTON DC 20008)
- COMMA (2101 MASSACHUSETTS AVE NW , WASHINGTON DC 20008)
- TAB (2101 MASSACHUSETTS AVE NW WASHINGTON DC 20008)
- PIPE (2101 MASSACHUSETTS AVE NW | WASHINGTON DC 20008)
- SPACE (2101 MASSACHUSETTS AVE NW WASHINGTON DC 20008)

注：入力オプションと出力オプションの両方に同じ値を選択する必要があります。

Latin 1 以外のアルファベットを使用する国

Latin I 以外のアルファベットを使用する国の場合、返されるアルファベットは国によって異なります。それらの国々で、出力がどのように返されるかを以下の表に示します。ここに含まれないすべての国では、**【スクリプト/アルファベット】** フィールド オプションに指定された値が使用されます。

Country	データ ベース	Postal admin preferred	Postal admin alternate	ラテン文字	Latin alternate	ASCII 簡易	ASCII 拡張
RUS	キリル文字	キリル文字	キリル文字	CYRILLIC_ISO	CYRILLIC_BGN	CYRILLIC_ISO + LATIN_SIMPLE	CYRILLIC_ISO + LATIN
JPN	漢字	漢字	かな	JAPANESE	JAPANESE	JAPANESE + LATIN_SIMPLE	JAPANESE + LATIN
CHN	Hanzi	Hanzi	Hanzi	CHINESE_ MANDARIN	CHINESE_ CANTONESE	CHINESE_ MANDARIN + LATIN_SIMPLE	CHINESE_ MANDARIN + LATIN
HKG	Hanzi	Hanzi	Hanzi	CHINESE_ CANTONESE	CHINESE_ MANDARIN	CHINESE_ CANTONESE + LATIN_SIMPLE	CHINESE_ CANTONESE + LATIN

Country	データ ベース	Postal admin preferred	Postal admin alternate	ラテン文字	Latin alternate	ASCII 簡易	ASCII 拡張
TWN	Hanzi	Hanzi	Hanzi	CHINESE_ CANTONESE	CHINESE_ MANDARIN	CHINESE_ CANTONESE + LATIN_SIMPLE	CHINESE_ CANTONESE + LATIN
GRC	ギリシャ文 字	ギリシャ文 字	ギリシャ文 字	GREEK_ISO	GREEK_BGN	GREEK_ISO + LATIN_SIMPLE	GREEK_ISO + LATIN
KOR	ラテン文字	ハングル	Hanja	KOREAN	KOREAN	KOREAN + LATIN_SIMPLE	KOREAN + LATIN
ISR	ラテン文字	ヘブライ語	ヘブライ語	HEBREW	HEBREW	HEBREW + LATIN_SIMPLE	HEBREW + LATIN
ROM	Latin-3	Latin-3	Latin-3	Latin-3	Latin-3	LATIN_SIMPLE	LATIN
POL	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
CZE	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
CRI	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
HUN	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
MDA	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
SVK	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	Latin-2	LATIN_SIMPLE	LATIN
LAT	Latin-7	Latin-7	Latin-7	Latin-7	Latin-7	LATIN_SIMPLE	LATIN

プロセス オプション

表 79 : ValidateAddress Global のプロセス オプション

オプション	説明
最適化レベル	<p data-bbox="487 546 1427 619">このオプションを使用して、処理速度と品質が適切なバランスを保つよう設定します。次のいずれかです。</p> <p data-bbox="487 630 1427 703">狭く パーサーは、House Number を Street の情報から分割することを除き、入力の割り当てに厳密に従います。</p> <p data-bbox="487 714 1427 1165">標準 パーサーは、以下に示すように住所要素をよりアクティブに分割します。</p> <ul data-bbox="600 777 1136 1039" style="list-style-type: none"> • Province は Locality の情報から分割される • PostalCode は Locality の情報から分割される • House Number は Street の情報から分割される • SubBuilding は Street の情報から分割される • DeliveryService は Street の情報から分割される • SubBuilding は Building の情報から分割される • Locality は PostalCode の情報から分割される <p data-bbox="487 1060 1427 1165">広く パーサーによる分割はStandardに似た方法で行われますが、追加で最大 10 のパーシング候補が検証に渡されて処理されます。検証は検索のツリーを広げ、参照データのエントリを対象に追加してマッチングを行います。</p> <p data-bbox="487 1186 1427 1260">最適化レベルを調整しても、ここで説明したような分割で必要とされる郵便参照データ情報が揃っていない国においては、効果が得られない場合があります。</p> <p data-bbox="487 1270 1427 1407">分類の精度を Narrow から Standard に増やしても処理パワーはある程度消費されますが、最適化レベルを Wide に設定し、検索ツリーを大きくして検証を行った場合、指定された入力データから最も精密な結果を得ようとデータのアクセスや比較の件数が増加するため、処理速度が非常に遅くなります。</p>

オプション

説明

処理モード

住所に対して実行する処理のタイプを指定します。次のいずれかです。

バッチ このモードは手動でのデータの入力または選択が不可能なバッチ処理環境で使用します。処理速度を重視して最適化されているため、自動で修正できないあいまいなデータが見つかった場合は、住所修正の試行が停止します。指定の国がデータベースに見つからない場合、バッチ処理モードはパースモードに変更されます。

注：プロセス ステータスとして I3 の値が返された場合、試行は失敗とみなされ、ステータスとして F の値が返されます。

認定 このモードはオーストラリア郵便当局のバッチ処理環境で使用します。Validate Address Global はオーストラリア郵便公社の Address Matching Approval System (AMAS) で認定されています。これは郵便住所ファイルに照らして郵便の正規化と検証を行うことで、郵便料金の割引と不達郵便物の最小化を実現します。

高速実行 高速実行モードは、切り捨て処理されたデータを住所フィールドに入力して、Validate Address Global による提案の生成を行いたい場合に使用します。例えば、コールセンターや店頭などで作業をしている場合に住所要素の一部だけを入力し、高速実行の機能を使用して、完全な住所の候補を正しく入手することができます。

対話型 このモードは、インタラクティブな環境で処理を行い、住所入力があいまいな場合に提案を生成する場合に使用します。このタイプの検証は、とりわけ顧客や潜在顧客から入手したデータを入力した環境で使用されます。住所がほぼ完全に入力されている必要があり、その入力データの検証や修正を試行します。あいまいなデータが検出された場合、この検証タイプでは最大で20の提案が生成され、それを選択候補の一覧として使用できます。指定の国がデータベースに見つからない場合、インタラクティブモードはパースモードに変更されます。

パース このモードは住所入力をトークンに分割し、そのあとに他のシステムで行われる処理に送る場合、すなわち検証をバイパスする場合に使用します。例えば、住所データの品質がすでに高く、単に素早くトークンに分割して外部のシステムにエクスポートするか、あるいは下流のステージで使用する場合にこのモードを利用できます。

オプション	説明
マッチング範囲	<p>住所が検証されるために、住所がどの程度参照データと一致する必要があるかを指定します。次のいずれかです。</p> <p>注：以下の設定は、必要とされる詳細情報が郵便参照データに見つからない国に対しては効果がない場合があります。</p>
すべてのレベル	すべての住所要素が一致する必要があります。
配達ポイント レベル	Validate Global Address で州/省、郵便番号、都市/地方/郊外、ストリート、家番号、および従属する建物が一致する必要があります。
ストリートレベル	Validate Global Address で州/省、郵便番号、都市/地方/郊外、およびストリートが一致する必要があります。
地方レベル	Validate Global Address で州/省、郵便番号、および都市/地方/郊外が一致する必要があります。

出力

住所データ

表 80 : パース済み住所要素

フィールド名	説明
AddressBlock1-9	<p>AddressBlock 出力フィールドには、正規化済み、または標準化済みの住所が、実際の郵便物に印刷される形式にフォーマットされて入ります。Validate Address Global は住所を郵便当局の規格に従って住所ブロックにフォーマットします。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。AddressBlock1 から AddressBlock9 まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。例えば、以下の住所入力の場合、</p> <p>AddressLine1: 4200 Parliament Place AddressLine2: Suite 600 City: Lanham StateProvince: MD PostalCode: 20706</p> <p>以下の住所ブロックが出力されます。</p> <p>AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600 AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882</p>

フィールド名	説明
AddressLine1-6	住所が検証された場合、住所行フィールドには検証済みで正規化済みの住所行が入ります。住所が検証できなかった場合、住所行フィールドには入力された住所が変更されずに入ります。ただし、住所の最後の行は LastLine フィールドに入ります。例: AddressLine1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600 LastLine: LANHAM MD 20706-1882
AdministrativeDistrict	州/省より小さいが、都市よりも大きいエリア
ApartmentLabel	フラットまたはユニット タイプ (STE や APT など)。例: 123 E Main St Apt 3
ApartmentNumber	フラットまたはユニット番号。例: 123 E Main St Apt 3
BlockName	地所やブロックの名前。
BuildingName	建物の名前。例えば Sears Tower など。
City	都市の名前。例えば Vancouver, BC など。
City.AddInfo	都市の追加情報。
City.SortingCode	例えばプラハやダブリンなど、特定の国の広い地方で、郵便当局が配達時間を短縮するために使用するコード。
Contact	受取人の名前。例えば Mr.Jones など。
Country	国が、言語または [国フォーマット] オプションで指定されたコードで入ります。
County	州や省に従属する情報。州や省をさらに細かく分割します。米国の郡はその一例です。
FirmName	会社名。
Floor	部屋番号やアパート番号など、建物をさらに細かく分割する情報。例: 123 E Main St Apt 3, 4th Floor

フィールド名	説明
HouseNumber	家番号 1。例: 298A-1B New South Head Rd
LastLine	完成された最終の住所行 (都市、州/省、および郵便番号)。
LeadingDirectional	ストリート名の前に付けてストリートの方向を表します。例えば、138 N Main Street の N がこれに該当します。
Locality	場所の名前に従属し、地方をさらに細かく分割します。例としては、メキシコの Colonia や、スペインの Urbanisaciones などがあります。
POBox	郵便受けの記述子 (POBox、Postfach、Case Postale など) と番号。
PostalCode	住所の郵便番号。郵便番号のフォーマットは国によって異なります。
PostalCode.AddOn	郵便番号の 2 番目の部分。例えば、カナダの住所ではこれは LDU です。米国住所に対しては、これは ZIP+4 アドオンです。ほとんどの国ではこのフィールドを使用しません。
PostalCode.Base	郵便番号の基本部分。
Room	建物の部屋番号。
SecondaryStreet	補助的なストリートまたは地方集配路の名前。
StateProvince	州または省の名前。
StreetName	建物が存在するストリートの名前。例: 123 E Main St Apt 3
StreetSuffix	ストリート接尾語。例: 123 E Main St Apt 3
SubBuilding	部屋番号など建物の一部。例えば Suite 102 など。
Suburb	場所の名前に従属し、地方をさらに細かく分割します。例えばトルコの Mahalle など。

フィールド名	説明
Territory	地域の名前。地域は州/省より大きいものです。
TrailingDirectional	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave NW

元の入力データ

このオプションは、元の入力データを <フィールド名>.Input フィールドに出力します。

表 81 : 元の入力データ

フィールド名	書式	説明
AddressLine1.Input	文字列	最初の住所行。
AddressLine2.Input	文字列	2 行目の住所行。
AddressLine3.Input	文字列	3 行目の住所行。
AddressLine4.Input	文字列	4 行目の住所行。
AddressLine5.Input	文字列	5 行目の住所行。
AddressLine6.Input	文字列	6 行目の住所行。
City.Input	文字列	都市名
StateProvince.Input	文字列	州または省

フィールド名	書式	説明
PostalCode.Input	文字列	住所の郵便番号。米国では、ZIP Code になります。次のいずれかのフォーマットです。 99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999
Contact.Input	文字列	受取人の名前。例えば、"Mr.Jones"。
Country.Input	文字列	入力の国フォーマットに選択したフォーマットを使用して国を指定します (英語名、ISO コード、または UPU コード)。有効な値の一覧は、 ISO 国コードとモジュール サポート を参照してください。
FirmName.Input	文字列	会社名または企業名。
Street.Input	文字列	ストリート
Number.Input	Building [79]	番号
Building.Input	文字列	建物
SubBuilding.Input	文字列	従属する建物
DeliveryService.Input	文字列	配送サービス

結果コード

これらの出力フィールドには、検証処理の結果に関する情報が格納されます。

表 82 : 結果コード

フィールド名	結果コード
AddressType	<p>米国とカナダの住所の場合のみ、AddressType フィールドは住所のタイプを示します。次のいずれかです。</p> <p>F 住所の妥当性が確認され社名まで修正されました。</p> <p>B 住所の妥当性が確認され建物名まで修正されました。</p> <p>G 住所は局留めの住所です。</p> <p>H 住所の妥当性が確認され高層のデフォルトまで修正されました。</p> <p>L 住所は、Large Volume Receiver (LVR) です。</p> <p>M 住所は、軍施設の住所です。</p> <p>P 住所の妥当性が確認され私書箱まで修正されました。</p> <p>R 住所の妥当性が確認され地方配送路まで修正されました。</p> <p>S 住所の妥当性が確認されストリーートの住所まで修正されました。</p> <p>U タイプが不明なために住所を検証/修正できませんでした。</p>
Confidence	<p>返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は 0 ~ 100 です。0 は失敗を表し、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。</p>
CountOverflow	<p>候補住所数が返される数より多いかどうかを示します。次のいずれかです。</p> <p>はい 他の候補住所があります。他の候補を取得するには、[返される結果の最大数]の値を増やします。</p> <p>いいえ いいえ、これ以外の候補はありません。</p>
ElementInputStatus	<p>ElementInputStatus は入力要素を参照データに対してマッチングした際の要素ごとの情報を提供します。このフィールドの値は、バッチとパースのどちらのモードを使用するかによって変わります。このフィールドの値については、ElementInputStatus、ElementResultStatus、および ElementRelevance の解釈 (248ページ) を参照してください。</p>
ElementRelevance	<p>その土地の郵便当局の基準から基準から判断して、実際にどの住所要素が関連しているかを示します。このフィールドの値については、ElementInputStatus、ElementResultStatus、および ElementRelevance の解釈 (248ページ) を参照してください。</p>

フィールド名

結果コード

ElementResultStatus **ElementResultStatus** は、出力フィールドが入力フィールドから変更されているか、またどのように変わっているかを示すことによって、結果を **ProcessStatus** フィールドよりも詳細に分類します。このフィールドの値については、[ElementInputStatus](#)、[ElementResultStatus](#)、および [ElementRelevance](#) の解釈 (248ページ) を参照してください。

MailabilityScore 郵便が住所にどの程度確実に配達されるかの予測を示します。次のいずれかです。

5	確実に配達される
4	ほぼ確実に配達される
3	おそらく配達される
2	五分五分
1	配達されない可能性が高い
0	配達されない

ModeUsed 使用された処理モードを示します。処理モードは、**[処理モード]** オプションで指定します。モードの説明については、[プロセスオプション](#) (236ページ) を参照してください。

MultimatchCount 住所が参照データ内の複数の候補住所と一致した場合、このフィールドには一致した候補の数が含まれます。

フィールド名	結果コード
--------	-------

ProcessStatus	
---------------	--

フィールド名

結果コード

出力の品質に関する一般的な記述が含まれます。出力の品質について、詳しくは **ElementResultStatus** フィールドを参照してください。

次のいずれかです。

- V4** 検証済み。正しい入力データです。すべての要素がチェックされ、入力データが完全に一致しました。
- V3** 検証済み。入力されたデータは正しいものですが、一部またはすべての要素が正規化されたか、あるいは入力データに旧式の名前または外名 (エクソニム) が含まれます。
- V2** 検証済み。正しい入力データですが、一部の要素について、参照データが完全でないために検証できていません。
- V1** 検証済み。正しい入力データですが、ユーザによる正規化によって、正しく配達される可能性が損なわれています (たとえば選択された郵便番号の長さが短すぎるなど、ユーザによって要素の正規化が正しく行われていない)。検証によってセットされません。
- C4** 修正済み。すべての要素がチェック済みです。
- C3** 修正済みですが、一部の要素をチェックできませんでした。
- C2** 修正済みですが、配達のスレータスがわかりません (参照データがありません)。
- C1** 修正済みですが、ユーザによる正規化が正しくなかったため、配達のスレータスがわかりません。検証によってセットされません。
- I4** データを完全には修正できませんでした。かなりの確率で正しく配達されます。単一の一致が見つかりました (例えば HNO は誤りだが、参照データに HNO が 1 件だけ見つかるような場合)。
- I3** データを完全には修正できませんでした。かなりの確率で正しく配達されます。複数の一致が見つかりました (例えば HNO は誤りだが、参照データに複数の HNO が見つかるような場合)。
- I2** データを修正できませんでした。この住所で正しく配達される可能性がわずかにあります。
- I1** データを修正することができず、正しく配達される可能性もほとんどありません。
- RA** 国が強制国の設定から認識されました。
- R9** 国が **DefaultCountryISO3** の設定から認識されました。
- R8** 国が名前からエラーなしで認識されました。
- R7** 国が名前からエラー付きで認識されました。
- R6**

フィールド名

結果コード

	国が地域から認識されました。
R5	国が省から認識されました。
R4	国が主要な都市から認識されました。
R3	国がフォーマットから認識されました。
R2	国がスクリプトから認識されました。
R1	国が認識されませんでした。複数の一致が見つかりました。
R0	国が認識されませんでした。
S4	完全にパースされました。
S3	パースされ、複数の結果が得られました。
S2	パースされ、エラーが発生しました。要素の位置が変わっています。
S1	パース エラー。入力フォーマットが一致しません。
N1	バリデーションエラー: 国が認識されなかったため、検証が実行されませんでした。
N2	バリデーションエラー: 必要な参照データベースを使用できないため、検証が実行されませんでした。
N3	バリデーションエラー: 国をロック解除できなかったため、検証が実行されませんでした。
N4	バリデーションエラー: 参照データベースが破損しているか、フォーマットが正しくないため、検証が実行されませんでした。
N5	バリデーションエラー: 参照データベースが古すぎるため、検証が実行されませんでした。
N6	バリデーションエラー: 入力データが十分でないため、検証が実行されませんでした。
Q3	高速実行ステータス: 提案 (完全な住所) を利用可能です。
Q2	高速実行ステータス: 完全な住所が提案されましたが、入力データの要素と組み合わせられています (追加または削除)。
Q1	高速実行ステータス: 提案された住所は完全ではありません (情報を追加してください)。
Q0	高速実行ステータス: 十分でない情報から提案が生成されました。

フィールド名 結果コード

Status

処理試行が成功したか失敗したかをレポートします。

NULL 成功

F 失敗

Status.Code

失敗したものがあれば、その理由を示します。

Status.Description

失敗したものがあれば、その理由を説明する記述が入ります。

ElementInputStatus、*ElementResultStatus*、および *ElementRelevance* の解釈

ElementInputStatus、*ElementResultStatus*、および *ElementRelevance* の出力フィールドには、検証操作の結果を詳細に示す一連の数字が含まれます。*ElementInputStatus* にはパーシング操作に関するいくつかの情報が含まれます。

ElementInputStatus の値は以下のようになります。

44606040600000000060

ElementResultStatus の値は以下のようになります。

88F0F870F00000000040

ElementRelevance の値は以下のようになります。

11101010100000000000

これらのフィールドの値について理解するためには、各ポジションの数字がどの要素を表すか、および各ポジションの値の意味を知る必要があります。たとえば、先頭の数字は *PostalCode.Base* 出力フィールドの結果を示します。以下に各ポジションの意味を一覧で示します。

- ポジション 1—*PostalCode.Base*
- ポジション 2—*PostalCode.AddOn*
- ポジション 3—*City*
- ポジション 4—*Locality* および *Suburb*
- ポジション 5—*StateProvince*
- ポジション 6—*County*
- ポジション 7—*StreetName*
- ポジション 8—*SecondaryStreet*
- ポジション 9—*HouseNumber*
- ポジション 10—*Number* レベル 1

- ポジション 11—POBox
- ポジション 12—Delivery サービス レベル 1
- ポジション 13—Building レベル 0
- ポジション 14—BuildingName
- ポジション 15—Sub building レベル 0
- ポジション 16—Floor and Room
- ポジション 17—FirmName
- ポジション 18—Organization レベル 1
- ポジション 19—Country
- ポジション 20—Territory

ElementInputStatus の場合、検証の値として以下のいずれかが入ります。

- 0—空
- 1—見つからない
- 2—チェックなし (参照データなし)
- 3—誤り - 検証によってのみセット。参照データベースによれば、Number または DeliveryService のいずれかの数が正しい範囲内でない。入力はコピーされ、バッチモードでは修正されていない。インタラクティブ モードと FastCompletion では、提案が提供されている
- 4—この要素内でエラーありで一致
- 5—変更ありで一致 (挿入または削除)。例:
 - パーシング: "MainSt 1" の家番号を分割するなど
 - バリデーション: 外名 (エクソニム) が入力された場合に置換したり、フィールドのサイズを超えて入力され、国の参照データベースによって無効とされたデータを短くしたなど
- 6—エラーなしで一致

ElementInputStatus の場合、パーシングの値には以下のいずれかが入ります。

- 0—空
- 1—要素の位置を変更する必要があった
- 2—一致したが、正規化する必要があった
- 3—一致した

ElementRelevance の場合、パーシングの値には以下のいずれかが入ります。

- 0—空
- 1—要素の位置を変更する必要があった
- 2—一致したが、正規化する必要があった
- 3—一致した

ElementResultStatus の場合、(国を除くすべての住所要素に対して)以下のいずれかの値が入りません。

- 0—空
- 1—検証されず、変更されていない。元のデータがコピーされている
- 2—検証されなかったが正規化された
- 3—検証されたが、入力が無効(データベースによれば、数値が正しい範囲内でない)であるため変更されなかった入力がコピーされ、修正されていない(このステータス値はバッチモードでのみセットされる)
- 4—検証されたが、参照データが見つからないため変更されていない
- 5—検証されたが、複数の一致が見つかったため変更されていない。バッチモードでのみセットされる。そうでない場合、入力を置換する複数の提案が修正済みとしてマークされる(ステータス値 7)
- 6—検証され、入力値の除外という変更が行われている
- 7—検証され、参照データに基づく修正という変更が行われている
- 8—検証され、参照データに基づく値の追加という変更が行われている
- 9—検証され、変更はされていないが、配達ステータスがわからない(例えば、DPV の値で、指定の数値範囲が参照データと部分的にしか一致せず正しくないなど)
- C—検証され、妥当性確認済みだが名前が旧式であるため変更されている
- D—検証され、妥当性確認済みだが外名から公式の名前に変更されている
- E—検証され、妥当性確認済みだが大文字と小文字の区別、または言語に基づく正規化のため変更されている。入力が別の言語と完全に一致する場合に、検証でのみこのステータスがセットされる
- F—検証され、妥当性確認済みで、完全に一致したため変更されなかった

国(ポジション 19 と 20)に関しては、以下のいずれかの値が入ります。

- 0—空
- 1—国が認識されない
- 4—国が DefaultCountryISO3 の設定から認識された
- 5—国が認識されない。複数の一致が見つかった
- 6—国がスクリプトから認識された
- 7—国がフォーマットから認識された
- 8—国が主要な都市から認識された
- 9—国が省から認識された
- C—国が地域から認識された
- D—国がエラーありで名前から認識された
- E—国が名前からエラーなしで認識された
- F—国が ForceCountryISO3 の設定から認識された

レポート

Validate Address Global サマリ レポート

Validate Address Global サマリ レポートには、処理されたレコードの合計数や、検証された住所の数など、ジョブに関するサマリ統計が一覧表示されます。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology Platform データフロー デザイナー ガイド*』を参照してください。

ジョブ サマリ

このセクションには、ジョブに関するサマリ情報が含まれます。

- **Started**—ジョブが開始された日付と時刻。
- **Finished**—ジョブが終了した日付と時刻。
- **Processing time**—ジョブの継続時間。
- **Total Records**—Validate Address Global で処理するために渡されたレコードの合計数。これはジョブがどのように設計されているかによって、ジョブの入力レコードの数と異なる場合があります。
- **Processed Records**—Validate Address Global で正しく処理された住所の数。これはレコードの合計数から処理されなかったレコードを引いた数です。
- **Default country**—[デフォルト国 (ISO3 形式)] オプションで指定されたデフォルト国。
- **Casing**—[大文字と小文字の区別] オプションで選択した大文字と小文字の区別。
- **Script/Alphabet**—[スクリプト/アルファベット] オプションで指定されたスクリプト。
- **Countries**—入力住所に含まれる国の数。

ステータス サマリ

このセクションには検証と修正の結果が表示されます。

- **Validated**—入力時に正しかった住所。
- **Corrected**—Validate Address Global によって修正された住所。
- **Good deliverability**—修正できなかったが、かなりの確率で正しく配達される住所。
- **Fair deliverability**—修正できなかったが、正しく配達される可能性が十分にある住所。
- **Poor deliverability**—修正できず、おそらく配達されない住所。
- **Parsed**—正しくパーシングされた住所。
- **Failed**—検証も、修正も、パーシングもできなかった住所。

Validate Address Global 詳細レポート

Validate Address 詳細レポートには、それぞれの国の検証、修正、パーシングの結果が表示されます。レポートの使用方法については、『*Spectrum™ Technology Platform データフロー デザイナー ガイド*』を参照してください。

ステータスの詳細

このセクションには、各国の検証と修正の結果が表示されます。

- **V (検証済み)**—入力時に正しかった住所。
- **C (修正済み)**—Validate Address Global によって修正された住所。
- **I4 (配達可能性高)**—修正できなかったが、かなりの確率で正しく配達される住所。
- **I3 (配達可能性中)**—修正できなかったが、配達される可能性が十分にある住所。
- **I2 (配達可能性低)**—修正できず、正しく配達される可能性が低い住所。
- **S (パーシング済み)**—正しくパーシングされた住所。
- **F (失敗)**—検証も、修正も、パーシングもできなかった住所。

Validate Address Loqate

Validate Address Loqate は、郵便当局の住所データを使用して、住所を正規化し、妥当性を確認します。Validate Address Loqate は、情報を修正し、管轄の郵便当局が推奨する書式で住所の書式を整えることができます。また、郵便番号、都市名、州/省名など、欠落している郵便情報を追加します。

Validate Address Loqate は、Validate Address Loqate が住所の妥当性を確認したかどうか、返された住所の確信レベル、住所の妥当性が確認できなかった場合はその理由など、検証処理に関する結果インジケータも返します。

Validate Address Loqate は、住所のマッチングと正規化において、住所行をコンポーネントに分割し、それらを Universal Addressing モジュールの各種データベースの内容と比較します。マッチを検出した場合、入力住所をデータベース情報に合わせて正規化します。データベースにマッチしなかった場合、Validate Address Loqate は、オプションで入力住所の書式を整えます。書式設定プロセスでは、該当する郵便当局の規則に従って住所行の構成を試みます。

Validate Address Loqate は、Universal Addressing モジュールに含まれています。

入力

ValidateAddressLoqate は、入力として住所を受け取ります。すべての住所は、その住所の国に関係無くこのフォーマットを使用します。

表 83 : 入力フォーマット

フィールド名	書式	説明
AddressLine1	文字列	最初の住所行。
AddressLine2	文字列	2 行目の住所行。
AddressLine3	文字列	3 行目の住所行。
AddressLine4	文字列	4 行目の住所行。
City	文字列	都市名。
Country	文字列	<p>国コードまたは名前を、以下のいずれかのフォーマットで入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 文字の ISO 3116-1 Alpha-2 国コード • 3 文字の ISO 3116-1 Alpha-3 国コード • 英語の国名 <p>ISO コードの一覧については、ISO 国コードとモジュール サポートを参照してください。</p>
FirmName	文字列	会社名または企業名。
PostalCode	文字列	<p>住所の郵便番号は、次のフォーマットのいずれかで表されます。</p> <p>99999 99999-9999 A9A9A9 A9A 9A9 9999 999</p>
StateProvince	文字列	州または省。

オプション

以下の表に、Validate Address Loqate が返す情報の種類を制御するオプションの一覧を示します。

表 84 : 出力データ オプション

オプション	説明
データベース	<p>国際住所の妥当性の確認に使用するデータベースを指定します。国際住所検証用のデータベースを指定するには、【データベース】ドロップダウン リストからデータベースを選択します。</p>
標準住所を含める	<p>住所データの 1 ~ 4 行に加えて、都市、州、郵便番号、企業名を返します。各住所行は、封筒に記載される住所の実際の行に対応しています。詳細については、出力 (263ページ) を参照してください。</p> <p>Validate Address Loqate が住所の妥当性を確認できた場合は、住所行には正規化済み住所が含まれます。正規化済み住所では、句読文字が取り除かれ、方向指示とストリート接尾語には省略形が使用され、住所要素が修正されています。</p> <p>Validate Address Loqate が住所の妥当性を確認できなかった場合は、住所行には入力住所がそのまま含まれます ("パス スルー" データ)。このオプションを指定しなかった場合でも、妥当性が確認されなかった住所は必ず、パス スルー データとして住所行フィールドに含まれます。</p>
一致した住所要素を含める	<p>家番号、ストリート名、ストリート接尾語、方向指示などの住所の各要素が、個別のフィールドに返されます。詳細については、パース済み住所要素出力 (264ページ) を参照してください。このオプションとともに、【マッチしなかった場合に正規化データを返す】を選択した場合は、住所要素に、妥当性が確認できなかった住所の入力住所が含まれることになります。</p>

オプション

説明

正規化された入力住所要素を含める

このオプションでは、**Validate Address Loqate** が住所の妥当性を確認できたかどうかにかかわらず、入力住所をパース済み形式で返します。家番号、ストリート名、ストリート接尾語、方向指示などの入力住所の各要素が、個別のフィールドに返されます。

[正規化された入力住所要素を含める] オプションは、検証できなかった入力だけでなく、すべての入力住所をパース済み形式で返す点で、**[一致した住所要素を含める]** と **[マッチしなかった場合に正規化データを返す]** の組み合わせと異なります。詳細については、[パース済み入力](#) (267ページ) を参照してください。

ジオコード アドレス フィールドを返す

処理中にジオコーディングを実行するかどうかを指定します。出力に対してジオコーディングを実行すると、各入力住所の緯度と経度、一致の精度レベル、ジオコードと住所の実際の物理的な位置との間の推測最大距離が得られます。

個々のフィールドの結果コードを含める

フィールドレベルの結果インジケータを含めるかどうかを指定します。フィールドレベルの結果インジケータは、**Validate Address Loqate** が各住所要素をどのように処理したかを示します。フィールドレベルの結果インジケータは、修飾子 **"Result"** で返されます。例えば、**HouseNumber** のフィールドレベルの結果インジケータは **HouseNumber.Result** に格納されます。結果インジケータの出力フィールドの完全な一覧は、[結果インジケータ](#) (271ページ) を参照してください。

オプション

説明

マッチしなかった場合に正規化データを返す

住所の妥当性を確認できない場合に書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所には、その国の標準住所書式が設定されます。このオプションを選択しない場合、**ValidateAddress Loqate** が住所の妥当性を確認できないと、出力住所フィールドは空白になります。

[標準住所を含める]、**[住所行の要素を含める]**、および**[郵便情報を含める]**の各チェックボックスで指定されたフォーマットを使用して、書式を整えた住所が返されます。**[住所行の要素を含める]**を選択した場合は、妥当性が確認できた住所に対しては、パース済みで妥当性を確認済みの住所が、パース済み住所要素に含まれることに注意してください。住所の妥当性が確認できなかった場合には、パース済み住所要素には、入力住所がパース済み形式で含まれることになります。

Validate Address Loqate が住所の妥当性を確認できたかどうかにかかわらず、必ず入力住所をパース済み形式で出力したい場合は、**[正規化された入力住所要素を含める]**を選択します。

このオプションをオンにする場合は、**[標準住所を含める]**と**[住所行の要素を含める]**またはそのいずれかを選択する必要があります。

住所データ ブロックを返す

実際の郵便物に印字される、書式を整えた住所を返すかどうかを指定します。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。**AddressBlock1** から **AddressBlock9** まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。

例えば、以下の住所入力の場合、

AddressLine1: 4200 Parliament Place
AddressLine2: Suite 600
City: Lanham
StateProvince: MD
PostalCode: 20706

以下の住所ブロックが出力されます。

AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600
AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882
AddressBlock3: UNITED STATES OF AMERICA

Validate Address Loqate は、郵便当局の規格に従って住所の書式を整え、住所ブロックの形式にします。国名は、万国郵便連合 (UPU) の国名で返されます。**[国フォーマット]** オプションは、住所ブロックの国名には影響を与えないことに注意してください。**[国フォーマット]** オプションは、**Country** 出力フィールドに返される名前のみに影響を与えます。

オプション

説明

AMAS 表記を使用してデータをフォーマット

Address Matching Approval System (AMAS) 表記を使用して出力住所データをフォーマットすることを指定します。

このオプションを使用すると、Validate Address Loqate は、住所を正規化するとき AMAS ルールを使用するようになります。AMAS は、オーストラリア郵政公社が定める、住所規格を徹底するためのプログラムです。AMAS 書式設定表記の詳細については、『Address Matching Approval System (AMAS) Handbook』を参照してください。

このオプションを使用すると、出力データは次のように変更されません。

- 数値フィールドにはゼロが付加されます。この影響を受けるのは、HouseNumber、HouseNumber2、PostalDeliveryNumber、および DPID の各出力フィールドです。例えば、入力フィールドが 298 New South Head Rd Double Bay NSW 2028 の場合、HouseNumber フィールドの形式は 298 から 00298 に変更されます。
- 一致しない場合、DPID フィールドの桁はすべてゼロになります。例えば、00000000 などです。
- 一致しない場合、すべてゼロを含む数値フィールドを除き、すべてのリターン フィールド (パース済み住所要素) が空白になります。
- CCD フィールドは出力されません。

注：このオプションを選択すると、[許容レベル] フィールドと [最小マッチスコア] フィールドの選択に関わらず、AMAS フォーマットで結果が返されます。

大文字小文字

出力データの大文字と小文字の区別を指定します。次のいずれかです。

混在 出力には、大文字と小文字が混在させます(デフォルト)。例:

123 Main St
Mytown FL 12345

大文字 出力に大文字を使用します。例:

123 MAIN ST
MYTOWN FL 12345

オプション

説明

デフォルト国 デフォルト国を指定します。大部分の住所が存在する国を指定してください。例えば、処理する住所の大部分がドイツにある場合は、ドイツを指定します。Validate Address Loqate は、[StateProvince]、[PostalCode]、および [Country] の各住所フィールドから国を特定できなかった場合、指定された国を使用して、住所の検証を試みます。

国フォーマット **Country** 出力フィールドに返される国名に使用するフォーマットを指定します。例えば、英語を選択した場合、"Deutschland" という国名は "Germany" として返されます。

英語名 英語の国名を使用します (デフォルト)。

ISO コード 国名の代わりにその国の2文字のISOの略語を使用します。

UPU コード 国名の代わりにその国の万国郵便連合 (Universal Postal Union: UPU) の略語を使用します。

スクリプト/アルファベット 出力がどのアルファベットまたはスクリプトで返されるかを指定します。このオプションは双方向で、通常はネイティブからラテン文字へ、およびラテン文字からネイティブへ実行されます。

入力文字 書き直しを実行せず、入力と同じスクリプトで出力します (デフォルト)。

ネイティブ 使用可能な場合は、選択した国のネイティブスクリプトで出力します。

ラテン文字 (英語) 英語の値を使用します。

オプション

説明

許容レベル

オプション

説明

レコードが正常に処理されたとみなされるために達成する必要のある、最小検証レベルを指定します。このフィールドの値は、“処理後検証マッチ レベル” と呼ばれる、Address Verification Code の 2 つめの文字に対応します。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)。入力レコードの ApartmentNumber、HouseNumber、Street、City、StateProvince が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。ApartmentNumber は正しいがその他のフィールドが正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、ApartmentNumber は他のフィールドよりも細かいレベルであるため、Loqate エンジンはこの場合に、ApartmentNumber を特定できるはずです。Loqate エンジンが ApartmentNumber とその他のフィールドをパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **4** — 敷地または建物。入力レコードの HouseNumber、Street、City、StateProvince が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。HouseNumber は正しいがその他のフィールドが正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、HouseNumber は他のフィールドよりも細かいレベルであるため、Loqate エンジンはこの場合に、HouseNumber を特定できるはずです。Loqate エンジンが HouseNumber とその他のフィールドをパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **3** — 大ストリート、道路、またはストリート。入力レコードの Street、City、StateProvince が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。City は正しいが StateProvince が正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、City は StateProvince に含まれるため、Loqate エンジンはこの場合に、StateProvince を特定できるはずです。Loqate エンジンが City または両方のフィールド (City と StateProvince) をパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **2** — 地方 (都市または町)。入力レコードの City と StateProvince の両方が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。City は正しいが StateProvince が正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、City は StateProvince に含まれるため、Loqate エンジンはこの場合に、StateProvince を特定できるはずです。Loqate エンジンが City または両方のフィールド (City と StateProvince) をパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **1** — 行政区域 (州または地域)。入力レコードの StateProvince が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。
- **0** — なし。これは、最も制限の緩いマッチオプションと同じです。

オプション

説明

重複処理	<p>重複処理マスクを有効にし、重複レコードの処理および削除の方法を指定します。次のオプションから 1 つ以上を選択します。</p> <p>単一 デフォルトで選択されています。入力の前処理により、単一フィールドで発生している重複を削除します。</p> <p>複数 デフォルトで選択されています。入力の前処理により、すべてのフィールドわたって重複を削除します。</p> <p>非標準 入力の前処理により、標準住所フィールドでないフィールド内の重複を削除します。</p> <p>出力 デフォルトで選択されています。検証の出力の後処理により、検証されていないフィールドから重複を削除します。</p>
------	--

最小マッチ スコア

Validate Address Loqate において、**Loqate** 参照データベースでマッチ結果を得るために、住所に加える変更の度合いを、0 ~ 100 の間の数値で指定します。数値が小さいほど、大きな変更が許容されます。100 の値は、パーシング後に入力住所と検証済み住所がほぼ同一であることを意味します。0 の値は、検証済み住所を得るためにパーシング後の入力住所を大きく変更してしまってもよいことを意味します。

複数の住所を返す

一致する可能性のある住所を複数持つ入力住所に対して複数の住所を返すかどうかを指定します。

詳細については、[複数マッチを返す](#) (261 ページ) を参照してください。

Fail Multiple Matches

一致する可能性のある住所が複数存在する入力住所に対して、複数の住所を許可しません。

複数マッチを返す

ValidateAddress Loqate が、入力住所に一致する可能性のある複数の住所を郵便データベース内で検出した場合に、**ValidateAddress Loqate** がそれらの複数の住所を返すように設定できます。例えば、次の住所は米国郵便データベース内の複数の住所にマッチします。

PO BOX 1 New York, NY

オプション

複数マッチを返すには、次の表に示すオプションを使用します。

表 85 : 複数マッチのオプション

オプション名	説明/有効値
複数の住所を返す	一致する可能性のある住所を複数持つ入力住所に対して複数の住所を返すかどうかを示します。
結果の最大数	<p>【複数の住所を返す】 チェック ボックスの横に、返す住所の最大数を示す 1 ~ 10 の数字を入力します。デフォルト値は 1 です。</p> <p>注: 【複数の住所を返す】 のチェックをはずした場合と 【複数の住所を返す】 にチェックを入れ、結果の最大数として 1 を指定した場合の違いは、【複数の住所を返す】 のチェックをはずした場合は複数マッチによって失敗が返され、【複数の住所を返す】 にチェックを入れ、結果の最大数として 1 を指定した場合は複数マッチによって1つのレコードが返される点です。</p>
個々のフィールドの結果コードを含める	どの出力住所が候補住所かを特定するには、 【出力データ】 タブの 【個々のフィールドの結果コードを含める】 にチェックを入れる必要があります。このように設定すると、候補住所のレコードのフィールドレベルの結果インジケータに 1 つ以上の値 "M" が格納されます。

出力

複数マッチを返すよう選択した場合、住所は指定した住所フォーマットで返されます。住所フォーマットの指定については、[オプション](#) (254ページ) を参照してください。どのレコードが候補住所であるかを特定するには、フィールドレベルの結果インジケータに複数の値 "M" があるかどうかを調べます。詳細については、[結果インジケータ](#) (271ページ) を参照してください。

マッチ スコアのしきい値オプション

マッチ スコアのしきい値を設定するための 2 つのオプションがあります。

注: これらのオプションは **Validate Address Loqate** のユーザ インターフェイスにはなく、以下のファイルの中にあります。

```
SpectrumDirectory/server/modules/loqate/env.properties
```

[MatchScoreAbsoluteThreshold] オプションは、レコードがマッチングの候補とみなされるために達しなければならない最小マッチ スコアを指定するために使用されます。デフォルト値は 60 で、最大値は 100 です。

[MatchScoreThresholdFactor] は、最も高いマッチング結果を 100 とした場合の係数を表す値です。この値は、結果候補を検討する際のボーダーラインとして使用されます。係数の値が高いほど、良い検証結果が得られる確率が高くなります。デフォルト値は 95 で、最大値は 100 です。

出力

Validate Address Loqate からの出力には、選択した出力カテゴリに応じてさまざまな情報が含まれます。

標準住所出力

標準住所出力は、宛名ラベルに表記される住所に対応する 4 行の住所で構成されます。都市、州/省、郵便番号などのデータも、標準住所出力に含まれます。**[標準住所を含める]** チェック ボックスを選択 **OutputRecordType = A** と設定した場合、Validate Address Loqate は、妥当性を確認した住所に対し、標準住所出力を返します。**[標準住所を含める]** チェック ボックスを選択したかどうかにかかわらず、妥当性が確認できなかった住所に対しては、標準住所フィールドが必ず返されます。妥当性が確認されなかった住所に対しては、標準住所出力フィールドには、入力住所がそのまま含まれます ("パス スルー" データ)。ValidateAddress Loqate において、妥当性が確認できなかった場合に、郵便当局の規格に従って住所を正規化するには、**[マッチしなかった場合に正規化データを含める]** チェック ボックスを選択します。

表 86 : 標準住所出力

フィールド名	説明
AdditionalInputData	特定の住所コンポーネントに一致しなかった入力データ。詳細については、 その他の入力データについて を参照してください。
AddressLine1-4	住所の妥当性が確認された場合は、妥当性が確認され、正規化された住所の 1 行目です。住所の妥当性が確認できなかった場合は、入力住所の 1 行目がそのまま出力されます。住所ブロック出力フィールドは最大で、AddressLine1 から AddressLine4 の 4 つになります。
City	妥当性が確認された都市名。

フィールド名	説明
Country	[国フォーマット] で選択した、以下のいずれかのフォーマットで示された国。 <ul style="list-style-type: none"> • ISO コード • UPU コード • 英語
FirmName	妥当性が確認された企業名。
PostalCode	妥当性が確認された ZIP Code™ または郵便番号。
PostalCode.AddOn	ZIP Code™ の 4 桁のアドオン部分。例えば、60655-1844 という ZIP Code™ において、4 桁のアドオン部分は 1844 になります
PostalCode.Base	5 桁の ZIP Code™。例: 20706。
StateProvince	妥当性が確認された州または省の略称。

パース済み住所要素出力

[一致した住所要素を含める] チェック ボックスを選択した場合、出力住所は、パース済み住所の形式で書式設定されます。ValidateAddress Loqate で、妥当性が確認できなかった場合に、パース済み住所形式で書式設定されたデータ (正規化済み住所) を返すには、**[マッチしなかった場合に正規化データを返す]** チェック ボックスを選択します。

注：ValidateAddress Loqate で、妥当性が確認できたかどうかにかかわらず、常にパースした入力データを返すには、**[正規化された入力住所要素を含める]** を選択します。詳細については、[パース済み入力 \(267ページ\)](#) を参照してください。

表 87 : パース済み住所出力

フィールド名	説明
AddressBlock1-9	<p>AddressBlock 出力フィールドには、正規化済み、または標準化済みの住所が、実際の郵便物に印刷される形式にフォーマットされて入ります。Validate Address Global は住所を郵便当局の規格に従って住所ブロックにフォーマットします。住所の各行が、別々の住所ブロックフィールドに入れて返されます。AddressBlock1 から AddressBlock9 まで、最大 9 つの住所ブロック出力フィールドが使用されます。例えば、以下の住所入力の場合、</p> <p>AddressLine1: 4200 Parliament Place AddressLine2: Suite 600 City: Lanham StateProvince: MD PostalCode: 20706</p> <p>以下の住所ブロックが出力されます。</p> <p>AddressBlock1: 4200 PARLIAMENT PL STE 600 AddressBlock2: LANHAM MD 20706-1882</p>
ApartmentLabel	<p>アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St APT 3</p>
ApartmentNumber	<p>アパート番号。例: 123 E Main St APT 3</p>
ApartmentNumber2	<p>補助的なアパート番号。例: 123 E Main St APT 3, 4th Floor</p> <p>注: このリリースでは、このフィールドは常に空白になります。</p>
Building	<p>個々の場所を識別するためのわかりやすい名前。</p>
City	<p>妥当性が確認された都市名</p>

フィールド名	説明
Country	国。フォーマットは、 [国フォーマット] で選択したものに なります。 <ul style="list-style-type: none">• ISO コード• UPU コード• 英語
County*	国における最小の地理的データ要素。例: 米国の郡
FirmName	妥当性が確認された企業名
HouseNumber	家番号 1。例: 123 E Main St Apt 3
LeadingDirectional	接頭方向指示。例: 123 E Main St Apt 3
POBox	私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配 送路の私書箱番号がここに表示されます。
PostalCode	妥当性が検証された郵便番号。米国住所に対しては、ZIP Code と呼びます。
Principality *	国における最大の地理的データ要素
StateProvince	妥当性が確認された州または省の名前
StreetAlias	ストリート名のエイリアス。通常は、ストリート上の特定の 範囲の住所のみに対して使用されます。ストリート名のエ イリアスを出力に使用しないと指定した場合は、ストリー トにエイリアス名があるかどうかにかかわらず、出力では ストリートの "基本" 名が使用されます。例: 123 E Main St Apt 3

フィールド名	説明
StreetName	ストリート名。例: 123 E Main St Apt 3
StreetSuffix	ストリート接尾語。例: 123 E Main St Apt 3
Subcity*	[Locality] フィールドの内容に依存する、より小さな居留区データ要素。例: トルコ人居留区。
Substreet*	国における従属ストリートまたはブロック データ要素。例: 英国の従属ストリート。
TrailingDirectional	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave NW

*これはサブフィールドであり、データを含まない場合があります。

パース済み入力

出力には、パース済み形式で入力住所を含めることができます。このようなタイプの出力は、"パース済み入力" と呼ばれます。パース済み入力フィールドには、**ValidateAddress** が住所の妥当性を検証したかどうかにかかわらず、入力として使用される住所データが含まれます。パース済み入力は、住所の妥当性を検証できた場合にパース済み住所要素に妥当性が検証された住所が含まれ、オプションで、住所の妥当性が検証できなかった場合には入力データが含まれるという点で、"パース済み住所要素" 出力と異なります。パース済み入力には、**ValidateAddress** が住所の妥当性を検証したかどうかにかかわらず、常に入力住所が含まれます。

パース済み入力フィールドを出力に含めるには、**[パースした入力データを返す]** チェック ボックスをオンにします。

表 88 : パース済み入力

フィールド名	説明
ApartmentLabel.Input	アパート指定子 (STE や APT など)。例: 123 E Main St APT 3

フィールド名	説明
ApartmentNumber.Input	アパート番号。例: 123 E Main St APT 3
City.Input	妥当性が確認された都市名
Country.Input	国。フォーマットは、[国フォーマット]で選択したものになります。 <ul style="list-style-type: none">• ISO コード• UPU コード• 英語
County.Input*	国における最小の地理的データ要素。例: 米国の郡
FirmName.Input	妥当性が確認された企業名
HouseNumber.Input	家番号 1。例: 123 E Main St Apt 3
LeadingDirectional.Input	接頭方向指示。例: 123 E Main St Apt 3
POBox.Input	私書箱番号。住所が地方配送路住所である場合は、地方配送路の私書箱番号がここに表示されます。
PostalCode.Input	妥当性が検証された郵便番号。米国住所に対しては、ZIP Code と呼びます。
Principality.Input *	国における最大の地理的データ要素
StateProvince.Input	妥当性が確認された州または省の名前

フィールド名	説明
StreetAlias.Input	ストリート名のエイリアス。通常は、ストリート上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。ストリート名のエイリアスを出力に使用しないと指定した場合は、ストリートにエイリアス名があるかどうかにかかわらず、出力ではストリートの "基本" 名が使用されます。基本名とは、ストリート全体に適用される名称です。例えば、StreetName が "N MAIN ST" の場合、StreetAlias フィールドには "MAIN" が含まれ、StreetSuffix フィールドには大ストリートタイプである "ST" が返されます。
StreetName.Input	ストリート名。例: 123 E Main St Apt 3
StreetSuffix.Input	ストリート接尾語。例: 123 E Main St Apt 3
Subcity.Input*	[Locality] フィールドの内容に依存する、より小さな居留区データ要素。例: トルコ人居留区。
Substreet.Input*	国における従属ストリートまたはブロック データ要素。例: 英国の従属ストリート。
TrailingDirectional.Input	接尾方向指示。例: 123 Pennsylvania Ave NW

*これはサブフィールドであり、データを含まない場合があります。

ジオコード出力

ValidateAddressLoqate は、緯度/経度、ジオコーディング マッチ コード、従属する地方、従属地方に含まれる地方、従属する大ストリート、下位行政区画と上位行政区画、検索距離を出力として返します。マッチ コードは、入力住所がどの程度まで既知の住所に一致したかを表すとともに、マッチングの全体的なステータスを示します。検索距離コードは、ジオコードが住所の実際の物理的な位置にどの程度近いかを表します。

表 89 : ジオコード住所出力

フィールド名	説明
Geocode.MatchCode	<p>住所に対するジオコード マッチングのステータスとレベルを表す 2 バイト コード。</p> <p>最初のバイトはジオコーディング ステータスを表し、次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> A 入力住所に一致する複数のジオコード候補が検出され、それらの平均が返されました。 I ある範囲の入力住所のロケーションからジオコードを補間することができました。 P 入力住所に一致する単一のジオコードが検出されました。 U 入力住所に対するジオコードを生成できませんでした。 <p>2 つめのバイトはジオコード マッチングのレベルを表し、次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 配達ポイント (郵便受けまたは従属する建物) 4 敷地または建物 3 Thoroughfare 2 地方 1 行政区画 0 なし
Latitude	<p>小数第 5 位まで計算される 8 桁の度数 (指定したフォーマットで表記されます)。</p>
Longitude	<p>小数第 5 位まで計算される 8 桁の度数 (指定したフォーマットで表記されます)。</p>
SearchDistance	<p>メートル単位で表した精度の半径。与えられたジオコードと実際の物理的位置との間の推測最大距離を表します。このフィールドは、基盤の参照データから導き出され、その精度と対象範囲に依存します。</p>

表 90 : 都市/ストリート/郵便番号セントロイド マッチ コード

要素	マッチ コード
住所ポイント	P4
住所ポイント補間済み	I4
ストリートセントロイド	A4/P3
郵便番号/都市セントロイド	A3/P2/A2

注 : `Geocode.Match.Code` は、ストリート セグメントに対して 2 つの座標を返すことはしません (ストリートの一部の開始と終了など)。代わりに、入力に対するリターン コードが I3 になった (大ストリートまたはストリート レベルに補間され、敷地番号は入力されていない) 場合は、ストリート全体が計算に使用されます。

結果インジケータ

結果インジケータは、住所に対して実行した処理の種類に関する情報を提供します。結果インジケータには、次の 2 種類があります。

レコード レベルの結果インジケータ

レコード レベルの結果インジケータは、各レコードに対する `Validate Address Loqate` 処理の結果に関するデータを提供します。例えば、マッチングの成功または失敗、住所を処理したコーダーなどの詳細情報を示します。以下の表に、`Validate Address Loqate` が返すレコード レベルの結果インジケータの一覧を示します。

表 91 : レコード レベル インジケータ

フィールド名	説明
Confidence	返された住所に割り当てられた確信レベル。範囲は 0 ~ 100 です。0 は失敗を表し、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。複数のマッチ結果がある場合、確信レベルは 0 です。この数値の計算方法については、 Validate Address Loqate 確信アルゴリズムの概要 を参照してください。

フィールド名	説明
CouldNotValidate	<p>マッチしなかった場合の、妥当性が確認できなかった住所コンポーネント。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ApartmentNumber • HouseNumber • StreetName • PostalCode • City • Directional • StreetSuffix • Firm • POBoxNumber <p>注：複数のコンポーネントがカンマ区切りリストとして返されることがあります。</p>
MatchScore	<p>MatchScore は、入力データと、最も近い一致として検出された参照データとの間の類似性を表します。MatchScore は、マッチ結果を得るために入力住所をどれだけ変更したかを表す Confidence とはまったく異なるものです。MatchScore の意味は米国住所と米国以外の住所で異なります。</p> <p>int getFieldMatchscore (unit record, const char*) 関数は、入力データと、最も近い一致として検出された参照データとの間の類似性を表す 0 ~ 100 の整数値です。100 は、入力データに、エイリアス、大文字小文字、付加記号以外の変更を加えなかったことを表します。0 は、入力データと、最も近い一致として検出された参照データとの間にまったく類似性がないことを表します。</p> <p>注：Validate Address Loqate および Advanced Matching モジュールのコンポーネントは、どちらも MatchScore フィールドを使用します。データフローの出力の MatchScore フィールドの値は、出力ステージに送られる前に最後に値を変更したステージによって決まります。データフローに Validate Address Loqate および Advanced Matching モジュールのコンポーネントが含まれ、各ステージの MatchScore 出力フィールドを確認したい場合は、Transformer ステージを使用して、MatchScore 値を他のフィールドにコピーしてください。例えば、Validate Address Loqate によって MatchScore という出力フィールドが作成され、Transformer ステージによって Validate Address Loqate の MatchScore フィールドが AddressMatchScore というフィールドにコピーされます。マッチャーステージを実行すると、マッチャーから得た値が MatchScore フィールドに設定され、Validate Address Loqate から得た AddressMatchScore の値が引き渡されます。</p>
ProcessedBy	<p>住所を処理した住所コーダーです。</p> <p>LOQATE Loqate コーダーが住所を処理しました。</p>

フィールド名	説明				
Status	<p>マッチの成功または失敗。複数のマッチがある場合、一致する可能性のあるすべてのものに対してこのフィールドが "F" になります。</p> <table border="1"> <tr> <td>NULL</td> <td>成功</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>失敗</td> </tr> </table>	NULL	成功	F	失敗
NULL	成功				
F	失敗				
Status.Code	<p>失敗の原因 (ある場合)。</p> <ul style="list-style-type: none"> • UnableToValidate 				
Status.Description	<p>問題の説明 (ある場合)。</p> <p>Address Not Found Status.Code=UnableToValidate の場合にこの値が表示されます。</p>				

フィールドレベルの結果インジケータ

フィールドレベルの結果インジケータは、ValidateAddressLoqate が各住所要素をどのように処理したかを示します。フィールドレベルの結果インジケータは、修飾子 "Result" で返されます。例えば、HouseNumber のフィールドレベルの結果インジケータは **HouseNumber.Result** に格納されます。

フィールドレベルの結果インジケータを有効にするには、**[個々のフィールドの結果コードを含める]** チェック ボックスをオンにします。

次の表に、フィールドレベルの結果インジケータの一覧を示します。特定のフィールドが住所に適用されない場合、結果インジケータが空白になる場合があります。

表 92 : フィールドレベルの結果インジケータ

フィールド名	説明
ApartmentLabel.Result	A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	C 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。
	P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	R アパート ラベルが必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
	S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。
	U マッチしない。カナダの住所には適用されません。
V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。	
ApartmentNumber.Result	A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	C 修正済み。カナダの住所のみ。
	F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
	P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国EWSにマッチする米国の住所には、Pの値が割り当てられます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	R アパート番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。
	S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。
	U マッチしない。
V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。	

フィールド名	説明
City.Result	<p>A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>C 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>F ハイフンの欠落または句読文字エラー。カナダの住所のみ。</p> <p>M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。</p> <p>R 都市名が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。</p> <p>U マッチしない。カナダの住所には適用されません。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
Country.Result	<p>これらの結果コードは、米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p>U マッチしない。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
County.Result*	<p>国における最小の地理的データ要素。例: 米国の郡</p>

フィールド名	説明
FirmName.Result	C 修正済み。米国住所にのみ適用されます。
	P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	U マッチしない。米国およびカナダの住所のみをサポートします。
	V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。米国住所にのみ適用されます。
HouseNumber.Result	A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。
	C 修正済み。カナダの住所のみ。
	F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。
	O 範囲外。米国またはカナダの住所には適用されません。
	P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。
	R 家番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。カナダの住所のみ。
	S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国またはカナダの住所には適用されません。
	U マッチしない。
	V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。

フィールド名	説明
LeadingDirectional.Result	<p>A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>C 修正済み。空白のない入力、空白のない値に修正されました。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした、出力に保持されました。カナダの住所のみ。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p>U マッチしない。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。カナダの住所には適用されません。</p>
POBox.Result	<p>A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。</p> <p>C 修正済み。カナダの住所のみ。</p> <p>F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>M 複数マッチ。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした、出力に保持されました。カナダの住所のみ。</p> <p>R 私書箱番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p>U マッチしない。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>

フィールド名	説明
PostalCode.Result	<p>A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>C 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。カナダの住所には適用されません。</p> <p>P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国住所には適用されません。</p> <p>R 郵便番号が必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>U マッチしない。例えば、ストリート名と郵便番号が一致しない場合、StreetName.Result と PostalCode.Result の両方に U が割り当てられます。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
PostalCode.Type	<p>P ZIP Code™ には、PO Box 住所のみが含まれます。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>U ZIP Code™ は、特定の会社または場所に割り当てられたユニークな ZIP Code™ です。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>M ZIP Code™ は、軍施設の住所です。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>NULL ZIP Code™ は、標準 ZIP Code™ です。</p>
Principality.Result *	国における最大の地理的データ要素

フィールド名	説明
StateProvince.Result	<p>A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>C 修正済み。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>R アパート ラベルが必須ですが、入力住所から欠落しています。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国住所には適用されません。</p> <p>U マッチしない。カナダの住所には適用されません。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
StreetAlias.Result	<p>ストリート名のエイリアス。通常は、ストリート上の特定の範囲の住所のみに対して使用されます。ストリート名のエイリアスを出力に使用しないと指定した場合は、ストリートにエイリアス名があるかどうかにかかわらず、出力ではストリートの "基本" 名が使用されます。基本名とは、ストリート全体に適用される名称です。例えば、StreetName が "N MAIN ST" の場合、StreetAlias フィールドには "MAIN" が含まれ、StreetSuffix フィールドには大ストリートタイプである "ST" が返されます。</p>

フィールド名	説明
StreetName.Result	<p>A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。カナダの住所のみ。</p> <p>C 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。米国住所には適用されません。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>U マッチしない。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
StreetSuffix.Result	<p>A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>C 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p>U マッチしない。米国住所には適用されません。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>
Subcity.Result*	<p>[Locality] フィールドの内容に依存する、より小さな居留区データ要素。例: トルコ 人居留区。</p>

フィールド名	説明
Substreet.Result*	国における従属ストリートまたはブロック データ要素。例: 英国の従属ストリート。
TrailingDirectional.Result	<p>A 追加済み。フィールドが空白の入力フィールドに追加されました。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>C 修正済み。米国およびカナダの住所のみをサポートします。</p> <p>F 書式設定済み。郵便規格に準拠するよう、スペースや句読文字が変更されました。米国またはカナダの住所には適用されません。</p> <p>M 複数。入力住所が郵便データベース内の複数レコードにマッチし、マッチする各レコードのこのフィールドの値が異なります。米国住所にのみ適用されます。</p> <p>P パススルー。データは検証プロセスで使用されませんでした。出力に保持されました。カナダの住所のみ。</p> <p>S 正規化。このオプションには、標準の略語が含まれます。</p> <p>U マッチしない。カナダの住所には適用されません。</p> <p>V 妥当性が確認されました。データは正しいことが確認され、入力から変更されていません。</p>

*これはサブフィールドであり、データを含まない場合があります。

AVC コード

Address Verification Code (AVC) は、住所に対する精度インジケータで構成される 11 バイトのコードです。これらのコードは、処理結果の品質を表し、必要に応じて入力データを修正する方法に関するガイドラインを示します。個別住所のそれぞれに、独自のコードが付与されます。このコードは、データフローの出力内で自動的に返されます。AVC は、以下のような形式です。

V44-I44-P6-100

AVC は、8 つの部分で構成されます。

- 検証ステータス
- 処理後検証マッチ レベル
- 処理前検証マッチ レベル
- パーシング ステータス
- 辞書識別マッチ レベル
- コンテキスト識別マッチ レベル

- 郵便番号ステータス
- マッチスコア

検証ステータス

住所の検証レベル。

- **V** — 検証済み。入力データは、使用可能な参照データからの単一のレコードと完全に一致しています。シンプルな住所検証では、このコードが返されることが最良の結果とみなされます。
- **P** — 部分的に検証済み。入力データは、使用可能な参照データからの単一のレコードと部分的に一致しています。住所情報の詳細なデータが提供されているが、完全な検証を行うためには追加情報が必要であることを意味する可能性があります。
- **A** — 曖昧。入力に一致する可能性のある複数の住所があります。
- **U** — 検証不可。住所を検証するための十分な情報がない場合や、入力クエリが読み取れない場合に、これが返されます。出力フィールドには入力データが含まれます。
- **R** — 元に戻されました。レコードを、指定された最小許容レベルで検証できませんでした。元に戻すための最小レベルなどの詳細設定オプションが、処理において設定されている場合に生じます。出力フィールドには入力データが含まれます。
- **C** — 矛盾。相反する値を持つ複数の参照データと近似一致します。

処理後検証マッチ レベル

使用可能な参照データに対する、入力データの処理後のマッチ レベル。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)。入力レコードの `ApartmentNumber`、`HouseNumber`、`Street`、`City`、`StateProvince` が、`Loqate` のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。`ApartmentNumber` は正しいがその他のフィールドが正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、`ApartmentNumber` は他のフィールドよりも細かいレベルであるため、`Loqate` エンジンはこの場合に、`ApartmentNumber` を特定できるはずですが、`Loqate` エンジンが `ApartmentNumber` とその他のフィールドをパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **4** — 敷地または建物。入力レコードの `HouseNumber`、`Street`、`City`、`StateProvince` が、`Loqate` のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。`HouseNumber` は正しいがその他のフィールドが正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、`HouseNumber` は他のフィールドよりも細かいレベルであるため、`Loqate` エンジンはこの場合に、`HouseNumber` を特定できるはずですが、`Loqate` エンジンが `HouseNumber` とその他のフィールドをパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **3** — 大ストリート、道路、またはストリート。入力レコードの `Street`、`City`、`StateProvince` が、`Loqate` のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。`City` は正しいが `StateProvince` が正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、`City` は `StateProvince` に含まれるため、`Loqate` エンジンはこの場合に、`StateProvince`

を特定できるはずですが、Loqate エンジンが City または両方のフィールド (City と StateProvince) をパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。

- **2** — 地方 (都市または町)。入力レコードの City と StateProvince の両方が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されません。City は正しいが StateProvince が正しくない場合、確信レベルは中程度になりますが、City は StateProvince に含まれるため、Loqate エンジンはこの場合に、StateProvince を特定できるはずですが、Loqate エンジンが City または両方のフィールド (City と StateProvince) をパーシングできない場合は、確信レベルは 0 となります。
- **1** — 行政区域 (州または地域)。入力レコードの StateProvince が、Loqate のリファレンス データセットと一致する場合、レコードは引き渡されるか、高い確信レベルを付与されます。
- **0** — なし。これは、最も制限の緩いマッチ オプションと同じです。

処理前検証マッチ レベル

使用可能な参照データに対する、入力データの処理前のマッチ レベル。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)
- **4** — 敷地または建物。
- **3** — 大ストリート、道路、またはストリート。
- **2** — 地方 (都市または町)。
- **1** — 行政区域 (州または地域)。
- **0** — なし。

パーシング ステータス

住所のパーシング レベル。

- **I** — 識別およびパーシング済み。入力データは識別され、各コンポーネントに配置されました。例えば、"123 Kingston Av" に対して Validate Address Loqate は、"123" が敷地番号で、"Kingston" が大ストリート名で、"Av" または "Avenue" が大ストリートのタイプであると判断できます。
- **U** — パーシング不可。Validate Address Loqate は、入力データを識別およびパーシングできませんでした。"未検証"の検証ステータスと同様に、入力データは不完全またはあいまいでした。

辞書識別マッチ レベル

パターン マッチング (例えば、数値は敷地番号である可能性があります) や辞書マッチング (例えば、"rd" は大ストリートのタイプ "road" であったり、"London" は地方であったりする可能性があります) の適用による、入力データの認識済み形式のレベル。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)
- **4** — 敷地または建物。
- **3** — 大ストリート、道路、またはストリート。
- **2** — 地方 (都市または町)。

- **1** — 行政区域 (州または地域)。
- **0** — なし。

コンテキスト識別マッチ レベル

出現のコンテキストに基づいて認識可能な、入力データのレベル。最も精度の低い形式のマッチングで、単語を特定の住所要素として識別することに基づいて行われます。例えば、前に敷地らしい要素があり、後に地方らしい要素が続き、後の項目は参照データまたは辞書とのマッチングによって識別されている場合、入力は大ストリートであると判断できる可能性があります。

- **5** — 配達ポイント (建物または郵便受け)
- **4** — 敷地または建物。
- **3** — 大ストリート、道路、またはストリート。
- **2** — 地方 (都市または町)。
- **1** — 行政区域 (州または地域)。
- **0** — なし。

郵便番号ステータス

郵便番号の検証レベル。

- **P8** — PostalCodePrimary と PostalCodeSecondary が検証済みです。
- **P7** — PostalCodePrimary は検証済みで、PostalCodeSecondary は追加または変更されています。
- **P6** — PostalCodePrimary が検証済みです。
- **P5** — PostalCodePrimary が、小さな変更を加えることによって検証済みです。
- **P4** — PostalCodePrimary が、大きな変更を加えることによって検証済みです。
- **P3** — PostalCodePrimary が追加されています。
- **P2** — PostalCodePrimary が辞書によって識別されています。
- **P1** — PostalCodePrimary がコンテキストによって識別されています。
- **P0** — PostalCodePrimary が空です。

マッチ スコア

識別済みの入力データと、レコードの出力データ間の類似性を表す 0 ~ 100 の間の数値。100 は、入力データに追加、エイリアス、大文字小文字、付加記号以外の変更を加えなかったことを表します。0 は、入力データと出力データの間まったく類似性がないことを表します。

AMAS 出力

次の表に、ValidateAddressAUS が出力する標準フィールドを示します。

表 93 : 出力フィールド

フィールド名	説明
Barcode	<p>DPID に基づく標準バーコード。</p> <p>F 失敗 (バーコード不検出)</p> <p>20 桁の数字 成功</p>
DPID	<p>配達ポイント識別子。ストリート住所などの郵便物配達ポイントを一意に識別する 8 桁の数字。オーストラリア郵政公社郵便住所ファイルに規定されています。</p> <p>注：このフィールドは、AMAS で検証されていないオーストラリアの住所の場合は "00000000" となり、オーストラリア以外の住所の場合は空になります。</p>
FloorNumber	フロアルベル番号。例: 123 E Main St Apt 3, 4th Floor
FloorType	フロアルベル タイプ。例: 123 E Main St Apt 3, 4th Floor
PostalBoxNum	郵便配達番号。例: PO Box 42

誤検出

誤検出とは

住所リストが生成されるのを防ぐため、DPV と LACS^{Link} のデータベースに誤検出レコードが含まれています。誤検出レコードは人為的に作成され、誤検出テーブルに格納された住所です。DPV や LACS^{Link} のクエリで望ましくない応答が発生すると、誤検出テーブルに対してクエリが行われます。このテーブルにマッチすると (誤検出マッチと呼ばれます)、ユーザの DPV または LACS^{Link} キーが無効になります。バッチ処理の場合、この違反を含むジョブでも正しく完了しますが、違反をレポートして DPV や LACS^{Link} を再びアクティベートするためのキーを取得するまでは、DPV や LACS^{Link} を使用する後続のジョブを実行できません。

注：誤検出レコードにマッチすることを、"シード レコード違反" という言葉を使って表現する場合があります。この 2 つの用語の意味は同じです。

DPV 誤検出違反の報告

Spectrum™ Technology Platform は、サーバー ログのメッセージを利用して誤検出マッチを報告します。

バッチ処理中は、誤検出レコードが検出されてもジョブは続行します。そのジョブが完了した後は、DPV キーが無効になっているため、DPV を使用する他のジョブを実行することはできません。DPV 誤検出レコード違反が生じると、[実行履歴] に次のテキストが表示されます。

```
DPV Seed Record Violation. Seed Code S<ZIP, ZIP+4, Address, Unit>
```

次の手順に従って、違反を報告し、再起動キーを取得することができます。

1. ブラウザで、<http://<サーバー>:<ポート>/<製品コード>/dpv.jsp> に移動します。例えば、Universal Addressing モジュールの場合は <http://localhost:8080/unc/dpv.jsp>、Enterprise Geocoding モジュールの場合は <http://localhost:8080/geostan/dpv.jsp> というアドレスになります。
2. 差出人の情報を各フィールドに入力します。各フィールド名に続く括弧内の数字は、フィールドの最大長を示します。
3. 終了したら **[送信]** をクリックします。**[ファイルのダウンロード]** ダイアログが表示されます。
4. **[保存]** をクリックして、ファイルをコンピュータに保存します。**[名前を付けて保存]** ダイアログが表示されます。
5. ローカルにあるハード ドライブの場所とファイル名 (c:\DPVSeedFile.txt など) を指定して、**[保存]** をクリックします。
6. www.g1.com/support に移動してログインします。
7. **[DPV & LACS^{Link} 誤検出]** をクリックします。
8. 画面上の指示に従って、シード ファイルを添付し、再起動キーを取得します。

DPV 誤検出ヘッダ ファイル レイアウト

USPS® は、DPV 誤検出ヘッダ ファイルで必須となるレイアウトを定義しています。これは現在、180 バイトのレコードを 2 つ以上含む固定長のファイルと決められています。最初のレコードは常にヘッダ レコードとする必要があります。ヘッダ レコードのレイアウトを以下に示します。

表 94 : DPV 誤検出ヘッダ レコードのレイアウト

位置	長さ	説明	書式
1-40	40	差出人の会社名	英数字

位置	長さ	説明	書式
41-98	58	差出人の住所行	英数字
99-126	28	差出人の都市名	英数字
127-128	2	差出人の州の略語	英数字
129-137	9	差出人の 9 桁の ZIP Code	数値
138-146	9	処理されたレコードの合計数	数値
147-155	9	DPV マッチとなったレコードの合計数	数値
156-164	9	DSF に対するマッチ率 (%)	数値
165-173	9	ZIP +4 [®] に対するマッチ率 (%)	数値
174-178	5	ファイル上の ZIP Code の数	数値
179-180	2	誤検出の数	数値

トレーラレコードには DPV 誤検出マッチに関する情報が含まれます。誤検出ファイルには、DPV 誤検出マッチ 1 件につき 1 つのトレーラレコードを追加する必要があります。トレーラレコードのレイアウトを以下に示します。

表 95 : DPV 誤検出トレーラ レコードのレイアウト

位置	長さ	説明	書式
1-2	2	通り名の直前で方向を示す文字列	英数字
3-30	28	通り名	英数字
31-34	4	通りの種類の省略形	英数字
35-36	2	通り名の直後で方向を示す文字列	英数字
37-46	10	住所のプライマリの番号	英数字
47-50	4	住所のセカンダリの省略形	英数字
51-58	8	住所のセカンダリの番号	数値
59-63	5	マッチした ZIP Code	数値
64-67	4	マッチした ZIP + 4®	数値
68-180	113	空白埋め	スペース

LACS/Link 誤検出違反のレポート

Spectrum™ Technology Platform は、サーバー ログのメッセージを利用して誤検出マッチを報告します。誤検出マッチが発生し、クライアント/サーバーの呼び出しが例外をスローすると、バッチ ジョブはエラーになります。

注：誤検出レコードにマッチすることを、"シード レコード違反" という言葉を使って表現する場合があります。この 2 つの用語の意味は同じです。

誤検出レコードが見つかった場合、サーバ ログに以下が記録されます。

```
2005-05-19 09:40:10,758 WARN [com.g1.dcg.component.Log] Seed record
violation for RR 1 R74039 2924
2005-05-19 09:40:10,774 ERROR [com.g1.dcg.component.Log] Feature
Disabled: LLB: LACS Seed Record Violation. Seed Code: R74039 2924
2005-05-19 09:40:10,867 ERROR
[com.g1.dcg.job.server.stages.JobRunnerStages] Error executing job
com.g1.dcg.stage.StageException: com.g1.dcg.component.ComponentException:
Feature Disabled: LLB
```

1. ブラウザで、<http://<サーバ名>:<ポート>/<製品コード>/lacslink.jsp> に移動します。例えば、Universal Addressing モジュールの場合は <http://localhost:8080/unc/lacslink.jsp>、Enterprise Geocoding モジュールの場合は <http://localhost:8080/geostan/lacslink.jsp> というアドレスになります。
2. 差出人の情報を各フィールドに入力します。フィールド名に続く括弧内の数字は、フィールドの最大長を示します。終了したら **[送信]** をクリックします。**[ファイルのダウンロード]** ダイアログが表示されます。
3. **[保存]** をクリックして、ファイルをコンピュータに保存します。**[名前を付けて保存]** ダイアログが表示されます。
4. ローカルにあるハード ドライブの場所とファイル名 (c:\lacslink.txt など) を指定して、**[保存]** をクリックします。
5. www.g1.com/support に移動してログインします。
6. **[DPV & LACS^{Link} 誤検出]** をクリックします。
7. 画面上の指示に従って、シード ファイルを添付し、再起動キーを取得します。

Validate Address 確信アルゴリズム

Validate Address 確信アルゴリズムの概要

ValidateAddress は、妥当性を確認した各住所に対し、確信スコアを計算します。このスコアは、妥当性を確認した住所がどの程度正しいかを表します。確信コードの値は 0 ~ 100 で、0 はまったく確信がなく、100 はマッチ結果が正しいことに対する確信レベルが非常に高いことを表します。確信コードは、個々の出力フィールドに対するマッチ結果を考慮に入れたアルゴリズムに基づいて計算されます。この計算に関連する出力フィールドは、以下のとおりです。

- Country
- City
- State
- PostalCode

- StreetName
- HouseNumber
- LeadingDirectional
- TrailingDirectional
- StreetSuffix
- ApartmentNumber

アルゴリズムにおいて、各フィールドにはそれぞれ独自の重みがあります。また、各フィールドに対し、"Success"、"Failure"、または "Changed" というマッチ結果が存在します("Changed" は、マッチさせるためにフィールドの内容を修正した場合に該当します)。マッチ結果 ("Success"、"Failure"、または "Changed") によって、そのフィールドの係数が決まります。以上より、確信コードは、重みと係数の積を用いて、次のように算出します。

```
Confidence = (Weight * Factor) for City
+ (Weight * Factor) for Country
+ (Weight * Factor) for State
+ (Weight * Factor) for PostalCode
+ (Weight * Factor) for StreetName
+ (Weight * Factor) for HouseNumber
+ (Weight * Factor) for Directionals
+ (Weight * Factor) for Street Suffix
+ (Weight * Factor) for ApartmentNumber
```

米国とカナダの住所に対する確信アルゴリズム住所の検証

以下の表で、米国およびカナダの住所に対する ValidateAddress の確信アルゴリズムのスコアリングとロジックについて説明します。およびカナダの住所のみに適用されます。

表 96 : 米国とカナダの住所に対する確信アルゴリズム住所の検証

フィールド	重み付け/マッチ スコア	変更の場合の係数 ¹	埋めた場合の係数 ²
Country	10	100%	0%
City	10	50%	75%

² このフィールドに入力データが存在しないが、マッチを得るためにデータが埋められた場合のこと。

¹ このフィールドの入力データが、マッチを得るために変更された場合のこと。

フィールド 重み付け/マッチ スコア 変更の場合の係数¹ 埋めた場合の係数²

State	15	50%	75%
PostalCode	15	25%	25%
StreetName	15	50%	75%
HouseNumber	15	50%	75%
Directionals	10	50%	75%
StreetSuffix	5	50%	75%
ApartmentNumber	5	50%	75%

国際住所用の確信アルゴリズム

米国およびカナダ以外の住所用に 2 つの確信アルゴリズムがあります。1 つは郵便番号を使用する国の住所用で、もう 1 つは郵便番号を使用しない国の住所用です。

以下の表に、郵便番号を使用している国の米国およびカナダ以外の住所用の確信アルゴリズムの詳細を示します。

² このフィールドに入力データが存在しないが、マッチを得るためにデータが埋められた場合のこと。

¹ このフィールドの入力データが、マッチを得るために変更された場合のこと。

表 97 : 郵便番号がある国用の確信アルゴリズム

フィールド	重み付け/マッチ スコア	変更の場合の係数 ³	埋めた場合の係数 ⁴	郵便データが使用できない場合の係数
Country	11.11111111111111	100%	0%	0%
City	11.11111111111111	50%	75% ⁵	0%
State	16.66666666666667	100%	100	80%
PostalCode	16.66666666666667	100%	100%	80%
StreetName	16.66666666666667	50%	75%	50%
HouseNumber	16.66666666666667	50%	75%	50%
Directionals	0	50%	75%	0%
StreetSuffix	5.55555555555556	50%	75%	50%
ApartmentNumber	5.55555555555556	50%	75%	50%

⁴ このフィールドに入力データが存在しないが、マッチを得るためにデータが埋められた場合のこと。

³ このフィールドの入力データが、マッチを得るために変更された場合のこと。

⁵ カテゴリ C の国の場合、この値は 50% です。各国は、次のいずれかのカテゴリに分類されます。

- **カテゴリ A** — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、ストリートの住所要素、および国名の検証と修正が可能です。
- **カテゴリ B** — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、および国名の検証と修正が可能です。ストリートの住所要素の検証または修正はサポートしません。
- **カテゴリ C** — 国名の検証および修正と、郵便番号の書式の検証が可能です。

郵便番号を使用しない国用の確信アルゴリズムの詳細を次の表に示します。

表 98 : 郵便番号がない国用の確信アルゴリズム

フィールド	重み付け/マッチ スコア	変更の場合の係数 ⁶	埋めた場合の係数 ⁷	郵便データが使用できない場合の係数
Country	13.33333333333333	100%	0%	0%
City	13.33333333333333	50%	75% ⁸	0%
State	20	100%	100	80%
StreetName	20	50%	75%	50%
HouseNumber	20	50%	75%	50%
Directionals	0	50%	75%	0%
StreetSuffix	6.66666666666667	50%	75%	50%
ApartmentNumber	6.66666666666667	50%	75%	50%

⁷ このフィールドに入力データが存在しないが、マッチを得るためにデータが埋められた場合のこと。

⁶ このフィールドの入力データが、マッチを得るために変更された場合のこと。

⁸ カテゴリ C の国の場合、この値は 50% です。各国は、次のいずれかのカテゴリに分類されます。

- **カテゴリ A** — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、ストリートの住所要素、および国名の検証と修正が可能です。
- **カテゴリ B** — 住所の郵便番号、都市名、州/郡名、および国名の検証と修正が可能です。ストリートの住所要素の検証または修正はサポートしません。
- **カテゴリ C** — 国名の検証および修正と、郵便番号の書式の検証が可能です。

郵便番号がない国の一覧を以下の表に示します。

表 99 : 郵便番号がない国

Afghanistan	Albania	Angola
Anguilla	Bahamas	Barbados
Belize	Benin	Bhutan
Botswana	Burkina Faso	Burundi
Cameroon	Cayman Islands	Central African Rep.
Chad	Cocos Islands	Colombia
Comoros	Congo (Dem. Rep.)	Congo (Rep.)
Cote d'Ivoire	Korea (North)	Djibouti
Dominica	Equatorial Guinea	Eritrea
Fiji	Gabon	Gambia
Ghana	Grenada	Guyana
Ireland	Jamaica	Kiribati
Libya	Malawi	Mali
Mauritania	Namibia	Nauru

Palau

Panama

Peru

Qatar

Rwanda

Saint Lucia

Saint Vincent and the Grenadines

Samoa

Sao Tome and Principe

Seychelles

Sierra Leone

Suriname

Tanzania

Timor

Togo

Tonga

Trinidad & Tobago

Tuvalu

Uganda

United Arab Emirates

Vanuatu

Yemen

Zimbabwe

付録

このセクションの構成

ISO 国コードとモジュール サポート

297

A - ISO 国コードとモ ジュール サポート

このセクションの構成

著作権に関する通知

© 2017 Pitney Bowes Software Inc. All rights reserved. MapInfo および Group 1 Software は Pitney Bowes Software Inc. の商標です。その他のマークおよび商標はすべて、それぞれの所有者の資産です。

USPS® 情報

Pitney Bowes Inc. は、ZIP + 4® データベースを光学および磁気媒体に発行および販売する非独占的ライセンスを所有しています。CASS、CASS 認定、DPV、eLOT、FASTforward、First-Class Mail、Intelligent Mail、LACS^{Link}、NCOA^{Link}、PAVE、PLANET Code、Postal Service、POSTNET、Post Office、RDI、Suite^{Link}、United States Postal Service、Standard Mail、United States Post Office、USPS、ZIP Code、および ZIP + 4 の各商標は United States Postal Service が所有します。United States Postal Service に帰属する商標はこれに限りません。

Pitney Bowes Inc. は、NCOA^{Link}® 処理に対する USPS® の非独占的ライセンスを所有しています。

Pitney Bowes Software の製品、オプション、およびサービスの価格は、USPS® または米国政府によって規定、制御、または承認されるものではありません。RDI™ データを利用して郵便送料を判定する場合に、使用する郵便配送業者の選定に関するビジネス上の意思決定が USPS® または米国政府によって行われることはありません。

データ プロバイダおよび関連情報

このメディアに含まれて、Pitney Bowes Software アプリケーション内で使用されるデータ製品は、各種商標によって、および次の 1 つ以上の著作権によって保護されています。

© Copyright United States Postal Service. All rights reserved.

© 2014 TomTom. All rights reserved. TomTom および TomTom ロゴは TomTom N.V. の登録商標です。

© 2016 HERE

Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

電子データに基づいています。© National Land Survey Sweden.

© Copyright United States Census Bureau

© Copyright Nova Marketing Group, Inc.

このプログラムの一部は著作権で保護されています。© Copyright 1993-2007 by Nova Marketing Group Inc. All Rights Reserved

© Copyright Second Decimal, LLC

© Copyright Canada Post Corporation

この CD-ROM には、Canada Post Corporation が著作権を所有している編集物からのデータが収録されています。

© 2007 Claritas, Inc.

Geocode Address World データ セットには、
<http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> に存在するクリエイティブ コモンズ アトリビューション ライセンス (「アトリビューション ライセンス」) の下に提供されている GeoNames Project (www.geonames.org) からライセンス供与されたデータが含まれています。お客様による GeoNames データ (Spectrum™ Technology Platform ユーザ マニュアルに記載) の使用は、アトリビューション ライセンスの条件に従う必要があります。お客様と Pitney Bowes Software, Inc. との契約と、アトリビューション ライセンスの間に矛盾が生じる場合は、アトリビューション ライセンスのみに基づいてそれを解決する必要があります。お客様による GeoNames データの使用に関しては、アトリビューション ライセンスが適用されるためです。



3001 Summer Street
Stamford CT 06926-0700
USA

www.pitneybowes.com